

「暫定版」における注意事項

「生物多様性保全利用指針 OKINAWA」は、令和 3 年度までに「沖縄島編」、「八重山編」、「宮古・久米島編」、「沖縄島周辺離島編」の 4 編の作成を予定しており、現在、各編について順次情報収集、調査、解析を進めているところである。このたび一連の作業が完了した沖縄島編について、県民の皆さんにいち早くお届けするために【暫定版】を公開する。

暫定公開である理由は、本指針の中核である生物多様性の解析評価手法の特性上、各島毎の解析ではなく、本県全体での解析を行う必要があるためである。また、事業期間中に追加されたデータを加えることで、より解析精度を高めることが想定されている。このような事業デザインのため、今回の沖縄島編【暫定版】に掲載された情報は暫定的なものであり、今後八重山等の情報が加わることで最終版策定まで毎年更新される。なお、本県全体で解析を行っているため、本編で対象としない地域の解析結果等が図表に示されている場合がある。

本指針【暫定版】については、上記の事項についてご理解いただき、本県全体の解析が完了し、最終版（令和 3 年度末を予定）が策定されるまでは、引き続き「自然環境の保全に関する指針」（沖縄県 1998～2000）を参照いただきたい。

第4章 參考資料

1. 生物多様性保全利用指針検討委員会名簿（令和2年3月現在）

(50音順)

氏名（敬称略）	所属・役職	備考
久保田 康裕	琉球大学理学部 教授	
当山 昌直	沖縄国際大学南島文化研究所 特別研究員	
藤田 喜久	沖縄県立芸術大学全学教育センター 准教授	
宮城 邦治	沖縄国際大学 名誉教授	委員長
盛口 満	沖縄大学人文学部 教授	

2. 委員会における検討過程

平成 28 年 11 月 28 日	平成 28 年度第 1 回検討委員会開催
平成 29 年 3 月 23 日	平成 28 年度第 2 回検討委員会開催
平成 29 年 11 月 22 日	平成 29 年度第 1 回検討委員会開催
平成 30 年 3 月 12 日	平成 29 年度第 2 回検討委員会開催
平成 30 年 7 月 3 日	生物文化に関する第 1 回 WG（ワーキンググループ）開催
平成 30 年 7 月 19 日	解析に関する第 1 回 WG 開催
平成 30 年 10 月 1 日	生物文化に関する第 2 回 WG 開催
平成 30 年 10 月 4 日	解析に関する第 2 回 WG 開催
平成 30 年 12 月 18 日	平成 30 年度第 1 回検討委員会開催
平成 31 年 3 月 12 日	平成 30 年度第 2 回検討委員会開催
令和元年 7 月 31 日	平成 31 年度第 1 回検討委員会開催
令和 2 年 3 月 4 日	平成 31 年度第 2 回検討委員会開催

3. 生物多様性保全利用指針に関するホームページについて

生物多様性保全利用指針の内容については、下記ホームページにて公表している。ホームページ上では、本指針以外にも、本指針の普及を目的に本県に生息する生物の画像や自然環境に関する映像等の掲載を行っている。

オキナワイキモノラボ <<http://www.biodiversity.okinawa/>>



TOP

当サイトをご覧いただき誠にありがとうございます。

2020/01/17
「映像で見る沖縄の生き物」ダイト・ウォオコウモリ・ツダリノフシ・ニフイカノイゴウ・ミノミキヌタアグマキのページを追加しました。

2019/11/19
「映像で見る沖縄の生き物」ギャラリーに西表島の自然 - 嶺山湾・網取浦の動画を追加しました。

2019/10/04
「沖縄の干潟と海草藻場の貝類展」を開催しました！

2019/09/30
「生物多様性おきなわブランド発信事業シンポジウム」を開催しました。

[過去のニュース一覧へ](#)

[アンケートにご協力下さい！](#)

●お問い合わせ ●生物多様性保全利用指針OKINAWA ●利用規約（指針データ） ●利用規約（映像データ） お問い合わせ
TEL: 098-866-2243
MAIL: Info@biodiversity.okinawa

4. 用語集

本指針に関連する用語を以下に解説した。かつては用語が使われている章を示す。

なお、作成にあたっては、書籍、論文、報告書、官公庁のウェブサイト（沖縄県、環境省、国土地理院等）、環境用語に詳しいウェブサイト（EIC ネット）、各種団体のウェブサイト等を参考にした。これらの情報源は 5. 参考文献に掲載した。各説明文末尾の〔数字〕は参考文献番号を示す。

あ行

アンブレラ種（第 2 章 - 1）

地域の食物連鎖のピラミッドの最高位に位置する消費者のこと。アンブレラ種を保全することで、その生息に必要な他の種も保全することができる。例として、西表島におけるイリオモテヤマネコなど。^{〔1〕}

維管束植物（第 2 章 - 1）

維管束と呼ばれる通道組織を有する植物の総称。被子植物、裸子植物、シダ植物が含まれ、コケ植物などは含まれない。^{〔1〕}

インフォーマント（第 2 章 - 2）

研究対象となる社会、文化の一員であり、調査者が知りたい事柄に精通し、概念、言語、世界観、具体的な事例などに関して口述で詳細な表現ができる情報提供者のこと。本指針作成にあたっては、生物文化の聞き取り対象として、地域に長年住み、生物の方言や活用法に詳しい年配の方を主なインフォーマントとした。^{〔2〕}

インベントリー調査（第 2 章 - 1）

インベントリーとは生物学においては、地域に分布する動植物の種の目録や分布図などのこと。このような目録を作成するための調査がインベントリー調査であり、目視や採捕等によって生物の存在を確認し、文献資料と比較して特定の種であることを同定した上で出現種の一覧を作成する。^{〔1〕}

エントロピー最大化法（第 2 章 - 1）

必要な全ての情報が揃っていない場合に、観測や測定などで値が確定している部分を拘束条件として、全ての情報を統計学的に推定する際の手法のひとつ。すでに得ている制限条件を満たしつつ得ていない情報は最も確率が高いと考えられる推定値を選ぶ。本指針作成にあたっては、生物調査等による生息データから生息域を推定する際に使われている。^{〔3〕}

沖縄 21 世紀ビジョン（第 1 章）

平成 22 年に策定された県政の基本構想のこと。県民の参画と協働のもとに、将来（概ね 2030 年）のあるべき沖縄の姿を描き、その実現に向けた取り組みの方向性と、県民や行政の役割などを明らかにした。自然環境保全に関しては、めざすべき将来像のひとつとして「沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島」があり、「沖縄グリーン・イニシアティブ」として自然環境の持続的な利活用の推進が示されている。^{〔4〕}

沖縄県環境管理計画（第1章）

沖縄県における環境問題と、それを解決するための総合的な施策が示された計画のこと。平成5年に策定された。本指針の前身である「自然環境の保全に関する指針」は、同計画における自然環境を保全する施策のひとつと位置づけられている。^[5]

沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物（レッドデータおきなわ）（第1章、第2章－4,5）

沖縄県内を対象とした、絶滅のおそれのある動植物種の生育・生息状況等を明らかにした資料のこと。環境省や国際自然保護連合（IUCN）が作成した継続的な調査研究データを参考に、地域性の視点から独自の規準を交えて作成している。1996年に初版、2005～2006年に改訂第2版、2017～2018年に改訂第3版が公表された。第3版では動物991種、植物938種、菌類85種が掲載されており、危機の状況や情報量によって8つのカテゴリーに分類されている。^[6]

か行

海域区分（第1章、第2章－1、第2章－5、第3章）

海域を何らかの目的、条件によって区切ったそれぞれのこと。本指針においては、前指針である「自然環境の保全に関する指針」における海域区分及びサンゴ礁資源情報整備事業（沖縄県環境生活部自然保護課、平成21～23年度）における海域区分を参考に、一部修正を加えたものを環境カルテ（海域）の作成単位とした。サンゴ礁自然情報整備事業における海域区分は、岬、水路、礁原（礁嶺）などの地形が半閉鎖的な系を形成していることに注目し、それらを一つの生態学的な単位として捉えたものであり、陸域の流域に相当する。本指針の海域区分も基本的に同様の考え方に基づいて設定した。^[7]

外来種（第2章－1）

何らかの人の活動によって、本来の生息地域の外にもたらされた生物種のこと。本来生息していた生きもの（在来種）にとって脅威となる場合は侵略的外来種と呼ばれる。沖縄県における侵略的外来種として、ネズミやハブの駆除を目的として導入されたマングース（フイリマングース）が有名である。一方で、米（イネ）や多くの野菜、家畜なども元をただせば外来種であり、社会的、文化的に定着している場合も多い。^[8]

河床勾配（第2章－4）

川の流れる方向の川底の傾きのこと。山間部では急になり、平野部では穏やかになる。^[9]

国内希少野生動植物種（第3章）

国内に生息・生育する絶滅危惧種のうち、特に人為的な影響で数が減っており、種の保存法で指定された種のこと。平成31年2月現在、293種が指定されている。沖縄県に生息する種では、ヤンバルクイナ、イリオモテヤマネコ、イボイモリ、ヤンバルテナガコガネ、ヒメタニワタリなどが指定されている。^[10]

固有種（第1章、第2章－1）

分布が特定の地域に限定される種や亜種のこと。この場合、特定の地域には、国レベル、都道府県レベル、地域レベルなどさまざまなどらえ方がある。たとえば、ヤンバルクイナは、日本の固有種であるだけでなく、沖縄県沖縄島、やんばる地域の固有種である。^[11]

さ行

在来種（第2章－1）

本来の地域に自然分布していた種のこと。^[12]

サロゲート（第2章－1）

ある地域の生物多様性を代替的に表す指標のこと。生態系の基盤分類群、分布情報が豊富な生物分類群、保全上重要な分類群が一般的に用いられる。本指針においては、陸域の10分類群、海域の6分類群をサロゲートとした。^[13]

ジオコーディング（第2章－1）

住所や場所の名前といった位置を表す情報を、緯度経度情報に変換する処理のこと。この処理を行うことで、GIS（地理情報システム）上で位置の検索や分析等が可能になる。^[14]

シノニム（第2章－1）

同じ種に付けられた複数の学名（標準学名）のこと。シノニムのうち、最も古い学名が有効だという原則がある（先取権）。ある種について有効な学名は1つだけなのにも関わらずシノニムが生まれる過程としては、すでに新種記載されているのを知らずに改めて記載してしまった場合や、分類体系の見直しで属名が変更された場合などがある。

象徴種（第2章－1）

特徴的な容姿や馴染み深さなどから、地域の象徴となって人々の環境保全・保護の関心を高めることが期待される種のこと。

生態系サービス（第1章）

人々が生態系から得られる恵みのこと。2000年代初めにUNEP（国連環境計画）が行った「ミレニアム生態系評価」では、供給サービス（食料や水、原材料など）、調整サービス（自然災害の緩和、水質浄化など）、文化的サービス（レクリエーションや観光など）、基盤サービス（土壤、酸素、栄養分など）の4つに分類される。^[15]

生物多様性（第1章）

生物が長い歴史の中で獲得した、様々な姿形や生活様式といった生物間の違いのこと。遺伝的多様性、種の多様性、生態系の多様性という3つのレベルで捉えられる。遺伝的多様性とは、種が同じでも持っている遺伝子がことなることを指す。種の多様性とは、様々な生物種が存在する状態を指す。生態系の多様性は、様々な生物の相互作用から構成される様々な生態系が存在することを指す。^[1]

生物多様性おきなわ戦略（第1章）

平成25年に策定された、沖縄の生物多様性の保全と持続可能な利用を図るための基本計画のこと。戦略では目標達成に向けた5つの基本施策（1.生物多様性の損失を止める、2.生物多様性を保全・維持し、回復する、3.自然からの恵みを賢明に利用する、4.生物多様性に対する認識を向上させる、5.生物多様性の保全に関する取組に県民参加を促す）を展開していくこととなっており、そのための行動計画、推進体制が示されている。^[16]

生物多様性条約（第1章、第2章－1）

生物多様性の保全と持続可能な利用、遺伝資源による利益の公正な配分を目的とした条約のこと。1992年にブラジルのリオで開催された国連環境開発会議（地球サミット）において署名が開始され、1993年に発効した。生物多様性の保全だけでなく、持続的な利用を明記していることが特徴である。2018年現在、194カ国が締結しており、日本は1993年に締結している。^[17]

生物多様性条約第 10 回締約国会議（CBD-COP10）（第 1 章）

生物多様性条約の 10 回目となる国際会議のこと。2010 年 10 月に名古屋市で開催され、2020 年を目標とした「愛知目標」を含む新戦略計画 2011–2020 が採択された。愛知目標は 20 項目からなり、数値目標を含む具体的なものである。例えば「少なくとも陸域 17%、海域 10% が保護地域などにより保全される」という目標があり、日本を含む各国の国家戦略に影響を与えていている。^[17]

生物文化（第 2 章－2）

動植物とつながった文化のこと。地域毎に動植物に付けられた方言名や、動植物の利活用方法などが含まれる。本指針では、生物多様性と文化多様性のつながりとして生物文化を位置づけ、県内各地の生物文化について文献調査及び聞き取り調査を実施し、環境カルテに記載した。生物文化多様性につながる概念だが、本指針の生物文化は個別の生物の方言名と利用に注目している、特に野生生物に関連するものを重視して抽出しているなどの独自性がある。

生物文化多様性（第 2 章－2）

自然と人間（文化）が互いを活かしながら存在する相互作用関係に注目し、それを一体的に保全しようとする分野横断的な考え方のこと。ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）と生物多様性条約事務局によって生物多様性と文化多様性をつなぐ共同プログラムが発足し、生物多様性条約締結国第 10 回会議（CBD-COP10）で正式に位置づけられている。^[18]

絶滅危惧種（第 1 章、第 2 章－1）

様々な要因により個体数が減少し、絶滅のおそれがある種や亜種のこと。沖縄県内の絶滅危惧種は、「改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生動物（レッドデータおきなわ）」にまとめられている。^[6]

全天日射量（第 2 章－1）

天空の全方向からの太陽放射（全天日射）を、水平面で受けた単位面積あたりの全天日射エネルギー量のこと。^[19]

た行

天然記念物（第 3 章）

学術上貴重で、わが国の自然を記念するものとして国や自治体に指定された動物、植物、地質・鉱物、それらに富む天然保護区域などのこと。平成 30 年現在、沖縄県内には国指定が 65 件、県指定が 52 件、市町村指定が 123 件ある。例として、カンムリワシ（国指定特別天然記念物）、クロイワトカゲモドキ（県指定天然記念物）、大浦のマングローブ林（名護市指定天然記念物）などがある。^[20]

は行

ハビタット（第 2 章－1）

ある生物の種が生息・生育する環境のこと。地形などの物理的な側面と、大きな木の陰などの生物的な側面によって特徴づけられる。

ビッグデータ（第 1 章）

これまでの単一データベースシステムで管理可能なデータではなく、様々な種類、形式が含まれた大量のデータのこと。情報通信技術（ICT）の進展により、このようなデータの生成・収集・蓄積等が容易に可能になってきており、自然環境保全においてもその活用事例が増えつつある。^[21]

標準学名（第2章－1）

ラテン語で表した正式な生物の種名のこと。

保全利用協定（沖縄県）（第2章－3）

エコツアーに関わる事業者が、利用する自然環境の保全と持続的な利用を目的として、自主的に策定する自主ルールのこと。その内容が適切なものであれば、沖縄県知事がこれを適当なものとして認定することができる。平成30年現在、8地区の協定が認定を受けており、主な協定項目は自然環境への配慮、安全管理、地域への配慮である。^[22]

ま行

マングローブ（第2章－1）

熱帯、亜熱帯の汽水域の河口部などに生育する植物群の総称。マングローブを構成する植物種は、高塩分に対処する仕組みを持ち、湿地に適応した特徴的な根や種子などを持つ。沖縄県内にはメヒルギ、オヒルギなど7種のマングローブ植物が生育する。^[1]

モニタリングサイト1000（第3章）

環境省生物多様性センターが実施している生態系の長期的なモニタリングのこと。日本全国の1000ヶ所程度での長期モニタリングによって、生態系や自然環境の変化、生物種の減少等の問題を早期に把握することを目的としている。「森林・草原」「里地」「沿岸・浅海域」など生態系ごとにサイトが設置されており、サンゴ礁のモニタリングも行われている。本指針の環境カルテ（海域）に掲載した写真の一部は、モニタリングサイト1000サンゴ礁調査で得られたものである。^[23]

ら行

ラプラシアン（第2章－1）

地形面の凹凸を表す指標として用いられる値。

レッドリスト（第2章－1,5）

専門家の検討により選定された、絶滅の恐れがある野生生物の種のリストのこと。国際的には国際自然保護連合（IUCN）が作成しており、国内では環境省、水産庁のほか、地方公共団体やNPOなどが作成している。^[24]

わ行

和名（第2章－1）

生物につけられた日本名のこと。各地域で使っている地方名と日本全国で共通な標準和名がある。例えば、同じ魚について、ハマサキノオクサンは八重山地域での地方名であり、トガリエビスは標準和名である。^[25]

英数字

Bioclim（第2章－1）

生物の分布生息にとって重要と考えられる気候変数のこと。種分布モデルなどの生態学的モデルで使用されることが多い。毎月の気温と降水量を元に算出される19の変数がある。^[26]

Darwin core（第2章－1）

生物標本や観察結果など、生物多様性の情報を記録、共有するために用いられる国際的な形式のこと。Biodiversity Information Standards (TDWG)によって提案されている。^[27]

GIS（第1章）

Geographic Information System（地理情報システム）の略。地理的情報（例：GPS受信機で取得した位置情報）を持ったデータを管理・加工したり、地図上に分かりやすく表示したり、高度な分析を行ったりできる。身近な例として、スマートフォンのナビゲーション機能もGISの活用例である。本指針作成にあたっては、生物多様性の解析や環境カルテの作成に活用されている。^[28]

SPSS（第2章－4）

Content of Suspended Particles in Sea Sedimentの略で、海底の底質に含まれる懸濁物質含量のこと。1970年代の開発工事等によって沖縄の海には大量の赤土が流れ込み、沿岸海域の環境に大きな悪影響を与えた。SPSS法はこのような赤土汚染の状況をモニタリングするために、1980年代に沖縄県衛生環境研究所によって開発された。特別な器具や高度な分析を要しない簡便な手法であること、サンゴの健全な生息等の指標として使用できることなどから、県内沿岸域の環境調査において広範に用いられている。^[29]

3次メッシュ（第1章、第2章－1）

日本全国を緯度経度でメッシュ（網目状）に区画したものを標準地域メッシュと呼び、各種統計の集計単位などとして活用されている。1次メッシュ、2次メッシュ、3次メッシュの3段階に分けられる。3次メッシュは2次メッシュ（およそ10km×10km）を縦横に10等分したものであり、距離にしておよそ1km×1km。ただし、各メッシュの東西方向の長さは緯度によって異なり、北海道と比較して沖縄では約1.3倍の長さである。本指針では、環境カルテ（陸域）を3次メッシュ単位で作成しており、生物多様性の情報等、多くのデータを3次メッシュ単位で整理している。^[30]

5. 参考文献

本指針での生物多様性の解析、生物文化の抽出等に関して情報源とした文献、データベース、ウェブサイト等を以下に示す。

(1) 生物多様性解析に関する引用文献

第2章－1及び第2章－5で解析手法を示した生物多様性解析について、引用文献を以下に示す。

1. 久保田康裕, 楠本聰太郎, 藤沼潤一, 塩野貴之. 2017. 生物多様性の保全科学:システム化保全計画の概念と手法の概要. 日本生態学会誌 67: 267-286.
2. 米倉浩司, 梶田忠. 2003. BG Plants 和名－学名インデックス (YList), <<http://ylist.info>>
3. 日本鳥学会. 2012. 日本鳥類目録改訂第7版. 日本鳥学会, 東京.
4. 日本爬虫両棲類学会. 2015. 日本産爬虫両生類標準和名.
<<http://zoo.zool.kyoto-u.ac.jp/herp/wamei.html>>
5. 中坊徹次 (編). 2013. 日本産魚類検索 全種の同定 第三版. 東海大学出版会, 秦野.
6. 西平守孝, Veron J. 1995. 日本の造礁サンゴ類. 海游舎, 東京.
7. 国土交通省. 2007. 国土交通省河川環境データベース(河川水辺の国勢調査)
<<http://mizukoku.nilim.go.jp/ksnkankyo/>>
8. JODC. 2013. <http://www.godac.jamstec.go.jp/bismal/j/JODC_J-DOSS>
9. Wieczorek J., Bloom D., Guralnick FR., Blum S., Doring M., Giovanni R. Tim Robertson4, David Vieglais 2012. Darwin Core: An Evolving Community-Developed Biodiversity Data Standard. PLoS ONE 7: e29715. doi:10.1371/journal.pone.0029715
10. 初島住彦, 天野鉄夫. 1994. 琉球植物目録. 沖縄生物学会.
11. 島袋敬一. 1997. 琉球列島維管束植物集覽. 九州大学出版会.
12. 阿部永, 石井信夫, 金子之史, 前出喜四雄, 三浦慎悟, 米田政明. 2005. 日本の哺乳類 (改訂版). 東海大学出版会, 東京.
13. 前之園唯史, 戸田守. 2007. 琉球列島における両生爬虫類の分布. Akamata 18: 28-46.
14. 吉郷英範, Motomura H., Dewa S., Furuta K., Matsuura K. 2014. 琉球列島産陸水性魚類相および文献目録. Fauna Ryukyuana 9: 1-153.
15. Hirao T., Kubota Y., Murakami M. 2015. Geographical patterns of butterfly species

- diversity in the subtropical Ryukyu Islands: the importance of a unidirectional filter between two source islands. *Journal of Biogeography* 42: 1418-1430.
16. McWhirter, D. W., 池長裕史, 五百沢日丸. 1996. 最近の生息状況と参考記録を含めた沖縄県産鳥類目録. *沖縄県立博物館紀要* 22: 33-152.
17. 沖縄野鳥研究会. 2002. 沖縄の野鳥. 新報出版, 那覇.
18. Moilanen A. 2007. Landscape Zonation, benefit functions and target-based planning: Unifying reserve selection strategies. *Biological Conservation* 134: 571-579.
19. Lehtomäki J. & Moilanen A. 2013. Methods and workflow for spatial conservation prioritization using Zonation. *Environmental Modelling & Software*, 47: 128-137.
20. Lehtomäki J., Kusumoto B., Shiono T., Tanaka T., Kubota Y., Moilanen A. 2018. Spatial conservation prioritization for the East Asian islands: A balanced representation of multitaxon biogeography in a protected area network. *Diversity and Distributions*.
21. Kubota Y., Hirao T., Fujii S., Shiono T., Kusumoto B. 2014. Beta diversity of woody plants in the Japanese archipelago: the roles of geohistorical and ecological processes. *Journal of Biogeography* 41: 1267-1276.
22. Kubota Y., Shiono T., Kusumoto B. 2015. Role of climate and geohistorical factors in driving plant richness patterns and endemism on the east Asian continental islands. *Ecography* 38: 639-648.
23. Kubota Y., Kusumoto B., Shiono T., Tanaka T. 2017. Phylogenetic properties of Tertiary relict flora in the East Asian continental islands: imprint of climatic niche conservatism and in situ diversification. *Ecography* 40: 436-447.
24. Kusumoto B., Shiono T., Konoshima M., Yoshimoto A., Tanaka T., Kubota Y. 2017. How well are biodiversity drivers reflected in protected areas? A representativeness assessment of the geohistorical gradients that shaped endemic flora in Japan. *Ecological Research* 32: 299-311.
24. Ladle, R.J. & Whittaker, R.J. 2011. *Conservation Biogeography*. John Wiley & Sons, Ltd., Publication, Oxford.
25. Hortal J., de Bello F., Diniz-Filho J.A.F., Lewinsohn T.M., Lobo J.M., Ladle R.J. 2015. Seven shortfalls that beset large-Scale knowledge of biodiversity. *Annual Review of Ecology, Evolution, and Systematics* 46:523-549.
26. Millien-Parra, V. & Jaeger, J.J. 1999. Island biogeography of the Japanese terrestrial mammal assemblages: an example of a relict fauna. *Journal of Biogeography*, 26, 959-

972.

27. Mittermeier, R.A., Turner, W.R., Larsen, F.W., Brooks, T.M. & Gascon, C. 2011. Global biodiversity conservation: the critical role of hotspots. *Biodiversity hotspots* (ed. by F.E. Zachos & J.C. Habel). 3-22. Springer Berlin Heidelberg.
28. 久保田康裕, 楠本聰太郎, 藤沼潤一, 塩野貴之, 鈴木亮, 福島新, 小澤宏之, 宮良工. 2019. 生物多様性地域戦略を空間的保全優先度分析で具現化する: 沖縄県の生物多様性保全利用指針OKINAWA 作成の事例. *日本生態学会誌* 69: 239-250.

(2) 生物分布情報に関する参考文献等

第2章－1で解析手法を示した生物分類群の空間分布情報について、情報源を表4－5－1に示す。

表 4-5-1 (1). 生物分布情報に関する収集文献リスト

文献名	分類群別データ数													地域	
	哺 乳 類	鳥 類	両 生 類	爬 虫 類	淡 水 魚	植 物	チ ヨ ウ 類	トン ボ 類	淡水 陸 生 貝 類	淡水 甲 殻 類	海 水 魚	海 水 貝 類	海 藻 草 類	サン ゴ	
(株)沖縄環境保全研究所. 2014. 石垣新川河口魚場環境調査業務報告書. 資料編2: 1-52	0	0	0	0	0	0	0	0	0	318	76	328	13	0	
Global Biodiversity Information Facility	0	0	1,049	679	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	○
2015. 一人一枚写真発表. 九州両生爬虫類研究会誌. 6: 54-59	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
環境省. モニタリングサイト1000 プロジェクト	0	6,164	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
西表島生態系保護地域見直し調査	0	0	0	0	0	379	0	0	0	0	0	0	0	0	○
2011. 平成22年度沖縄島北部地域におけるミガメ類の生息実態調査業務報告書: 59-69	0	0	0	30	0	410	0	0	0	0	0	0	0	0	○
2012. 平成23年度やんばる地域の亜熱帯照葉樹林における林道バトロール検討業務報告書: 62-69	74	188	361	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
2013. 平成24年度やんばる地域における住民参加型の希少種等密度・盗掘防止検討業務報告書: 17-28	28	756	609	112	0	0	0	0	28	7	0	0	71	0	○
2012. 平成24年度夏期におけるやんばる地域の林道バトロール等業務報告書: 17-60	210	826	3,227	553	0	0	0	0	0	0	0	0	112	0	○
2014. 平成25年度やんばる地域における希少種等密度・盗掘防止のための林道バトロール業務報告書: 28-143	133	2,107	1,918	595	0	7	7	0	14	28	0	0	77	0	○
2016. 平成27年度やんばる地域における希少種等密度・盗掘防止のための林道バトロール業務報告書: 29-206	180	3,303	1,782	729	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	○
2017. 平成28年度石西礁湖サンゴ群集モニタリング調査等業務報告書: 52-57	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	14	0	232	○
名和文庫干潟貝類データ	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2,728	0	0	○
Akihito, Katsusuke Meguro. 2000. Review of the gobiid genus <i>Cristatogobius</i> found in Japan with description of a new species. Ichthyological Research. 47(3): 249-261	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
Arie Y, Fujimoto T, Kouzuma T, kobayashi M. 3.底生生物・魚類調査. Bulletin of Fukuoka Fisheries and Marine Technology Research Center: (3-1)~(3-5)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32	0	0	0	0	○
Ayako Shoji, Jun Yokoyama, Masakado Kawata. 2007. Molecular phylogeny and genetic divergence of the introduced populations of Japanese guppies, <i>Poecilia reticulata</i> . Conservation Genetics. 8: 261-271	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
Douglass F. Hoese, Gerald R. Allen. 2011. A review of the amphidromous species of the <i>Glossogobius celebius</i> complex, with description of three new species. Cybium. 35(4): 269-284	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
Fabienni Ziadi-Kunzli and K. Tachihara. 2016. Female defence polygyny and plasticity in the mating system of the demersal triggerfish <i>Rhinecanthus aculeatus</i> (Pisces:Balistidae) from Okinawa Island. Marine Biology. 163: 27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	○
Fabienni Kunzli, Katsunori Tachihara. 2012. Validation of age and growth of Picasso Triggerfish (Balistidae: <i>Rhinecanthus aculeatus</i>) from Okinawa Island, Japan, using sectioned vertebrae and dorsal spines. Journal of Oceanography. 68: 817-829	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	○
Fautin, Daphne G. 2013. Hexacorallians of the World	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	○
Hajime Matsubara, Yuki Kubara, Hiroka Yoshikawa, Daisuke Iwata, Masaharu Shimizu, Yoshifumi Horie, Takuto Imai, Yuta Fukukawa, Ken-ichi Watanabe, Hidemasa Shione. 2013. Gonadal histology of wild giant mottled eel <i>Anguilla marmorata</i> in Okinawa, Japan. Biogeography. 15: 55-62	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
Harumi SAKAI, Mitsuaki SATO. 1982. First Records of Five Teleostean Fishes and Three Second Records of Gobiid Fishes from Japan, Collected in Rivers on the Ryukyu Islands. 北海道大学水産学部研究叢書. 33(2): 79-88	0	0	0	0	1	0	0	0	0	6	0	0	0	0	○
HIDETOSHI OTA. 2003. A New Subspecies of the Agamid Lizard, <i>Japalura polygonata</i> (Hallowell, 1861) (Reptilia: Squamata), from Yonagunijima Island of the Yaeyama Group, Ryukyu Archipelago. Current Herpetology. 22(2): 61-71	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
HIDETOSHI OTA. 1990. The Tree Gecko, <i>Hemiphyllodactylus typus typus</i> (Lacertilia: Gekkonidae): an Addition to the Herpetofauna of Japan. Japanese Journal of Herpetology. 13(3): 87-90	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
Hiroshi Senou, Tetsuo Yoshiro, Munee Okiyama. 1987. A Review of the Mullets with a Keel on the Back, <i>Liza carinata</i> Complex (Pisces: Mugilidae). PUBLICATIONS OF THE SETO MARINE BIOLOGICAL LABORATORY. 32(4-6): 303-321	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	○
I-Shuang Chen, Toshiyuki Suzuki, Hiroshi Senou. 2008. A NEW SPECIES OF GOBIID FISH, <i>LUCIOGOBIUS</i> FROM RYUKYUS, JAPAN (TELOSTEI: GOBIDAE). 16(4): 250-254	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
Imai, H., Kashiwagi, F., Cheng, J. H., Chen, T. I., Tachihara, K., & Yoshino, T. 2009. Genetic and morphological evidence of hybridization between <i>Nematalosa japonica</i> and <i>N. come</i> (Clupeiformes: Clupeidae) off Okinawa Island, Ryukyu Archipelago, Japan. Fisheries Science. 75: 343-350	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	○
Ishikawa, T., T. Shimose and K. Tachihara. 2013. Life history of an invasive and unexploited population of Nile tilapia (<i>Oreochromis niloticus</i>) and geographical variation across its native and non-native ranges. Environmental Biology of Fishes. 96: 603-601	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
Kanak, M.K. and K. Tachihara. 2008. Reproductive biology of common silver biddy <i>Gerres oyena</i> in Okinawa Island of southern Japan. Fisheries Science. 74: 265-275	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	○
Katsunori TACHIHARA, Emi OBARA. 2003. 沖縄島源河川におけるカワスズメの年齢と成長. SUISANZOSHOKU. 51(3): 307-313	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
Katsunori TACHIHARA, Emi OBARA. 2003. 直達発生型魚類カワスズメの卵内発生と稚魚への形態変化の過程. SUISANZOSHOKU. 51(3): 295-306	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
Katsutoshi Watanabe, Keiichiro Iguchi, Kazumi Hosoya, Mutsumi Nishida. 2000. Ichthyological Research. 47(1): 43-50	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
Kawakami, T. and K. Tachihara. 2011. Dispersal of land-locked larval Ryukyu-ayu, <i>Plecoglossus altivelis ryukyuensis</i> , in the Fukuij Reservoir, Okinawa Island. Cybium. 35: 337-343	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
Ken Maeda, Katsunori Tachihara. 2010. Diet and Seasonal Occurrence Patterns of Drifting Fish Larvae in the Teima Stream, Okinawa Island. Pacific Science., 64(2): 161-176	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
Ken Maeda, Katsunori Tachihara. 2004. Instream distributions and feeding habits of two species of sleeper, <i>Eleotris acanthopoma</i> and <i>Eleotris fusca</i> , in the Teima River, Okinawa Island. Ichthyological Research. 51: 233-240	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
Ken Maeda, Katsunori Tachihara. 2005. Recruitment of amphidromous sleepers <i>Eleotris acanthopoma</i> , <i>Eleotris melanosoma</i> , and <i>Eleotris fusca</i> into the Teima River, Okinawa Island. Ichthyological Research. 52: 325-335	0	0	0	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
Koeda, K., K. Tsuzaki, N. Hayashida and K. Tachihara. 2014. First records of two rare snappers, <i>Lutjanus madras</i> and <i>L. dodecananthoides</i> , from Okinawa waters. Fauna Ryukyuana. ISSN2187-6657: 1-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	○
Koeda, K., T. Fukagawa, T. Ishihara and K. Tachihara. 2013. Reproductive biology of nocturnal reef fish <i>Pempheris adusta</i> (Pempheridae) in Okinawa Island, Japan. Galaxea, Journal of Coral Reef Studies: 221-228	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	○
Koeda, K., T. Yoshino and K. Tachihara. 2013. <i>Pempheris ufuagari</i> sp. nov., a new species in the genus <i>Pempheris</i> (Perciformes, Pempheridae) from the oceanic islands of Japan. Zootaxa. 3609: 231-238	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	○
Koeda, K., T. Yoshino and K. Tachihara. 2010. Description of new Japanese and northernmost records of a pempherid fish, <i>Pempheris vanicolensis</i> , from Iriomote Island, southern Ryukyu Archipelago. Biogeography. 12: 77-82	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	○
Koeda, Keita, Taiki Ishihara, Takanobu Fukagawa and Katsunori Tachihara. 2016. Life cycle differences between two species of genus <i>Pempheris</i> based on age determination around Okinawa-jima Island. Ichthyological Research. 63: 519-528	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
Koichi Shibukawa, Gerald R. Allen. 2007. Review of the cheek-spine goby genus <i>Gladiogobius</i> , (Actinopterygii, Perciformes, Gobiidae), with descriptions of two new species from the Indo-West Pacific. Bulletin of the National Science Museum. Series A, Zoology., 33(4): 193-206	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	○
Koichi Shibukawa, Toshiyuki Suzuki, Hiroshi Senou, Korechika Yano. 2005. Records of Three Shrimp-goby Species (Teleostei, Perciformes, Gobiidae) from the Ryukyu Archipelago, Japan. Bulletin of the National Science Museum. Series A, Zoology., 31(4): 191-204	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	○
Koichi Shibukawa, Toshiyuki Taki. 1996. A new gobiid fish, <i>Acanthogobius insularis</i> , from the Ryukyu Islands, Japan. Ichthyological Research. 43: 79-85	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	○
Kondo, M., K. Maeda, N. Yamasaki and K. Tachihara. 2012. Spawning habitat and early development of <i>Luciogobius ryukyuensis</i> (Gobiidae). Environmental Biology of Fishes. 95: 291-300	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○

表 4-5-1 (2). 生物分布情報に関する収集文献リスト

文献名	分類群別データ数													地域		
	哺 乳 類	鳥 類	両 生 類	爬 虫 類	淡 水 魚	植 物	チ ョ ウ 類	トン ボ 類	淡 水 陸 生 貝 類	淡 水 甲 殻 類	海 水 魚	海 藻 類	海 水 甲 殻 類	サン ゴ	本 島	八 重 山
KOICHI KAWAMURA, RYUJI YONEKURA, YUUKI OZAKI, OSAMU KATANO, YOSHINORI TANIGUCHI, KENJI SAITO. 2010. The role of propagule pressure in the invasion success of bluegill sunfish, <i>Lepomis macrochirus</i> , in Japan. Molecular Ecology. 19: 5371-5388	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Kusuto NANJO, Hiroyoshi KOHNO, Mitsuhiro SANO. 2008. Food habits of fishes in the mangrove estuary of Urauchi River, Iriomote Island, southern Japan. Fisheries Science. 74: 1024-1033	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	65	0	0	0	0	0
M Takada, K Tachihara. 2009. Comparisons of age, growth, and maturity between male and female, and diploid and triploid individuals in <i>Carassius auratus</i> from Okinawa-jima Island, Japan. Aquatic Conservation: Marine and Freshwater Ecosystems. 19: 806-814	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Maeda, K and K Tachihara. 2014. Larval fish fauna of a sandy beach and an estuary on Okinawa Island, focusing on larval habitat utilization by the suborder Gobioidea. Fisheries Science. 80: 1215-1229	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0	0
Maeshiro, R., Kusumoto, B., Fujii, S., Shiono, T., & Kubota, Y. 2013. Using tree functional diversity to evaluate management impacts in a subtropical forest. Ecosphere. 4(6): 1-7	0	0	0	0	0	1,450	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Masafumi MATSU, Takayuki MATSU. 1982. <i>Hyla hallowellii</i> Recorded from Iriomotejima, Yaeyama group, Ryukyu Archipelago. 爬虫兩棲類學雜誌. 9(3): 79-86	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Masaru Matsuda, Hiromichi Yonekawa, Satoshi Hamaguchi. 1997. Geographic Variation and Diversity in the Mitochondrial DNA of the Medaka, <i>Oryzias latipes</i> , as Determined by Restriction Endonuclease Analysis. ZOOLOGICAL SCIENCE. 14: 517-526	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Masashi Kondo, Ken Maeda, Nozomi Yamasaki, Katsunori Tachihara. 2012. Spawning habitat and early development of <i>Luciogobius ryukyuensis</i> (Gobiidae). Environmental Biology of Fishes. 95: 291-300	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Masatumi TAKEDA, Sadayoshi MIYAKE. 1968. Six unrecorded xanthid crabs from the Ryukyu Islands preserved in the Zoological Laboratory, Kyushu University. 沖縄生物学会誌. 5(7): 1-10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Masatumi TAKEDA. 1972. Further Notes on the Unrecorded Xanthid Crabs from the Ryukyu Islands. 沖縄生物学会誌. 9(11): 15-24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Masaya Katoh. 1996. Seasonal variation in gonadal activity of females among four species of freshwater gobies in the <i>Rhinogobius brunneus</i> species complex in Okinawa, Japan. Ichthyological Research. 43(2): 169-174	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Md. Sirajul Islam, Shigerimitsu Shokita, Takashi Nagai, Tohru Naruse, Akifumi YOGI, Tetsu OSHIRO. 2002. 沖縄島・瀬戸内海・瀬戸内海における大型底生生物の分布と出現量. 沖縄生物学会誌. (40): 15-31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	33	0	0
Mitsuaki Sato, Harumi Sakai, Morizumi Nakamura. 2004. <i>Kuhlia boninensis</i> (Fowler, 1907), a junior synonym of <i>Kuhlia munda</i> (De Vis, 1884) (Perciformes: Kuhliidae). Ichthyological Research. 51: 70-72	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Mutsumi Nishida, Yasumasa Sawash. 1987. Geographic Differences in the Number of Longitudinal Scales of the Ayu <i>Plecoglossus altivelis</i> . Nippon Suisan Gakkaishi. 53(11)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Nakabo, T., Senou, H., & Aizawa, M. 1998. New species of <i>Pseudocallurichthys</i> (Teleostei: Callionymidae) from Iriomote Island, Japan. Copeia. 1998: 451-455	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
National Museum of Natural History (NMNH), Smithsonian Institution, NMNH Invertebrate Zoology Collections	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	52	0	0
Nozomi Yamasaki, Katsunori Tachihara, Katsunori Tachihara. 2007. Pelagic larval duration and morphology at recruitment of <i>Stiphodon punctopterygion</i> (Gobiidae: Sicydiinae). Raffles Bulletin of Zoology, supplement., 14: 209-214	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Nozomi Yamasaki, Katsunori Tachihara. 2007. Eggs and larvae of <i>Awaous melanocephalus</i> (Teleostei: Gobiidae). Ichthyological Research. 54(1): 89-91	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Nozomi Yamasaki, Katsunori Tachihara. 2006. Reproductive biology and morphology of eggs and larvae of <i>Stiphodon punctopterygion</i> (Gobiidae: Sicydiinae) collected from Okinawa Island. Ichthyological Research. 53: 13-18	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Nozomi YAMASAKI, masashi KONDO, ken MAEDA, katsunori TACHIHARA. 2011. Reproductive biology of three amphidromous gobies, <i>Sicyopterus japonicus</i> , <i>Awaous melanocephalus</i> , and <i>Stenogobius</i> sp., on Okinawa Island. Cybium. 35(4): 345-359	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Ohta, I. and K. Tachihara. 2004. Larval development and food habits of the marbled parrotfish, <i>Leptoscarus vaigiensis</i> , associated with drifting algae. Ichthyological Research. 51: 233-240	0	0	0	0	1	0	0	0	0	53	0	0	0	0	0	0
Prince Akhito, Katsusuke Meguro. 1975. <i>Pandaka trimaculata</i> , a New Species of Dwarf Goby from Okinawa Prefecture, Japan and the Philippines. 魚類学雑誌. 22(2): 63-67	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0
Prince Akhito, Katsusuke Meguro. 1975. Description of a New Gobid Fish, <i>Glossogobius aureus</i> , with Notes on Related Species of the Genus. 魚類学雑誌. 22(3): 127-142	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Rahman, M. H. and K. Tachihara. 2005. Age and Growth of <i>Sillago aeolus</i> in Okinawa Island, Japan. Journal of Oceanography. 61: 569-573	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0
Ryohei Tatsuno, Miwako Shikina, Kiyoishi Soyano, Koichi Ikeda, Tomohiro Takatani, Osamu Arakawa. 2013. Maturation-associated changes in the internal distribution of tetrodotoxin in the female goby <i>Yongeichthys criniger</i> . Toxicon. 63: 64-69	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
Sadao IKEHARA, Takeya ABE, Matsuji SHIMOJANA, Yoshiharu YONASHIRO, Susumu MIYAGI. 1976. Nest site of <i>Noguchigera</i> or Okinawa Woodpecker, <i>Sapheopipo noguchii</i> . 沖縄生物学会誌. (14): 55-60	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Seiji MATSUMOTO, Haruhiko FUJIMOTO, Kenji TAKEHARA, Fumiyasu SATO, Mutsumi NISHIDA, Masanori KOHDA. 2007. ECOLOGY AND MORPH TRAITS OF THE SWAMP EEL, <i>MONOPTERUS ALBUS</i> (SYNBRANCHIFORMES: SYNBRANCHIDAE) ON THE RYUKYU ISLANDS, JAPAN. 関西自然保護機構会誌. 29(1): 5-18	0	0	0	0	46	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Shimose, T. and K. Tachihara. 2005. Age, growth and maturation of the blackspot snapper <i>Lutjanus fulviflammus</i> around Okinawa Island, Japan. Fisheries Science. 71: 48-55	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0
Shin-ichiro Oka, Katsunori Tachihara. 2001. Estimation of spawning sites in the spotted flagtail, <i>Kuhlia marginata</i> , based on sperm motility. Ichthyological Research. 48: 425-427	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Shin-ichiro Oka, Katsunori Tachihara. 2008. Migratory history of the spotted flagtail, <i>Kuhlia marginata</i> . Environmental Biology of Fishes. 81: 321-327	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Suzuki, T. & H. Senou. 2013. Review of the sand-diving goby genus <i>Parcaemera</i> (Perciformes: Gobiidae), with descriptions of two new species from the Ryukyu Islands. Bulletin of the National Science Museum. Series A, Zoology, supplement, 7: 53-66	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0
T. Ishikawa, K. Tachihara. 2011. Reproductive biology, growth, and age composition of non-native Indian glassy fish <i>Parambassis ranga</i> (Hamilton, 1822) in Haebaru Reservoir, Okinawa-jima Island, southern Japan. Journal of Applied Ichthyology. 28: 1-7	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Taiki Ishihara, Katsunori Tachihara. 2008. Reproduction and early development of a freshwater pipefish <i>Microphis leiaspis</i> in Okinawa-jima Island, Japan. Ichthyological Research. 55(4): 349-355	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Taiki Ishihara, Katsunori Tachihara. 2009. The maturity and breeding season of the bellybarred pipefish <i>Hippocampus spicifer</i> , in Okinawa-jima Island. Ichthyological Research. 56(4): 388-393	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0
Takuro Shibuno, Yohel Nakamura, Masahiro Horinouchi, Mitsuhiro Sano. 2008. Habitat use patterns of fishes across the mangrove-seagrass-coral reef seascapes at Ishigaki Island, southern Japan. Ichthyological Research. 55: 218-237	0	0	0	0	2	0	0	0	0	54	0	0	0	0	0	0
Tatsuya Kawakami, Katsunori Tachihara. 2010. Occurrence and body size changes of drifting land-locked Ryukyu-ayu <i>Plecoglossus altivelis ryukyuensis</i> larvae in the San-numata River, Okinawa-jima Island, Japan. Ichthyological Research. 57(2): 204-208	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Tetsuo Yoshino, Hidenori Yoshigou. 1998. First records of two freshwater pipefishes of the genus <i>Microphis</i> (Syngnathiformes: Syngnathidae) from Japan. Ichthyological Research. 45(2): 201-204	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Tetsuo Yoshino, Hidenori Yoshigou, Hiroshi Senou. 2002. <i>Mesopristes iravi</i> , a new terapontid fish (Perciformes: Terapontidae) from rivers of Iriomote Island, the Ryukyu Islands. Ichthyological Research. 49: 234-239	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Tetsuo Yoshino, Hirokazu Kishimoto. 2008. <i>Plotosus japonicus</i> , a New Eeltail Catfish (Siluriformes: Plotosidae) from Japan. Bulletin of the National Science Museum. Series A, Zoology, supplement, 2: 1-11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
Tetsuo YOSHINO. 1976. Five Unrecorded Fishes from Japan, Collected from Sesoko Island, Okinawa. 沖縄生物学会誌. (14): 33-40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0

表 4-5-1 (3). 生物分布情報に関する収集文献リスト

文献名	分類別データ数														地域		
	哺乳類	鳥類	両生類	爬虫類	淡水魚	植物	チヨウウ類	トンボ類	淡水陸生貝類	淡水甲殻類	海水魚	海水貝類	海藻草類	海水甲殻類	サンゴ	本島	八重山
Tetsuro ISHIKAWA, Katsunori TACHIHARA. 2008. Age, growth and maturation of the redbelly tilapia <i>Tilapia zillii</i> introduced into the Haeburu Reservoir on Okinawa-jima Island. <i>Fisheries Science</i> , 74(3): 527-532	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Tetsuro Ishikawa, Katsunori Tachihara. 2010. Life history of the nonnative convict cichlid <i>Amatitlania nigrofasciata</i> in the Haeburu Reservoir on Okinawa-jima Island, Japan. <i>Environmental Biology of Fishes</i> , 88: 283-292	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Tetsuro Ishikawa, Tamaki Shimose, Katsunori Tachihara. 2013. Life history of an invasive and unexploited population of Nile tilapia (<i>Oreochromis niloticus</i>) and geographical variation across its native and non-native ranges. <i>Environmental Biology of Fishes</i> , 96: 603-616	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Uehara, M and K. Tachihara. 2015. Reproductive traits of the western, Pacific gizzard shad <i>Nematalosa come</i> : implications for conservation and management in a population at its distributional margin. <i>Environmental Biology of Fishes</i> , 98: 1-10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	
Uehara, M, and K. Tachihara. 2012. Reproductive biology of Japanese gizzard shad (<i>Nematalosa japonica</i>) in coastal waters around Okinawa Island, Ryukyu Archipelago, southwestern Japan. <i>Ichthyological Research</i> , 59: 314-322	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	
Uehara, M., F. Kashiwagi, H. Imai and K. Tachihara. 2011. Biological traits of naturally induced hybrid individuals of two gizzard shads, <i>Nematalosa come</i> and <i>N. japonica</i> , in coastal waters around Okinawa Island, Ryukyu Archipelago, southwestern Japan. <i>Ichthyological Research</i> , 58: 344-349	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	
Worawit Maneepitaksanti, Kazuya Nagasawa. 2012. Monogeneans of <i>Cichlidogyrus</i> Paperma, 1960 (Dactylogyridae), gill parasites of tilapias, from Okinawa Prefecture, Japan. <i>Biogeography</i> , 14: 111-119	0	0	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Yuichi Kano, Shin Nishida, Jun Nakajima. 2012. Waterfalls drive parallel evolution in a freshwater goby. <i>Ecology and Evolution</i> , 2: 1805-1817	0	0	0	0	104	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	
Yukio Iwatsuki, Masayuki Kume, Tetsuo Yoshino. 2010. A New Species, <i>Acanthopagrus pacificus</i> from the Western Pacific (Pisces, Sparidae). <i>Bulletin of the National Science Museum Series A, Zoology</i> , 36(4): 115-130	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	
Aleluia Taise, 須田彰一郎. 2015. 沖縄島沿岸の底生珪藻の出現記録. <i>沖縄生物学会誌</i> , (53): 23-30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	68	0	0	0	0	
Atsushi Nanami, Moritaka Nishihira. 2002. The structures and dynamics of fish communities in an Okinawa coral reef: effects of coral-based habitat structures at sites with rocky and sandy sea bottoms. <i>Environmental biology of fishes</i> , 63: 353-372	0	0	0	0	0	0	0	0	0	191	0	0	0	0	0	0	
Beringer, G. 1976. Additions to the List of Okinawa Birds. <i>Japanese Journal of Ornithology</i> , 25: 116-117	0	35	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Brazil, M. and P. Snetsinger. 1991. The Little Gull <i>Larus minutus</i> in Japan. <i>Journal of the Yamashina Institute for Ornithology</i> , 20: 80-82	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Brazil, M., H. Ikenaga. 1987. The Amami Woodcock <i>Scolopax mira</i> : its identity and identification. <i>Forktail</i> , 3: 3-16	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Cogswell, H. 1948. Summer Observations of Birds of Okinawa, Ryukyu Islands. <i>Condor</i> , 50: 16-25	0	120	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Ekaki, Y and Z. Miyara. 1995. Wintering of Oriental White Storks in Yonaguni Island, the Westernmost Japan. <i>Journal of the Yamashina Institute for Ornithology</i> , 27: 92-97	0	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Katsunori TACHIHARA, Kohei NAKAO, Keishi TOKUNAGA, Yuki TSUHAKO, Mikumi TAKADA, Tamaki SHIMOSE. 2003. Ichthyofauna in Mangrove Estuaries of the Okinawa, Miyako, Ishigaki and Iriomote Islands during August from 2000 to 2002. <i>Bulletin of the Society of Sea Water Science</i> , Japan, 57: 481-490	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	47	0	0	0	0	0	
Kohno H, Abe N, Mano T. 1986. Chick mortality of the Sooty Tern <i>Sterna fuscata</i> caused by Typhoon-8211 on Nakamokami-shima, South Ryukyu, Japan. <i>Journal of the Yamashina Institute for Ornithology</i> , 18: 41-50	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
McCosker John E, Hatooka Kiyotaka, Sasaki Kunio and Moyer Jack T. 1984. Japanese moray eels of the genus <i>Uropterygius</i> . <i>Japanese journal of ichthyology</i> , 31(3): 261-267	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	
McWhirter, D. 1985. Records of Pectoral Sandpiper (<i>Calidris melanotos</i>) for Okinawa Prefecture. <i>Strix</i> , 4: 57-60	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
McWhirter, D. 1985. 沖縄における鳥類の繁殖観察. <i>Japanese Journal of Ornithology</i> , 33: 123-125	0	74	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Nakamura, Y., & Tsuchiya, M. 2008. Spatial and temporal patterns of seagrass habitat use by fishes at the Ryukyu Islands, Japan. <i>Estuarine, Coastal and Shelf Science</i> , 76(2): 345-356	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44	0	0	0	0	0	
Nanjo, K., Kohno, H. & Sano, M. 2008. Food habits of fishes in the mangrove estuary of Urauchi River, Iriomote Island, southern Japan. <i>Fisheries Science</i> , 74: 1024-1033	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	65	0	0	0	0	0	
Naomasa Kawashima, Jack T. Moyer. 1982. 球球島から得られたオキスヌメタイ <i>Pristotis jerdoni</i> とコハクヌメタイ <i>Pomacentrus vaillii</i> . <i>魚類学雑誌</i> , 29: 260-266	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	
NPO法人ユーラル沖縄. 2009. 中城港湾泡瀬地区第1区域内サンゴ移植報告について: 1-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
NPO法人ホタルとサンゴの島から. 2014. 平成25年度サンゴアートサマビビ珊瑚礁等調査業務報告書: 63p	0	0	0	4	0	0	0	0	0	90	0	0	0	0	0	0	
NPO法人ホタルとサンゴの島から. 2015. 平成26年度キクザサツサビビ生息環境等調査業務報告書: 73p	0	0	0	6	0	0	0	0	0	94	0	0	0	0	0	0	
TETSUJI NAKABO. 1983. REVISION OF THE DRAGONETS (PISCES: CALLIONYMIDAE) FOUND IN THE WATERS OF JAPAN. <i>PUBLICATIONS OF THE SETO MARINE BIOLOGICAL LABORATORY</i> , 27(4-6): 193-259	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	
Tetsuo Takara, Nagahisa Kuroda. 1969. 琉球における未記録種および稀種. <i>Journal of the Yamashina Institute for Ornithology</i> , 5: 547-562	0	145	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Wild Bird Society of Japan. 1986. <i>Strix Field Note</i> . <i>Strix</i> , 5: 89-98	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Wild Bird Society of Japan. 1987. <i>Strix Field Note</i> . <i>Strix</i> , 6: 110-118	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Wild Bird Society of Japan. 1989. <i>Strix Field Note</i> . <i>Strix</i> , 8: 347-349	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Wild Bird Society of Japan. 1990. <i>Strix Field Note</i> . <i>Strix</i> , 9: 265-268	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Wild Bird Society of Japan. 1991. <i>Strix Field Note</i> . <i>Strix</i> , 10: 315-318	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Wild Bird Society of Japan. 1993. <i>Strix Field Note</i> . <i>Strix</i> , 12: 259-264	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Wild Bird Society of Japan. 1994. <i>Strix Field Note</i> . <i>Strix</i> , 13: 265-274	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Wild Bird Society of Japan. 1996. 野鳥情報・観察記録 1994.8-1995.7. <i>Strix</i> , 14: 205-211	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
WWFJ. 2009. 南西諸島生物多様性評価プロジェクト フィールド調査報告書: 1-242	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	43	0	
Yamashina, Y. and T. Mano. 1981. A New Species of Rail from Okinawa Island. <i>Journal of the Yamashina Institute for Ornithology</i> , 13: 147-152	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Yossi Loya, 沢井一彦. 2008. クサビライクササンゴの性転換. 球球大学21世紀COEプログラム「サンゴ礁島嶼系の生物多様性の総合解釈」平成19年度成果発表会: 49p	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
カラ・カラスト地域学術調査委員会. 2007. カラ・カラスト地域における絶滅危惧種コウモリ類の生育実態調査 (2007年6月)報告: 42742	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
タグラス・マックィター、池長裕史, 五百沢日丸, 庄山守, 岩原建二. 1996. 最近の生息状況と参考記録を含めた沖縄県産鳥類目録. 沖縄県立博物館紀要, 22: 33-152	0	373	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
チーム美ラサンゴ. 2010. 万座周辺のサンゴ観察報告書(万座、平成21年9月): 1-9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	
ヤマハリゾート株式会社. 1997. (仮称)いわむらしごルゴルフ場開発計画に係る環境影響評価書 評価書: 750p	16	75	9	13	0	1,807	130	43	0	0	118	23	460	0	183	0	
安座間安史, 岩袋徳正. 1989. 特殊鳥類等生息調査及びノグチゲラの巣巣木調査. 特殊鳥類等生息環境調査 II 中間報告書: 99-122	0	103	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
安座間安史, 岩袋徳正. 1996. 大林国道(沖縄島ヤンバル地域)における側溝下動物一斉調査-側溝設置状況からみた小動物の地下状況の分析-. 沖縄生物教育研究会誌. (28): 3-12	0	0	24	15	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
安座間安史, 岩袋徳正, 岩原健二. 1990. 刈野喜タム・照首山周辺のノグチゲラ生息環境調査. 特殊鳥類等生息環境調査Ⅲ中間報告書: 110-124	0	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
安座間安史, 岩袋徳正. 1984. ノグチゲラの育雛活動について. 沖縄生物学会誌. (22): 79-90	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
安田 富士郎, 富永 義昭. 1970. 三宅島および沖縄本島から得られたキンチャクダイ類の二新種. 魚類学雑誌. 17: 141-151	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	

表 4-5-1 (4). 生物分布情報に関する収集文献リスト

文献名	分類群別データ数													地域			
	哺 乳 類	鳥 類	両 生 類	爬 虫 類	淡 水 魚	植 物	チ ヨ ウ 類	ト ン ボ 類	淡 水 陸 生 貝 類	淡 水 甲 殻 類	海 水 魚	海 水 貝 類	海 藻 草 類	海 水 甲 殻 類	サン ゴ	本 島	八 重 山
安部真理子, 桥原隼人, 早川英毅, 渡辺尚樹, 高道雄, 2006. ミサンゴの多様性に関する研究. 球体大学21世紀プロジェクト「サンゴ礁島嶼系の生物多様性の総合解析」平成17年度成果発表会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	○
安部直哉, 河野裕美, 真野徹, 1986. 仲の神島で繁殖するセグロアシザシの個体数と離(幼鳥)数の推定. 山陰鳥研究. 18(1): 28-40	1	32	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
伊藤信義, 1986. 日本におけるクロトキの生息記録. 34: 127-143	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
伊波善男, 1990. エナガの植生. 382p	0	0	0	0	0	2,885	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
伊波善男, 全沖縄県立高等学校の校庭の植物目録	0	0	0	0	0	4,600	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
伊波善男, 2007. 第3章 都市の中の自然 葦敷林. 沖縄市史 第4巻 自然・地理・考古編 自然編: 290-300	0	0	0	0	0	1,511	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
伊波善男, 2007. 第3章 都市の中の自然 地図・植物. 沖縄市史 第4巻 自然・地理・考古編 自然編: 251-281	0	0	0	0	0	1,903	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
伊波善男, 伊礼洋我, 池原直樹, 斎藤洋洋・渡嘉敷玲子, 1986. 山谷の植物. 沖縄県自然調査報告書. 1: 52	0	0	0	0	0	150	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
伊泽雅子, 前田喜四雄, 1998. 西表島で採集されたアブラカウモリ <i>Pipistrellus abramus</i> の記録. 沖縄島嶼研究. 16: 17-18	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
井口修, 西平守洋, 1994. 沖縄島から新たに記録されたシモフリオマキナキ <i>Uca triangularis</i> . 沖縄生物学会誌. (32): 39-42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	○	
井川桃子, 2015. 単体サンゴとホシミシの共生系における生態と生活史. 日本生態学会第62回全国大会講演要旨	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	○	
一般財団法人自然環境研究センター, 2018. 平成29年度 クロワカゲマド牛糞の生態状況把握等業務報告書: 116p	0	0	0	118	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
宇都宮妙子, 2000. 南西諸島の両生類調査記3. 沖縄島・宮古島・与論島・奄美大島・徳之島の両生類について. 両生類誌. 4: 23-27	0	0	25	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
宇都宮妙子, 2000. 南西諸島の両生類調査記4. 奄美大島・徳之島・沖縄島・西表島の両生類について. 両生類誌. 5: 12-16	0	0	13	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
宇都宮妙子, 2001. 南西諸島の両生類調査記5. 奄美大島・徳之島・沖縄島の両生類について. 両生類誌. 6: 7-12	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
宇都宮妙子, 2001. 南西諸島の両生類調査記6. 徳之島・沖縄島・奄美大島の両生類について. 両生類誌. 7: 49-53	0	0	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
宇都宮妙子, 2002. 南西諸島の両生類調査記7. 奄美大島・沖縄島の両生類について. 両生類誌. 8: 35-38	0	0	18	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
宇都宮妙子, 2002. 南西諸島の両生類調査記8. 奄美大島・沖縄島の両生類について. 両生類誌. 9: 33-37	0	0	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
宇都宮妙子, 2003. 南西諸島の両生類調査記9. 沖縄島・奄美大島・徳之島・石垣島・西表島の両生類について. 両生類誌. 10: 8-18	0	0	17	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
宇都宮妙子, 1999. 南西諸島の両生類調査記2. 沖縄島と渡嘉敷島の両生類について. 両生類誌. 3: 15-20	0	0	18	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
羽地邦雄, 砂川栄喜, 池長裕史, 2011. 沖縄県多良間島におけるナンキンオシ <i>Nettapus coromandelianus</i> の観察記録. 日本鳥学会誌. 60: 246-249	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
鶴岡直行, 1985. 沖縄島・八重山におけるトントク類採集記録. 球球の昆虫. (10): 74-78	0	0	0	0	0	0	0	0	83	0	0	0	0	0	0	0	○
浦添市史編集委員会, 1986. 浦添市の植物. 浦添市史. 第6巻 資料編5 (自然・考古・産業・歌謡)	7	23	0	0	0	0	0	50	0	27	0	0	0	0	0	0	○
延原肇, 宮良全修・佐久本敏, 1984. 西表島と鹿児島の砂浜群落の変化. 沖縄生物学会誌. (22): 103-114	0	0	0	0	0	0	0	139	0	0	0	0	0	0	0	0	○
延原肇・佐久本敏・宮良全修, 1983. 沖縄の砂浜群落の変化. 沖縄生物学会誌. (21): 4-51	0	0	0	0	0	0	0	234	0	0	0	0	0	0	0	0	○
延原肇・佐久本敏・宮良全修・玉城常雄, 1981. 沖縄の砂浜群落の成立要因. 沖縄生物学会誌. (19): 1-16	0	0	0	0	0	0	0	50	0	0	0	0	0	0	0	0	○
垣野眞之, 未発表データ	0	0	0	0	0	0	0	815	0	0	0	0	0	0	0	0	○
奥土春夫, ニライ社, 2000. 南大東島の自然: 1-135	0	193	0	0	0	0	0	11	16	0	0	0	0	0	0	0	○
横川浩治, 2000. 沖縄に生息するティラピア. 伊豆海浜公園通信. (11): 2-5	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
横田昌嗣, 阿部篤志, 佐藤宣子, 2016. 宮古諸島から新たに見つかったゾウ管束植物. 宮古島市総合博物館紀要. (20): 121-128	0	0	0	0	0	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
翁修, 東江林, 上間久美子, 宮城ゆかり, 島袋俊夫, 津波則子, 1984. 人工放棄ダムにおける植物の生態分布. 沖縄生物研究会誌. (17): 33-34	0	0	0	0	0	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
岡崎幹人, 2006. 南大東島におけるコモシヒメハネビロトンボの記録. 球球の昆虫. (30): 55-56	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	○
岡慎一郎, 松崎章平, 宮本2014. 海洋公園におけるアマガミラマーキ記録. 球球の昆虫. (23): 83	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	○
岡村純, 2003. ハマヤマトシジミの採集記録 1986-2003年. 球球の昆虫. (23): 82	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	○
岡村純, 2004. 黒島におけるアマガミラマーキ記録. 球球の昆虫. (24): 68	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	○
岡村純, 1994. コウモリ2種を良部島から記録. 沖縄生物保護研究会誌. (26): 9-11	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
岡村純, 2005. 宮古における野生化シシャクの分布状況. 平良市大野山林の野生化シシャクを捕獲しなくていいのか? - 平良市総合博物館紀要. (10): 99-104	0	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
岡田博, 球谷裕一, 岡本素治, 2007. <i>Cyatrala tenuifolia</i> (Wight & Arn.) Gapnep., ブドウ科についての分類学的記述. <i>Acta phytotaxonomica et geobotanica</i> . 58(1): 51-55	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
岡奈理子, 2004. オオミスナギ下の繁殖地と繁殖個体数規模および海域, 表層水温との関係. <i>Journal of the Yamashina Institute for Ornithology</i> , 35: 164-188	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
沖縄開発局, 1980. 第1章 陸上動物調査(1) (主に陸上脊椎動物及び大型土壤動物). 尖閣諸島調査報告書(学術調査編): 1-45	4	54	0	6	0	0	0	0	30	0	0	7	0	0	0	0	○
沖縄開発局, 1980. 第2章 陸上動物調査(2) (主に哺乳動物). 尖閣諸島調査報告書(学術調査編): 46-86	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	○
沖縄開発局, 1980. 第3章 水生動物調査(海岸動物及び海水動物). 尖閣諸島調査報告書(学術調査編): 87-117	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	156	0	2	0	0	○
沖縄開発局環境整備公団事務局, 2000. 中城湾(泡瀬地区)公有水面開拓事業に係る環境影響評価書: 5章	0	366	0	0	0	502	0	0	0	0	0	60	740	0	181	0	○
沖縄県, 2013. 1.1 サンゴ類調査結果. 平成24年度 赤土等流出防止海域モニタリング調査委託業務報告書: 1.1-1 ~1.1-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	○
沖縄県, 2013. 1.1.1 永久コドラー調査. 平成24年度 赤土等流出防止海域モニタリング調査委託業務報告書: 14-17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	○
沖縄県, 2012. 沖縄県指定ナービシング鳥保護区指定計画書: 1-8	0	7	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
沖縄県, 沖縄県自然環境再生計画動物分布データ	372	2,340	399	489	154	1,326	0	0	0	0	34	0	0	0	0	0	○
沖縄県, 1982. 沖縄県自然環境保全地域・指定候補地生物学調査報告書 知花グスク 斎場御嶽とその周辺地域: 130p	1	5	2	6	0	0	0	19	11	0	0	0	0	0	0	0	○
沖縄県, 2016. 4. 宮古島城公園整備事業～計画段階環境影響調査書～: 第5章: 1-100	0	25	2	14	0	2	0	0	0	3	1	0	0	27	0	0	○
沖縄県, 2011. 県道平和の道(仮称)整備事業に係る環境影響評価書: 6章	116	355	20	64	0	783	0	0	87	6	8	297	238	430	0	0	○
沖縄県, 2015. 球島新川河川環境調査業務報告書(その2), 資料編2: 1-60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	117	552	40	0	○
沖縄県, 2013. 多目的型川河川河床環境調査業務委託報告書	9	108	14	16	30	0	0	46	30	18	18	19	184	17	0	0	○
沖縄県, 2015. 平成26年度自然環境再生指針(仮称)事業委託業務: 213p	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	4	210	0	222	0	○	
沖縄県, 2016. 平成26年度沖縄県自然環境再生モデル事業結果報告書	0	0	0	0	0	39	0	0	17	3	44	66	44	0	81	0	○
沖縄県, 2012. 与那空港拡張準備事業に係る環境影響評価書: 第6章	25	164	0	15	2	709	0	0	2	1	89	180	134	32	195	0	○
沖縄県ダム事務所, 2006. 儀修工・総合開発事業環境影響評価書: 第6章	2	49	5	35	19	1,298	2	22	55	57	4	25	68	53	0	0	○
沖縄県開発建設部・河川課, 2005. 奥川及び源川における河川生態調査業務委託報告書: 1-105	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	○
沖縄県開発建設部・河川課, 2005. 奥川及び源川河川生態調査業務委託報告書: 1-126	0	0	4	0	70	171	0	0	1	11	0	1	0	1	0	0	○
沖縄県環境保全自然保護課, 2013. 資料環境保全自然保護課策	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
沖縄県環境保全自然保護課, 2013. 生物多様性おきなわフランクトンH28年度調査	76	1,059	133	174	0	5,267	0	0	41	10	0	1,724	908	1,252	0	0	○
沖縄県環境保全自然保護課, 2017. 生物多様性おきなわフランクトンH29年度調査	73	851	133	217	279	495	390	356	222	303	519	5,753	2,357	4,180	0	0	○
沖縄県環境保全																	

表 4-5-1 (5). 生物分布情報に関する収集文献リスト

文献名	分類別データ数													地域			
	哺 乳 類	鳥 類	両 生 類	爬 虫 類	淡 水 魚	植 物	チ ヨ ウ 類	ト ン ボ 類	淡 水 陸 生 物	淡 水 甲 殻 類	海 水 魚	海 水 貝 類	海 水 甲 殻 類	サン ゴ	本 島	八 重 山	
沖縄県教育委員会. 1997. クジマホタル生息実態緊急調査報告書. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第37集: 61p	0	20	9	1	0	0	0	14	67	0	0	33	0	0	0		
沖縄県教育委員会. 1981. ケナガスミ実態調査報告書. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第22集: 65p	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
沖縄県教育委員会. 1977. ケラマジカ実態調査報告書Ⅱ. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第11集: 148p	0	0	0	0	0	0	2,057	0	0	0	0	0	0	0	0		
沖縄県教育委員会. 1978. ケラマジカ実態調査報告書Ⅲ. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第12集: 209p	0	0	0	0	0	0	877	0	0	0	0	0	0	0	0		
沖縄県教育委員会. 1979. ケラマジカ実態調査報告書Ⅳ. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第17集: 148p	0	41	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
沖縄県教育委員会. 1996. ケラマジカ保護対策緊急実態調査報告書. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第35集: 201p	58	0	0	0	0	0	160	0	0	0	0	0	0	0	0		
沖縄県教育委員会. 1992. ダイワオコワツリ保護対策緊急調査報告書. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第31集: 269p	0	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
沖縄県教育委員会. 1976. ノグチグラ実態調査速報(II). 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第5集: 48p	0	4	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
沖縄県教育委員会. 2003. リュウキュウヤマガメ・セママルガメ生息実態調査報告書. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第41集: 99p	0	0	0	121	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
沖縄県教育委員会. 1975. 塩川動態調査報告書Ⅰ. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第2集: 78p	0	0	0	0	0	1,606	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
沖縄県教育委員会. 1976. 塩川動態調査報告書Ⅱ. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第6集: 91p	2	12	0	6	11	0	21	7	0	17	5	2	0	7	0	○	
沖縄県教育委員会. 1977. 塩川動態調査報告書Ⅲ. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第9集: 51p	0	0	0	0	2	0	0	0	0	46	0	0	0	0	0	○	
沖縄県教育委員会. 1978. 沖縄県社寺・御嶽林木調査報告書Ⅰ. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第15集: 120p	0	0	0	0	0	0	2,621	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
沖縄県教育委員会. 1979. 沖縄県社寺・御嶽林木調査報告書Ⅱ. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第18集: 210p	0	0	0	0	0	8,823	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
沖縄県教育委員会. 1981. 沖縄県社寺・御嶽林木調査報告書Ⅳ. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第21集: 316p	0	0	0	0	0	2,616	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
沖縄県教育委員会. 1978. 沖縄県洞穴実態調査報告書Ⅰ. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第14集: 137p	7	0	14	24	0	1,174	0	0	72	0	0	14	0	0	0	○	
沖縄県教育委員会. 1979. 沖縄県洞穴実態調査報告書Ⅱ. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第16集: 156p	5	0	7	14	0	0	0	0	37	0	0	0	0	0	0	○	
沖縄県教育委員会. 1976. 麻佐次郎のヒルギ林実態調査報告. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第7集: 60p	0	0	0	0	0	2,571	0	0	0	2	0	0	0	0	0	○	
沖縄県教育委員会. 1977. 麻佐次郎のヒルギ林実態調査報告Ⅱ. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第10集: 88p	0	0	0	0	0	400	0	0	8	0	0	64	0	0	0	○	
沖縄県教育委員会. 1975. 指定候補水木利水荒石の岩礁海岸植物群落. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第4集: 22p	0	0	0	0	0	74	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
沖縄県教育委員会. 1985. 西表島等天然記念物緊急調査Ⅲ 西表島天然記念物緊急調査報告書Ⅲ 動物. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第25集: 88p	8	94	40	114	0	0	2	0	127	0	0	0	4	0	0	○	
沖縄県教育委員会. 2009. 天然記念物緊急調査報告書(サンゴ). 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第45集: 142p	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	73	○	
沖縄県教育委員会. 1975. 与那嶼島辺のイタヤ林について. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第3集: 73p	0	0	0	0	0	5,944	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
沖縄県水産海洋研究センター・石垣支所. 八重山海域におけるクロカラマツの分布: http://fraseika.fra.affrc.go.jp/~dbmgr/cgi-bin/search/search_detail.cgi?RESULT_ID=3359&YEAR=2011	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	○	
沖縄県土木建築部河川課. 2004. 2級水系河川整備基本方針及び整備計画策定業務(石垣新川川)報告書	0	144	0	0	34	610	0	33	19	22	20	15	0	51	0	○	
沖縄県土木建築部河川課. 1997. 安里川(水系)河川環境整備基本方針(石垣川)報告書	0	88	0	0	9	121	0	0	0	0	21	0	0	0	0	○	
沖縄県土木建築部河川課. 2001. 南国地区河川整備基本方針・整備計画策定業務(名麗川). 第7編	0	123	0	0	32	1,061	0	12	16	9	41	36	0	138	0	○	
沖縄県土木建築部河川課. 2001. 中部地区河川整備基本方針及び整備計画策定業務(那比川)報告書【第一編比謝川水系編】: 1-49	0	33	32	6	128	593	0	215	63	75	66	40	2	98	0	○	
沖縄県土木建築部河川課. 2015. 田原川環境調査業務委託(H27)報告書	0	101	0	0	22	96	0	25	14	20	12	37	0	40	0	○	
沖縄県土木建築部河川課. 2016. 田原川環境調査業務委託(H28)報告書	6	80	4	15	0	76	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
沖縄県土木建築部河川課. 2001. 南国地区河川整備基本方針・整備計画策定業務(安謝川). 第7編	0	69	0	0	7	101	0	3	17	4	11	18	0	28	0	○	
沖縄県土木建築部河川課. 2001. 南国地区河川整備基本方針・整備計画策定業務(名麗川). 第7編	4	126	15	21	11	25	0	12	7	30	19	14	0	30	0	○	
沖縄県土木建築部河川課. 2002. 北部・中部地区河川整備基本方針(幸地川)IV河川環境編	0	0	0	0	0	91	171	0	17	9	42	34	40	0	17	○	
沖縄県土木建築部河川課. 2002. 北部・中部地区河川整備基本方針(石垣川)IV河川環境編	0	59	0	0	22	198	0	15	4	17	58	23	0	28	0	○	
沖縄県土木建築部河川課. 2002. 北部・中部地区河川整備基本方針(天原川)IV河川環境編	0	0	0	0	53	392	0	47	32	7	23	14	0	17	0	○	
沖縄県土木建築部河川課. 2002. 北部地区河川整備基本方針及び整備計画策定業務(我部祖河川)報告書	0	36	0	0	46	147	0	8	4	7	25	19	0	30	0	○	
沖縄県土木建築部河川課. 2002. 北部地区河川整備基本方針及び整備計画策定業務(汀間川)報告書	0	30	0	0	56	142	0	13	9	35	53	28	0	91	0	○	
沖縄県土木建築部河川課. 2002. 北部地区河川整備基本方針及び整備計画策定業務(那原川)報告書	0	26	0	0	27	89	0	5	5	27	27	23	0	53	0	○	
沖縄県土木建築部河川課. 2002. 北部地区河川整備基本方針及び整備計画策定業務(那原川)報告書	0	24	0	0	42	159	0	9	7	47	17	25	0	37	0	○	
沖縄県土木建築部空港課. 1993. 北大東空港環境影響評価調査 協議図書	21	384	28	35	0	283	114	56	0	0	0	0	0	14	94		
沖縄県土木建築部都市計画課. 2011. 主要地方道南風原知恵(地域高規格道路 南部東道路)整備事業に係る環境影響評価書. 6章	137	896	68	95	27	805	0	20	287	15	2	25	1,775	4	0	○	
沖縄県土木建築部都市計画課. 1998. 一般国道331号豊見城糸泊バイパス建設事業. 102-140	5	299	9	16	1	0	3	4	0	0	31	20	0	56	0	○	
沖縄県土木建築部都市計画課. 1996. 沖縄市モノレール計画事業に係る環境影響評価書(5章). 102-145	0	1,872	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
沖縄県土木建築部都市計画課. 1993. 環境影響評価書 津嘉山北土地区画整理事業. 237-264	2	12	4	2	0	253	22	8	0	0	0	0	0	0	0	○	
沖縄県土木建築部南土木事務所. 2006. 平成17年度 国場川河川整備計画調査業務委託報告書: 1-45	0	99	0	0	32	197	0	15	18	5	24	14	0	29	0	○	
沖縄県土木建築部八重山土木事務所. 2012. 石垣空港環境調査業務委託(高名川)報告書	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
沖縄県土木建築部八重山土木事務所. 2012. 平成23年度石垣空港環境調査業務委託報告書. 第3章	15	87	0	19	57	431	83	60	49	58	163	130	0	208	0	○	
沖縄県土木建築部八重山土木事務所. 2017. H28船浮港環境保全措置業務委託報告書. 第2章	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
沖縄県土木建築部八重山土木事務所. 2015. 小浜橋環境調査業務委託報告書. 第4章	0	24	0	0	0	150	0	0	0	5	24	55	0	25	2	○	
沖縄県土木建築部八重山土木事務所. 2009. 石垣空港(仮称)環境調査業務委託報告書: 90p	0	284	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
沖縄県土木建築部八重山土木事務所. 2011. 石垣空港環境調査業務委託報告書	0	0	0	0	0	51	0	0	32	17	34	106	54	0	79	0	○
沖縄県土木建築部八重山土木事務所. 2013. 船浦川河川環境調査業務委託報告書. 第3章	0	30	0	0	0	142	0	0	0	8	95	116	0	22	65	○	
沖縄県土木建築部八重山土木事務所. 2002. 北部地区河川環境調査業務委託(那原川)報告書. 第3章	0	23	0	0	0	266	0	0	0	5	37	50	0	16	38	○	
沖縄県八重山支厅土木建築課. 1999. パンナ公園自然生態調査業務委託報告書	30	0	20	27	5	1,591	154	75	0	19	0	0	0	0	0		
沖縄県八重山支厅土木建築課. 2014. 浦内橋環境調査業務(その1)報告書	5	26	6	9	9	0	14	1	0	10	126	73	33	113	0	○	
沖縄県八重山支厅土木建築課. 2014. 浦内橋環境調査業務(その2)報告書	9	131	11	20	19	206	38	19	8	17	283	178	60	271	0	○	
沖縄県八重山支厅土木建築課. 2005. 浦内橋環境調査業務委託報告書: 12p	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	2	0	1	0	○	
沖縄県八重山支厅土木建築課. 2006. 浦内橋環境調査業務委託報告書: 16p	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	2	0	1	0	○	
沖縄県八重山支厅土木建築課. 2006. 大浜海岸環境調査業務委託報告書	0	68	0	0	6	104	0	0	0	3	150	268	146	132	52	○	
沖縄県八重山支厅土木建築課. 1999. 平成11年度「南良崎環境調査」報告書	7	48	7	11	3	227	39	10	9	8	78	49	0	48	0	○	
沖縄県八重山支厅土木建築課. 2003. 平成13年度大浜海岸環境調査業務委託報告書	0	156	0	13	116	0	0	0	5	183	436	117	201	50	○		
沖縄県八重山支厅土木建築課. 2005. 平成14年度石垣新川河川環境整備計画業務委託報告書	5	535	28	38	14	109	44	31	19	7	7	14	0	19	0	○	
沖縄県八重山支厅土木建築課. 2005. 平成17年度石垣伊原間原(野原水)環境調査業務委託報告書: 109p	0	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
沖縄県八重山支厅土木建築課. 2005. 平成17年度石垣伊原間原(野原水)環境調査業務委託(その2)報告書: 67p	6	49	11	17	0	0	0	26	16	0							

表 4-5-1 (6). 生物分布情報に関する収集文献リスト

文献名	分類群別データ数													地域		
	哺 乳 類	鳥 類	両 生 類	爬 虫 類	淡 水 魚	植 物	チ ヨ ウ 類	ト ン ボ 類	淡 水 陸 生 物 類	淡 水 甲 殻 類	海 水 魚	海 水 貝 類	海 水 草 類	海 水 甲 殻 類	サン ゴ	本 島
沖縄総合事務局北部ダム事務所, 2002. 貝類・甲殻類・大型水生昆虫類・魚類・潮間帯生物編. 沖縄本島北部地域における生物調査データ. 第3巻	0	0	0	0	668	0	0	457	445	970	203	242	0	521	0	○
沖縄総合事務局北部ダム事務所, 1997. 大保ダム建設発生土の処分候補地に係る生物環境調査データ(陸域・海域): 49-60	0	0	52	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
沖縄総合事務局北部ダム事務所, 1998. 大保川生物環境調査データ: 253p	0	0	13	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
沖縄総合事務局北部ダム事務所, 2002. 哺乳類・鳥類・爬虫類・両生類・陸上昆虫類編. 沖縄本島北部地域における生物調査データ. 第2巻	179	881	280	316	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
沖縄防衛局, いであ株式会社, 2014. 「シユワフ(H 24) 水域生物等調査」調査報告書 : 3-183~3-302	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	297	○	
沖縄防衛局, 2014. シユワフ(H24)水域生物等調査報告書: 518p	142	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
沖縄防衛局, 2015. シユワフ(H25)水域生物等調査報告書: 717p	125	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
沖縄防衛局, 2016. シユワフ(H26)水域生物等調査報告書	118	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
沖縄防衛局, 2011. 普天間飛行場代替施設建設事業に係る環境影響評価書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	81	0	0	0	0	○
沖縄防衛局, 2012. 普天間飛行場代替施設建設事業に係る環境影響評価書 参考資料(平成 21 年度~平成 22 年度調査), 第2章	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,403	○	
沖縄防衛局, 2011. 普天間飛行場代替施設建設事業に係る環境影響評価書, 資料編: 6章	1,813	128	9	26	27	908	16	32	66	57	31	328	1,809	375	789	○
沖縄防衛局, 2011. 普天間飛行場代替施設建設事業に係る環境影響評価書: 第3章	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	239	○
恩納村, 2005. サンゴの現状. 恩納村オヒトヒヤ那覇除害報告: 4-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	○
恩納村珊瑚繁殖組合, 2010. 恩納村オヒトヒヤ那覇除害報告: 1-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	○
下澤名松栄, 1973. 八重山群島の次久瀬洞の動物相調査報告. 沖縄生物教育研究会誌, (6): 1-26	5	0	3	3	0	0	0	0	26	1	0	1	0	2	0	○
下澤名松栄, 1979. 沖縄島および周辺島嶼の陸上動物. 沖縄県洞窟実態調査報告書 II: 97-153	0	0	7	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
下瀬環・立原一惠, 2005. 沖縄島沿岸におけるニセコロホシエイ稚魚の出現と形態. 沖縄生物学会誌, (43): 35-43	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	○
加藤信一郎, 1991. 盛夏にオコマグラなどとの異常集団をみると. 球礁の昆虫, (14): 31-32	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	○
河内・佐々木健志, 2002. 沖縄島北部森林域における移入肉食類(シャマングース・ノネコ・ノイロ)の分布及び食性について. 沖縄生物学会誌, (40): 41-50	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
河野裕美, 水谷晃, 2009. 琉球列島南島部西表島周辺で保護回収された3羽のヒメクロウミツバメOceanodroma monorhia. 沖縄生物学会誌, (47): 33-39	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
河野裕美, 安部直哉, 真野徹, 1986. 仲の神島の海鳥類. Journal of the Yamashina Institute for Ornithology, 18: 1-27	0	118	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
河野裕美, 水谷晃, 2015. 仲ノ神島および西表島におけるオシロワシの初夏夏繁殖海鳥類への影響. Strix: journal of field ornithology, 野外鳥類学雑誌, 31: 125-134	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
河野裕美, 太田英利, 1991. 海鳥繁殖地の爬虫類: 八重山諸島・仲の神島の爬虫両生類相. 沖縄島嶼研究, (9): 73-89	0	6	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
花房努, 2017. 今帰仁村におけるシケンイモリの繁殖期と水場の利用. 沖縄生物学会誌, (55): 1-10	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
花崎勝司, 2014. 沖縄島北部沿岸における魚類相. 沖縄生物学会誌, (32): 17-25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	238	0	0	0	0	○
花崎勝司, 2005. 沖縄島北部の名蔵湾保水面管理事業及び沿岸藻場調査結果. 平成3年度沖縄県水産試験場事業報告書: 233-254	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	193	0	0	0	0	○
海城沢明彦, 杉山昭博, 1992. 名蔵湾保水面管理事業報告. 平成2年度沖縄県水産試験場事業報告書: 222-243	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	161	0	0	0	0	○
海老沢明彦, 杉山昭博, 1991. 名蔵湾保水面管理事業報告. 平成元年度沖縄県水産試験場事業報告書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	169	0	0	0	0	○
角田平洋, 青柳克, 徳山孟伸, 才木美香, 苛井唯寿, 戸田好, 第四回宮古島における少種なヒドリ種, ミヤコビラフアサヒシマバウダの観察例. Akamata, 26: 25-30	0	0	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
角田平洋, 木寺法子, 2010. 沖縄島やんばる地域で目撲されたウジガカルの一例. Akamata, 21: 27-28	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
角田平洋, 岩城環, 2012. 産業廃棄物溶融再生資源化施設の整備事業に係る環境影響評価書: 277-427	63	98	41	40	18	230	49	41	39	10	3	2	257	5	0	○
株式会社ニユージックエック, 2012. 平成23年度カムリワシ生態状況等調査業務報告書: 99p	0	152	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
株式会社ブレック研究所, 2012. 平成23年度国指定瀬戸島群保護区における保全事業検討大業務報告書: 337p	14	392	0	0	12	0	0	0	18	12	120	132	0	279	0	○
株式会社沖縄環境科学コサインタクト, 2016. 平成27年度西表石垣国立公園西表島横道モニタリング手法検討業務報告書: 56p	0	0	0	0	0	317	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
乾健大, 桑原崇, 鈴木賀員, 川瀬成吾, 前堀光弘, 2013. 沖縄県八重山諸島で確認されたチヨウ類・陸水性魚類・鳥類. 近畿大学農学部紀要, 46: 277-298	0	106	0	0	19	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	○
乾健大, 桑原崇, 鈴木賀員, 川瀬成吾, 前堀光弘, 2013. 沖縄県八重山諸島で記録されたチヨウ類・陸水性魚類・鳥類. 近畿大学農学部紀要, 46: 1-6	0	0	0	0	0	0	0	144	0	0	0	0	0	0	0	○
環境省. 2009. マングース捕獲事業	762	2,462	3,292	595	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
環境省. 2018. 国指定仲の神島鳥獣保護区 仲の神島特別保護地区計画書【指定】(環境省案): 1-10	1	46	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
環境省. 2015. 第 6 回 第 7 回自然環境保全基礎調査(植生調査)	0	0	0	0	0	8,799	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
環境省. 第2-6回自然環境保全基礎調査, 動植物分布調査	103	0	367	719	59	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	○
環境省. 2004. 第6回自然環境保全基礎調査鳥類繁殖分布調査	0	1,362	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
環境省沖縄奄美地区自然保護事務所. 2005. 平成16年度カムリワシ生息状況等調査報告書(グリーンワーカー事業): 68p	0	134	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
環境省沖縄地区自然保護事務所, 株式会社南西環境研究所. 2002. 平成13年度 やんばる地域希少野生生物保全対策事業報告書: 21p	194	132	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
環境省九州地方環境事務所 那覇自然環境事務所, 財団法人自然研究センター. 2006. 平成17年度沖縄県八重山地域における特定外生物防除業務(オオヒカリエイ)調査業務報告書: 63p	0	0	44	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
環境省九州地方環境事務所 那覇自然環境事務所, 財団法人日本生態系協会. 2008. 平成19年度石西礁湖自然再生技術手法検討調査業務報告書: 141p	28	0	169	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
環境省九州地方環境事務所 那覇自然環境事務所. 2007. 平成18年度石西礁湖サンゴ群集変動調査報告書: 145p	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	216	0	26	0	228	○
環境省九州地方環境事務所 那覇自然環境事務所. 2008. 平成19年度石西礁湖サンゴ群集変動調査報告書: 163p	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	353	0	84	0	228	○
環境省九州地方環境事務所 那覇自然環境事務所. 2009. 平成20年宮古諸島における淡水性甲殻類等の現状把握調査業務報告書: 39p	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	0	0	0	0	0	○
環境省九州地方環境事務所 那覇自然環境事務所. 2011. 平成22年度石西礁湖サンゴ礁保全総合調査業務報告書: 1-281	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	921	0	0	0	416	○
環境省九州地方環境事務所 那覇自然環境事務所. 2012. 平成23年度西表石垣国立公園平石崎地域利用調整計画業務報告書: 49p	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	604	0	0	0	0	○
環境省九州地方環境事務所 那覇自然環境事務所. 2012. 平成23年度西表石垣国立公園平石崎地域利用調整計画業務報告書: 78p	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	466	107	50	31	248	○
環境省九州地方環境事務所 那覇自然環境事務所. 2013. 平成24年度石西礁湖サンゴ群集モニタリング調査等業務報告書: 1-148	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	437	6	10	0	207	○
環境省九州地方環境事務所 那覇自然環境事務所. 2014. 平成25年度 石垣島におけるシロアガカル対策手法検討業務報告書: 99p	0	0	68	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
環境省九州地方環境事務所 那覇自然環境事務所. 2016. 平成27年度石西礁湖サンゴ群集モニタリング調査等業務報告書: 1-73	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	14	0	231	○	
環境省九州地方環境事務所 那覇自然環境事務所. 2017. 平成28年度 石垣島におけるカムリワシ生息状況等調査業務報告書: 119p	0	88	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
環境省九州地方環境事務所 那覇自然環境事務所. 2017. 平成28年度石西礁湖自然再生技術手法検討調査業務報告書: 390p	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	544	0	0	0	93	○

表 4-5-1 (7). 生物分布情報に関する収集文献リスト

文献名	分類群別データ数													地域		
	哺 乳 類	鳥 類	両 生 類	爬 虫 類	淡 水 魚	植 物	チ ヨ ウ 類	ト ン ボ 類	水 陸 生 物	淡 水 甲 殻 類	海 水 魚	海 水 貝 類	海 藻 類	サン ゴ	本 島	八 重 山
環境省九州地方環境事務所,那覇自然環境事務所, いわて株式会社. 2011. 平成23年度西表石垣国立公園指定植物点検調査: 418p	0	0	0	0	0	5,896	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
環境省九州地方環境事務所,那覇自然事務所, いわて株式会社. 2010. 平成21年度慶良間地域における改正自然公園法に基づく海域公園地区及び特別地域指定動植物検討調査業務報告書: 37p	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	0	0		
環境省自然環境局, 生物多様性センター. 2009. 平成20年度重要生態系監視地域モニタリング推進事業(モニタリングサイト1000)サンゴ礁調査業務報告書: 1-236	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	○	
環境省自然環境局, 財團法人沖縄県環境科学センター. 2003. 平成14年度西表石垣国立公園における海中公園計画作成に関する海中調査業務報告書: 174p	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	367	13	53	0	228	○
環境省自然環境局, 有斐閣社海游. 2004. 平成15年度調査鷺自然環境保全対策検討調査業務報告書: 131p	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	324	32	132	4	167	○
環境省自然環境局. 2006. 平成17年度やんばる地域国立公園指定計画策定調査報告書: 18-19	121	466	64	37	0	38	42	0	0	0	0	0	0	0	0	○
環境省自然環境局. 2006. 平成17年度石西礁湖サンゴ群集変動調査報告書: 113p	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	63	0	4	0	82	○
環境省自然環境局. 2011. 平成22年度自然環境保全地域等調査検討業務報告書 岩崎湾自然環境保全地域周辺地域(網取島), 第4章: 1-101	0	0	0	0	114	0	0	0	19	58	356	154	0	214	0	○
環境省自然環境局生物多様性センター. 2004. 球磨県モニタリングサイト1000 シギ・チドリ類調査	0	3,313	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
環境省自然環境局生物多様性センター. 球磨県モニタリングサイト1000 プロジェクト	0	7,300	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
環境省自然環境局生物多様性センター. 1983-1990. 第3-5回自然環境保全基礎調査、動物分布調査報告書	497	0	1,243	1,750	430	0	###	2,432	4,039	0	197	844	0	0	0	○
環境省自然環境局生物多様性センター. 1983-1988. 第3回自然環境保全基礎調査、動物分布調査報告書	0	3,646	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
環境省自然環境局生物多様性センター. 1997-2002. 第6回自然環境保全基礎調査、鳥類繁殖分布調査報告書	96	2,902	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
環境省自然保護局. 2001. 平成12年度サンゴ礁研究・モニタリング活動推進事業業務報告書: 143p	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	97	○
環境省自然保護局. 2003. 平成14年度サンゴ礁研究・モニタリング活動推進事業業務報告書: 256p	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	151	○
環境省那覇自然環境事務所, 株式会社アーバントラフィックエンジニアリング. 2017. 平成28年度 慶良間諸島国立公園におけるグリーンアーバンリースル除業務報告書: 29p	0	0	0	42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
環境省那覇自然環境事務所, 有斐閣社海游. 2006. 平成17年度西表島重要湿地保全対策事業業務報告書: 103p	0	0	0	0	112	0	0	84	16	108	8	24	0	32	0	○
環境省那覇自然環境事務所. 2008. 平成19年度伊原岳及び安波周辺における自然環境等調査報告書: 70p	22	292	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
環境省那覇自然環境事務所. 2008. 平成19年度慶良間地域(座間味村)における二ホンイタチの生息個体数および食性調査報告書: 42p	57	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
環境省那覇自然環境事務所. 2009. 平成20年度西表島及び与那国島の水域及び集落周辺における希少野生生物の現状把握調査業務報告書: 110p	0	0	0	0	59	0	0	43	0	393	34	0	0	0	○	
環境省那覇自然環境事務所. 2010. 平成21年度集落周辺におけるヤンバルクイナ生息状況把握調査等業務報告書: 74p	0	34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
環境省那覇自然環境事務所. 2010. 平成21年度イオモテボタル緊急保全対策業務報告書: 83p	0	0	0	0	70	0	0	14	0	0	17	5	0	0	0	○
環境省那覇自然環境事務所. 2011. 平成22年度八重山群島におけるシロアガカル対策業務報告書: 71p	0	0	127	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
環境省那覇自然環境事務所. 2011. 平成22年度イオモテボタル緊急保全対策業務報告書: 72p	0	0	0	0	86	0	0	32	0	0	50	0	0	0	0	○
環境省那覇自然環境事務所. 2011. 平成22年度ノチヂカラ生息調査総括報告書: 108p	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
環境省那覇自然環境事務所. 2011. 平成22年度やんばる地域における垂熱帯照葉樹林の森林環境に関する調査及び資料収集業務報告書: 156-157	0	0	0	0	0	1,560	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
環境省那覇自然環境事務所. 2012. 平成23年度西表石垣国立公園動物生息状況等業務報告書: 59p	10	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
環境省那覇自然環境事務所. 2012. 平成24年度ノグチアザラ追跡調査等業務報告書(資料編): 132p	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
環境省那覇自然環境事務所. 2013. 平成24年度西表石垣国立公園海域公園地区モニタリング業務報告書: 149p	0	0	0	0	14	0	0	0	0	31	83	31	107	159	○	
環境省那覇自然環境事務所. 2012. 平成24年度西表島昆蟲類分布図作成業務報告書: 139p	0	0	0	0	0	0	125	269	0	0	0	0	0	0	0	○
環境省那覇自然環境事務所. 2017. 平成28年度 タイフンシジオの行動特性をふまえたトラップ開発等業務報告書: 45p	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
環境庁. 1981. 第 2 回自然環境保全基礎調査(植生調査)	0	0	0	0	879	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
環境庁. 1988. 第 3 回自然環境保全基礎調査(植生調査)	0	0	0	0	1,880	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
環境庁. 1979. 第2回自然環境保全基礎調査、動物分布調査報告書[鳥類]	0	622	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
環境庁. 1979. 第2回自然環境保全基礎調査、動物分布調査報告書[哺乳類]	64	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
環境庁. 1988. 第3回自然環境保全基礎調査、動物分布調査報告書[魚類]	1,826	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
環境庁. 1980. 日本の重要な植物群落、(南九州・沖縄版: 熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県)	0	0	0	0	4,241	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
環境省自然保護局. 国際湿地保全会合日本委員会. 2000. 平成11年度名瀬川河口地域自然環境保全総合調査報告書: 125p	0	236	0	0	40	0	0	10	0	49	85	22	0	60	0	○
環境省自然保護局, 財団法人沖縄中公園センター. 1998. 平成9年度生態系多様性地域調査(石垣島東部及び平久保半島の沿岸地域)報告書: 174p	0	0	0	0	0	0	0	0	0	313	10	88	0	159	○	
環境省自然保護局. 1990. 岩崎湾自然環境保全地域調査報告書: 225p	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	853	0	163	0	27	○
環境省自然保護局. 1989. 昭和62年度沖縄島北部地域調査報告書 南西諸島における野生生物の種の保存に不可欠な諸条件に関する研究: 1-509	8	2,086	126	104	0	0	356	590	290	16	0	14	0	63	0	○
環境省自然保護局. 1987. 西表島マングローブ林の枯損の原因究明及び保全対策のための検討調査報告書 I: 52p	0	195	0	0	0	184	0	0	0	0	6	18	0	36	0	○
環境省自然保護局. 1999. 平成10年度生態系多様性地域調査(崎山湾自然環境保全地域)調査報告書: 140p	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	148	0	○
環境省自然保護局生物多様性センター. 2001. 海域自然環境保全基礎調査重要海岸域生物調査報告書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	87	○
関伸一. 2004. 多良間島におけるヤシの秋葉の渡り. 九州森林研究. 57: 246-247	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
丸山勝彦. 1993. 伊平屋島の哺乳類. 沖縄生物研究会誌. (25): 3-6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
丸山勝彦. 1999. 亜種島羽地における洞窟棲コモリ2種の前腕長、体重と種構の大きさの季節変化. 沖縄生物学会誌. (37): 15-19	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
丸山勝彦. 1992. 沖縄県におけるヒヤコモリ2種の新記録. 沖縄生物学会誌. (30): 55-57	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
岸野高男, 比嘉ヨシ子. 1978. 沖縄産の住家ネズミズムの種類構成と分布. 沖縄生物学会誌. (16): 1-9	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
岸野低, 四宮明彦. 2004. 美東大島の役勝川と河内川におけるリュウキュウアゴの孵化時期と体サイズ. 魚類学雑誌. 51(2): 149-156	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
岩井昇志, 仲井光男. 2001. 名戸保護水面管理事業. 平成11年度沖縄水産試験場事業報告書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	115	0	0	0	0	○
岩槻幸雄, 濑能宏, 鈴木寿之. 1989. フエダイ科魚類三ミナミエフエダイの日本からの記録および稚魚期における近似種との区別点. 魚類学雑誌. 35(4): 469-478	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
亀崎直樹. 1985. 八重山諸島新島におけるタイマイ <i>Eretmochelys imbricata</i> (Linnaeus) の産卵場の新記録. 沖縄生物学会誌. (23): 41-42	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
亀崎直樹. 1991. 球磨列島におけるウミガメ類の産卵場の分布とその評価(予報). 沖縄生物学会誌. (29): 29-35	0	0	0	0	57	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
亀谷秋惠, 嶺直樹, 富永篤. 2013. シリケンイモリの発生における水温の影響. 九州高生爬虫類研究会誌. 4: 66-67	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
亀田和成, 月元樹, 亀崎直樹. 2013. 八重山諸島島嶼の摺海底におけるアオウミガメの體格構造と成長速度. 沖縄生物学会誌. (51): 93-101	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
亀田和成. 2010. 八重山諸島黒島におけるヤエヤマシガマの初記録. Akamata. 21: 23-24	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
儀間英美, 姶田茂光. 1980. 沖縄島と那川におけるサワガニ2種の分布. 沖縄生物学会誌. (18): 9-15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	
宜野湾市. 2015. (仮称) 西晋天賀生土地区面積測定事業実施規則改修規則. 岩崎島面積測定規則: 1-69	12	24	8	12	0	51	60	30	12	0	0	0	0	1	0	
宜野湾市教育委員会文化課. 2011. 宜野湾の歴史・観察会. 市史だより がちまやあ. (23): 1-8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	
宜野湾市教育委員会文化課. 2002. 寄のわん自然ガイド. 『宜野湾市史』第9章資料編自然. 説明編: 1-215	0	45	12	22	10	75	12	14	12	3	9	26	0	9	0	○
菊地正太郎, 佐野清貴. 2007. 竹富島におけるカムンリワシの観察記録. Bird Research. 3: 57-510	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
菊地正太郎, 姶間英美. 2008. クロアヒメアオハラ <i>Ptilinopus leclancheri</i> の日本初記録および種記述. Journal of the Yamashina Institute for Ornithology. 40: 13-22	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
菊地正太郎・松本千枝子. 2005. 西表島におけるパンケンの観察記録. Strix. 23: 175-179	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
菊池貴夫・田村俊和・牧田肇・宮城豊彦. 1979. 西表島仲間川下流の冲積平原にみられる植物群落の配列とこれにかかる形態 I. マングローブ林. 東北地理. 30(2): 71-81	0	0</														

表 4-5-1 (8). 生物分布情報に関する収集文献リスト

表 4-5-1 (9). 生物分布情報に関する収集文献リスト

文献名	分類群別データ数												地域			
	哺乳類	鳥類	両生類	爬虫類	淡水魚	植物	チョウ類	トンボ類	淡水陸生貝類	淡水甲殻類	海水魚	海水貝類	海藻草類	海水甲殻類	サンゴ	
宮城邦治, 当山昌直. 1988. 沖縄島北部と那覇島及びその周辺地域の哺乳類・爬虫類・両生類調査結果(中間報告). 特殊鳥類等生息環境調査中間報告書: 91-105	5	0	18	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
宮島仁, 高原建二, 田仲謙介. 2015. 沖縄島におけるプロンストキ <i>Plegadis falcinellus</i> の観察記録. 日本鳥学会誌. 64: 267-270	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
宮島仁, 山城正邦, 田仲謙介. 2012. 沖縄県国頭郡金武町におけるヨーロッパムナゴ <i>Pluvialis apricaria</i> の日本初記録. 日本鳥学会誌. 61: 310-313	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
宮脇昭. 1989. 沖縄・小笠原・日本総生息. 10: 580p	0	0	0	0	0	15,493	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
宮脇昭-中村幸人-村上謙秀-塚越優美子-鈴木邦雄-鈴木伸一-仲田栄二. 1983. 西表島沿岸部の植生学的研究. 横浜国立大学環境科学研究所センター紀要. 9(1): 91-137	0	0	0	0	0	1,086	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
宮脇昭-鈴木邦雄-鈴木伸一-中村幸人-村上謙秀-塚越優美子-仲田栄二. 1983. 日本におけるマングローブの植生学的研究 1. 西表島のマングローブ. 横浜国立大学環境科学研究所センター紀要. 9(1): 77-89	0	0	0	0	0	356	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
橋本岳真, 西島信吾. 1987. マドモチワニナ <i>Terebraria sulcata</i> (Born) の後期発生と成長. 沖縄生物学会誌. (25): 53-56	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	○	
玉城俊一. 1972. 八重山の鳥類調査報告(1). 沖縄生物教育研究会誌. (5): 13-17	0	169	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
玉城常雄. 1978. (続)石垣島の秋期における鳥類と渡りの動向. 沖縄生物教育研究会誌. (11): 49-58	0	189	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
玉城常雄. 1982. 石垣市街地と「こな岳」の鳥相およびその生態. 沖縄生物教育研究会誌. (15): 25-31	0	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
玉城常雄. 1977. 石垣島の秋期における鳥類と渡りの動向. 沖縄生物教育研究会誌. (10): 23-37	0	145	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
玉城常雄. 1979. 与那国島の鳥類(1). 沖縄生物教育研究会誌. (12): 15-23	0	191	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
金城 滔昭. 1996. 沖縄島におけるシモフライゴの生態. 日本水産学会誌. 65: 19-25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36	0	0	0	○	
金城 滔昭. 1998. 沖縄島の海岸藻場に棲息するシロクワラ <i>Cheraodon schoenleinii</i> の稚魚の形態および成長にともなう分布と食性的変化. 日本水産学会誌. 64: 427-434	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	○	
金城等. トヨ嘉榮三郎. 大城洋平. 2006. 沖縄県のサンゴ礁海域における栄養塩環境について. 沖縄県衛生環境研究所報. (40): 107-113	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	○	
金城常雄. 1993. 沖縄本島南部に侵入したシロガシラ <i>Pyconotus sinensis</i> の分布域の拡大と生態的特性. 九州病害虫研究会報. 39: 119-123	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
金城滔昭. 鹿児島市. 七条祐哉. 立津茂. 宮平和法. 仲本光男. 1995. 宮古島ミナミクロダイ放流調査. 平成5年度沖縄県水産試験場事業報告書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33	0	0	0	○	
金城滔昭. 七条祐哉. 1995. 宮古島の碎波帯におけるミナミクロダイ稚魚の分布. 平成5年度沖縄県水産試験場事業報告書. 183-187	0	0	0	0	1	0	0	0	0	40	0	0	0	0	○	
金城滔昭. 中村博幸. 仲本光男. 1998. 名瀬湾保護水面管理事業. 平成8年度沖縄県水産試験場事業報告書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	0	0	0	0	○	
金城滔昭. 仲本光男. 渡辺利明. 1997. 名瀬保護水面管理事業. 平成9年度沖縄県水産試験場事業報告書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	114	0	0	0	0	○	
金城滔昭. 仲本光男. 1999. 名瀬保護水面管理事業. 平成9年度沖縄県水産試験場事業報告書. 218-224	0	0	0	0	0	0	0	0	0	161	0	0	0	0	○	
金城滔昭. 仲本光男. 1996. 名瀬湾保護水面管理事業. 平成6年度沖縄県水産試験場事業報告書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	0	0	0	0	○	
金城道雄. 1994. 温地の鳥類. 特殊鳥類等生息環境調査Ⅱ-沖縄本島温地編-	0	647	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
金城優子. 金城風太. 2009. テナハモ子の幼虫を見つけた. 琉球の昆虫. (33): 55	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	○	
金城和三. 前田喜四郎. 1999. 沖縄島で採集されたヤマコウモリ <i>Nyctalus aviator</i> の記録. 沖縄生物学会誌. (37): 61-64	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
胸智幸. 2004. クシモトサンゴヤドカリはクリヨサンゴヤドカリの幼若個体. 沖縄生物学会誌. (42): 25-38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	○	
貝川泰子. 2002. 中部北環境施設組合み処理施設建設事業に係る環境影響評価書: 5章	6	49	7	10	7	545	54	39	14	16	0	15	18	1	○	
栗栖和信. 2016. 沖縄本島におけるマルバネルリマドライ (フリビン亜種) <i>Euploea euniceakadu</i> の記録. 琉球の昆虫. (40): 103	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	○	
栗田羊平. 2010. 沖縄島におけるオキナワトカラゴの分布状況. Akamata. 21: 39-43	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
桑原崇. 角田羊平. 2003. 伊那村の鳥類. 桑原の鳥類. 犬城村の鳥類. 犬城村で記録された両生類・爬虫類. 沖縄県農業試験場事業報告. (44): 163-169	0	0	17	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
原佳弘. 2014. 久米島町奥武島で未記録種を採集. 琉球の昆虫. (38): 59	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	○	
原戸鉄二郎. 2014. 第3章 恵那村の動物. 恵那村の鳥類. 恵那村誌. 第1巻 自然編. 1: 491-507	0	184	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
原戸鉄二郎. 1986. リュウキウツバメ <i>Hirundo tahitica namiyei</i> のモビング行動(予報). 沖縄生物学会誌. (24): 35-38	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
原田英司. 1972. 南西諸島で観察されたテッポウエビ類とハゼ類の同居関係について. 沖縄生物学会誌. 9(11): 1-8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	○	
原本正. 1986. キカクシラゴモリによる出産育児の動跡. 秋吉台科学博物報告. (21): 37-50	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
戸田守. 角田羊平. 前之瀬唯史. 岩永節子. 2006. 渥嘉敷村前島の両生爬虫類相. 沖縄生物学会誌. (44): 53-63	0	0	7	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
戸田守. 山本麗子. 角田羊平. 2003. 伊那村の鳥類. 宮城島の鳥類および屋那島の両生爬虫類相. 沖縄生物学会誌. (41): 33-41	0	0	1	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
戸田守. 小島光明. 前田真喜. 正佐俊知. 坂田やす. 2015. 沖縄島北部におけるオキナワモリの交尾の観察例. Akamata. 25: 17-20	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
戸田守. 庄司直樹. 2015. 伊那島から2番目となるクジマハイの標本について. Akamata. 25: 31-34	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
戸田守. 2008. オオナワモリとミナミナワモリの識別点について(予報). Akamata. 19: 23-30	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
後藤健志. 田村京雄. 佐々木健志. 2014. 第3章 恵那村の動物. 恵那村の陸棲哺乳類. 恵那村誌. 第1巻 自然編. (1): 519-537	29	41	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
向井貴洋. 杉本真奈美. 2006. 日本産トビハゼのミトコンドリアDNA多型に基づく遺伝的集団構造の解析. 魚類学雑誌. 53(2): 151-158	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	○	
向井貴洋. 西田聰. 2004. 日本産ミミズハゼにおけるミトコンドリアDNAの系統と地理的分化. 魚類学雑誌. 51(2): 157-161	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
向山満. 1990. 森林接木ワカリを探して. 採集と飼育. 52(11): 476-481	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
幸地良仁. 大城勝. 1987. 大マダラの羽色相とワカリ(アカヒメ)への影響. 沖縄生物教育研究会誌. (20): 8-23	0	0	0	56	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	○	
幸地良仁. 2000. 沖縄県内における淡水魚類とその生態環境の現状. 特殊鳥類等生息環境調査XI(改訂版) 濡地(水辺環境)編総括-沖縄県内の水辺環境に生息する生物種の概要: 79-101	0	0	0	43	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
幸地良仁. 1991. 沖縄島における陸水産動植物の現状と問題点. 南西諸島自然保護特別事業調査報告書. 4: 55-65	0	0	0	0	209	0	0	0	0	0	14	0	0	0	○	
幸地良仁. 1995. 沖縄島の河川の環境の現状と問題点. 沖縄生物学会誌. (33): 66-77	0	0	0	22	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	○	
幸地良仁. 1988. 大城ダムの魚類相とワカリ(アカヒメ)の食害による影響. 沖縄生物教育研究会誌. (21): 45-57	0	0	0	18	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	○	
幸地良仁. 1965. 西表島から採集した異常体色のワカリボラについて. 沖縄生物学会誌. (24): 50-51	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	○	
荒尾一郎. 2007. 南大東島の淡水魚類. 神奈川県自然保全研究会報告書. 17: 25-26	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
荒尾一郎. 2004. 西表島小浜島で採集された淡水魚の魚類. 南紀生物. 46(2): 173-176	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	8	0	0	0	○	
斎村昂男. 西村昌彦. 1990. 沖縄島におけるリバの稚魚採集. 沖縄生物学会誌. (28): 43-54	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
高橋真弓. 1988. 1979年春 久米島の蝶. 琉球の昆虫. (12): 24-26	0	0	0	0	0	0	0	83	0	0	0	0	0	0	○	
高橋祐祐. 菅原貴久. 2012. 沖縄島へのオカダゴムシの侵入とダンゴムシの分布. 沖縄生物学会誌. (50): 83-91	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	○	
高橋真弓. 2009. 新規造成地に生えた雑草の組成について. 沖縄県農業研究センター研究報告. 3: 21-27	0	0	0	0	85	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
高田未来美. 立原一憲. 2006. 沖縄島比地川系水系におけるギンバ <i>Carassius auratus langsdorffii</i> の性比と倍数性. 沖縄生物学会誌. (44): 27-34	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
高木昌晶. 2000. 南大東島に生息するモズの羽色および形態の記載. 島内の分布状況と繁殖生態. Journal of the Yamashina Institute for Ornithology. 32: 12-23	0	42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
高良鉄夫. 東清二. 1968. 西表島の蝶相について. 沖縄生物学会誌. 5(7): 15-24	0	0	0	0	0	0	0	191	0	0	0	0	0	0	○	
高良鉄夫. 1979. 沖縄における未記録種および稀有種. Journal of the Yamashina Institute for Ornithology. 11: 132-135	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
高良鉄夫. 1969. 尖閣列島の鳥類について. 球磨大学農学部学術報告. 16: 1-12	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
高良鉄夫. 1969. 八重山群島(琉球海)に関する若干の知見. 民居南島類誌. 3(2, 3): 19-21	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
高良鉄夫. 1954. 尖閣列島の動物相について. 球磨大学農学部学術報告. 57-74	0	11	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
国土交通省. 河川環境データベース(河川水辺の国勢調査). http://mizukoku.nilim.go.jp/ksnkyo/	411	# #	3,807	583	1,026	0	710	1,464	919	737	179	250	0	310	○	
国立科学博物館. 2013. 自然標本情報検索システム	7	226	0	2	1,218	5,349	0	0	0	0	3,410	0	0	0	535	○
国立大学法人琉球大学. 2014. 平成25年度 国指定大東諸島鳥獣保護区における保全事業鳥獣の生息状況把握																

表 4-5-1 (10). 生物分布情報に関する収集文献リスト

文献名	分類群別データ数													地域			
	哺 乳 類	鳥 類	両 生 類	爬 虫 類	淡 水 魚	植 物	チ ヨ ウ 類	ト ン ボ 類	淡 水 陸 生 物	淡 水 甲 殻 類	海 水 魚	海 水 貝 類	海 藻 草 類	サン ゴ	本 島	八 重 山	
今泉吉典. 1970. 日本哺乳動物図説. 1: 197-280	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
昆健志, 吉野哲夫. 1999. イサリワオ科魚類ロケトイザリワオ (新称) <i>Antemarius analis</i> の日本からの記録および命名者の取り扱い. 魚類学雑誌. 46: 101-103	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	○	
昆健志, 桜井雄, 吉野哲夫. 1998. 沖縄島中城村浜漁港における台風13号による打ち上げ魚類. 沖縄生物学会誌. (36): 37-50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	47	0	0	0	0	0	○	
昆健志・桜井雄・武井直行. 2003. 沖縄県名護市楚久地先で確認されたハゼ亜目魚類トカゲハゼ <i>Scartelaos histophorus</i> . 沖縄生物学会誌. (41): 25-32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	○	
佐々木ミチ, 立原一憲. 2001. 沖縄島残波におけるデパスメダイ <i>Chromis viridis</i> の繁殖生態. 沖縄生物学会誌. (39): 37-47	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	○	
佐々木健志. 2004. 西原町の昆虫・モレ類および琉球島内の哺乳類. 西原町史付属刊行物. 西原町の自然～動物・人と自然の関わり～: 35-60	0	0	0	0	0	0	65	19	0	0	0	0	0	0	0	○	
佐々木健志. 2007. 第2章 残された自然 沖縄市哺乳類. 沖縄市史 第4巻 自然・地理・考古編 自然編: 76-90	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
佐々木健志. 1995. 沖縄島から採集されたタイフンサジオ <i>Elapha taeniura taeniura</i> (有鱗目: ナミヘビ科) の幼蛇. 沖縄生物学会誌. (33): 65-67	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
佐藤一郎・仲田栄二・幸喜善福. 1975. 沖縄における緑化材料としての在来草種の適性に関する基礎的研究(I)緑化材料として可能なある在来草種の検討. 球球大学農学部学術報告. 22: 745-760	0	0	0	0	0	209	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
佑藤文保. 1995. 久米島の小動物. 久米島総合調査報告書: 26-64	0	0	0	0	55	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	○	
佐藤寛之, 吉野哲夫, 田英利. 1997. 沖縄島内の島嶼におけるスッポン (<i>Pelodiscus sinensis</i>) (爬虫類、カメ目) の起源と分布の現状について. 沖縄生物学会誌. (35): 19-26	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
佐藤文保. 2009. サキシマエンド <i>Celtis bliodii</i> Pamp. var. <i>insularis</i> Hatusima, nom. nud. の果実と花の宮古島での記録. 宮古島市総合博物館紀要. (13): 97-100	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
佐藤文保・比屋根満. 2007. 第3章 市中の自然 比屋根の水生昆虫と水生小動物. 沖縄市史 第4巻 自然・地理・考古編 自然編: 309-324	0	0	4	0	6	0	0	27	0	3	0	0	0	0	0	○	
佐藤文保. 1988. アサギマダラ <i>Parantica sita</i> Kollar. の幼虫の沖縄島北部での記録. 球球の昆虫. (12): 60-62	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
佐藤文保. 1988. オキナワサラサヤマオ <i>Ololygon hawaii kuniyamensis</i> (Ishida) の若虫 (ヤコ) 発見場所について. 球球の昆虫. (12): 96-99	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	○	
佐藤文保. 1988. カラヌシマム <i>Chlorogomphus brunneus brunneus</i> Oguma の産卵場所と産卵行動の観察の一例. 球球の昆虫. (12): 58-59	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	○	
佐藤文保. 1988. 伊是名島の昆虫の記録. 球球の昆虫. (12): 27-28	0	0	0	0	0	0	13	7	0	0	0	0	0	0	0	○	
佐藤文保. 1988. 沖縄市島尻山ダムの昆虫(1). 球球の昆虫. (12): 91-93	0	0	0	0	0	0	0	18	14	0	0	0	0	0	0	○	
佐藤文保. 1988. 沖縄市立郷土博物館で. 展示・保存された昆虫の採集目録. 球球の昆虫. (13): 102-115	0	0	0	0	0	0	0	97	51	0	0	0	0	0	0	○	
佐藤文保. 1988. 沖縄島のトンボの記録(1). 球球の昆虫. (12): 74-79	0	0	0	0	0	0	0	121	0	0	0	0	0	0	0	○	
佐藤文保. 1988. 沖縄島のトンボの記録(2). 球球の昆虫. (13): 1-100	0	0	0	0	0	0	0	851	0	0	0	0	0	0	0	○	
佐藤文保. 2000. 沖縄島の河川環境下水生昆虫. 特殊鳥類等生息環境調査X(改訂版) 濡地(水辺環境)総括編 -沖縄島内の水辺環境に生息する生物種の概要-: 131-208	0	37	41	9	87	0	0	267	63	84	0	16	0	14	0	○	
佐藤文保. 1988. 沖縄島の採集目録. 球球の昆虫. (12): 80-85	0	0	0	0	0	0	133	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
佐藤文保. 2002. 宜野湾市内昆虫. 宜野湾市史第9巻資料編自然: 441-572	0	0	0	0	0	0	0	473	274	0	0	0	0	0	0	○	
佐藤文保. 2002. 宜野湾市内昆虫. 宜野湾市史第9巻資料編自然: 393-440	0	0	158	205	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
佐藤文保. 2002. 宜野湾市内昆虫. 宜野湾市史第9巻資料編自然: 400-459	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
佐藤文保. 2012. 久米島ホタル館周辺のチョウ類. 久米島博物館紀要. (12): 1-18	0	0	0	0	0	0	0	133	0	0	0	0	0	0	0	○	
佐藤文保. 1988. 具志川島・糸井野山・野牛嶺. 宜野湾市史第9巻資料編自然: 450-572	0	0	0	0	0	0	0	39	23	0	0	0	0	0	0	○	
佐藤文保. 2007. 第2章 残された自然 沖縄市全域の昆虫の記録. 沖縄市史 第4巻 自然・地理・考古編 自然編: 195-244	0	0	0	0	0	0	0	249	139	0	0	0	0	0	0	○	
佐伯留史. 西垣治, 前之園唯史. 2010. 西表島と石垣島より採集されたハマベンケイガ二(甲殻亜門: 十脚目: 短尾下目: ベンケイガ二科)の記録. 沖縄生物学会誌. (48): 35-43	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	○	
佐敷町史編集委員会. 1989. 三佐敷町の陸棲動物 総の日周活動. 佐敷町史 三 自然: 375-381	0	0	0	0	0	0	0	75	0	0	0	0	0	0	0	○	
佐敷町史編集委員会. 1989. 三佐敷町の陸棲動物 林内落葉下の陸棲貝類の死殻. 佐敷町史 三 自然: 335-345	0	0	0	0	0	0	0	0	48	0	0	0	0	0	0	○	
佐敷町史編集委員会. 1989. 三佐敷町の水棲動物 海洋調査. 佐敷町史 三 自然: 556-567	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	75	0	29	0	○	
佐敷町史編集委員会. 1989. IV佐敷町の水棲動物 佐敷町の沿岸魚類. 佐敷町史 三 自然: 457-493	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
佐敷町史編集委員会. 1989. IV佐敷町の水棲動物 佐敷町産河川生物(甲殻類・魚類). 佐敷町史 三 自然: 495-500	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	22	0	0	11	○	
佐敷町史編集委員会. 1989. IV佐敷町の水棲動物 佐敷町内汽水域の甲殻類・魚類. 佐敷町史 三 自然: 501-506	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	2	22	0	0	12	○
佐野千彦. 望月賀二. 1984. 日本ホキ類の学名検討. 魚類学雑誌. 31(2): 136-149	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	○	
砂川博秋. 鶴川正道. 2008. 宮古島におけるクロマダラテラソジミの斑紋異型について. 宮古島市総合博物館紀要. (12): 81-85	0	0	0	0	0	0	0	61	0	0	0	0	0	0	0	○	
砂川博秋. 2008. クロマダラテラソジミの斑紋異型について. 宮古島市総合博物館紀要. (12): 86-87	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
砂川博秋. 2007. 宮古諸島と来間島のチョウ-1999年～2006年の調査-. 宮古島市総合博物館紀要. (11): 79-88	0	0	0	0	0	0	204	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
斎藤俊郎, 岸本浩和. 2003. 西表島産ツムギハゼの成長にともなう毒性と食性の変化. 東海大学紀要海洋学部. 56: 27-37	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	○	
斎藤敏郎. 今給黎盛行, 岸本浩和. 2002. ツムギハゼ交精卵および親魚の毒性和海・人・自然(東海大博研報). 4: 79-85	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	○	
鈴井貴. 2002. ヤエマダラガエル環境の9月初旬の観察例. 鳥虫両種会会報. 1: 5-6	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
鈴井誠一. 2014. トカゲハゼ. 沖縄島中城湾における泥質干潟生態の全容. 角鶴学雑誌. 61: 109-114	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	○	
鈴井誠一. 鹿谷誠一. 土屋誠. 1993. オシマキニ _{Uca arcuata} の沖縄島からの記録. 沖縄生物学会誌. (31): 41-45	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	○	
財团法人日本野鳥の会. 日本野鳥の会. 2004. 平成15年度シムリマツラ生息状況等調査報告書(グリーンワーカー事業): 93p	0	191	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
財团法人沖縄県環境科学センター. 2000. 平成11年度西表島立公園集團施設地区維持管理状況等調査業務報告書: 102p	0	0	0	46	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
財团法人海中公園センター. 1999. 平成10年度生態系多様性地域調査-西表島立公園海中公園地区)報告書: 97p	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	191	12	79	0	196
財团法人自然環境研究センター. 2009. 平成22年度イカガニイニイイ生息確認調査業務報告書: 58p	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
財团法人日本野鳥の会. 1993. 平成4年度環境庁許認調査特殊鳥類調査: 60p	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
坂口正道. 木村清志. 2011. 沖縄県と鹿児島県で採集された日本初記載のトカゴワライク科魚類ミナミギンソウワシ(新称) <i>Hypoatherina temmickii</i> . 魚類学雑誌. 58(1): 87-91	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	○	
三井耕治. 木村清志. 1983. オキナワトゲアヌスマズ <i>Tokudaiya osimensis mueninki</i> (Johnson) の日周活動. 沖縄生物学会誌. (21): 7-12	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
三井耕治. 木村清志. 1979. 与那覇島とその周辺におけるネズミ類・食虫類の分布. 沖縄生物学会誌. (17): 7-13	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
三井耕治. 山口浩貴. 2013. 道の駅那覇とその周辺におけるネズミ類・食虫類の分布. 沖縄生物学会誌. (17): 7-13	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
三井耕治. 山口浩貴. 2013. 道の駅那覇とその周辺におけるネズミ類・食虫類の分布. 沖縄生物学会誌. (17): 7-13	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
三井耕治. 2014. アオタテハモドキの食草バイメタツリラ. 球球の昆虫. (38): 57	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	○	
三島冬嗣. 1968. 改訂4版日本鳥類目録以後の知見. Journal of the Yamashina Institute for Ornithology. 5: 397-410	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
山岸豊. 2010. サンゴのモニタリング記録: 第4回コドロート調査. ニライ地区のサンゴを見守る会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
山崎敏. 1993. 沖縄島からのナス属の1新種オナヒナワヒヨコトリショウゴ. 植物研究雑誌. 68: 339-341	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	○	
山崎敏. 1992. 球球からサザンソウ属の1新種. 植物研究雑誌. 67: 15-18	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
山崎敏. 2008. 石垣島における小動物の餌食の現状. 沖縄生物学会誌. (46): 79-87	0	5	33	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	○	
山城志. 2004. 条溝市におけるカクミシコロコロワヒヨコの記録. 球球の昆虫. (24): 68	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	○</	

表 4-5-1 (11). 生物分布情報に関する収集文献リスト

文献名	分類別データ数													地域			
	哺 乳 類	鳥 類	両 生 類	爬 虫 類	淡 水 魚	植 物	チ ヨ ウ 類	ト ン ボ 類	淡 水 陸 生 貝 類	淡 水 甲 殻 類	海 水 魚	海 水 貝 類	海 藻 草 類	海 水 甲 殻 類	サン ゴ	本 島	八 重 山
山崎仁也, 横田昌嗣, 知念美香, 仲宗根忠樹, 比嘉清文, 加島幹男., 2016. 沖縄島・新城(上地・下地)島・黒島の植物相(FLORA)., 鶴間島・新城島・黒島総合調査報告書, 沖縄県立博物館・美術館, 別刷;: 13-67	0	0	0	0	0	1,246	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
山崎仁也, 松村雅史, 吉田和久, 力身恭二., 黒賀見兒., 2016., 鶴間島・新城(上地)島・黒島の動物相(FAUNA)~昆虫相を中心とした~., 鶴間島・新城島・黒島総合調査報告書, 沖縄県立博物館・美術館, 別刷;: 69-79	6	0	0	8	0	0	34	1	0	1	0	0	0	8	0	0	○
姉崎信. 2015. 大東諸島北大東島で 2013 年 7 月に確認した鳥類. Journal of the Yamashina Institute for Ornithology, 46: 127-146	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
指村奈穂子. 未公開データ	0	0	0	0	0	131	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
糸満市土地開発公社. 1995. 糸満市南浜地先公有水面理立事業に係る環境影響評価書. (5号): 1-168	5	313	9	16	1	270	3	4	0	0	44	2	173	18	64	○	
寺田考紀, 西村昌彦, 香村昂男. 2011. 沖縄県産アカマタの繁殖に関する資源. 冲縄県衛生環境研究報. 45: 95~102	0	0	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
寺田考紀. 2011. 沖縄島に生息するタイフウハブ・サキシマハブ・タイワンシマジの生息状況と対策. 爬虫両棲類学会報. 2: 161-168	0	0	0	57	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
寺田仁志, 川西基博, 杉村康司. 2016. 沖縄県伊是名島の大島化・大規模化したウコンインマツ群落を含む隆起サンゴ礁上生息について. 鹿児島県立博物館研究報告. (35): 91-104	0	0	0	0	0	175	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
寺田仁志, 大屋哲. 2012. 沖縄県久高島の隆起珊瑚礁上生息について. 鹿児島県立博物館研究報告. (31): 5-30	0	0	0	0	0	563	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
持田浩治. 2015. 鹿児島諸島外地におけるオカラハビの初分布記録. Akamata, 25: 35	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
鹿谷麻太. 2000. 沖縄島東海岸の砂浜潮間帯におけるナミノコガイ <i>Donax cuneatus</i> の加入と繁殖パターン. 沖縄生 物学会誌. (38): 33-40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	○	
鹿野雄一. 中島淳, 水谷宏, 仲根裕子, 仲里長浩, 指善継, 黄亮亮, 西田伸, 橋口康之. 2012. 西表島におけるドジョウの危機的生息状況と遭生物の特異性. 魚類学雑誌. 59(1): 37-43	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
綾原土郎. 1973. 城跡諸島におけるオカラハビマツイマイ <i>Satsuma (coniglobus) yaeyamaensis</i> (Pilsbry) の特異な分布について. 沖縄生物学会誌. 10(12): 61-62	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	○	
酒井治己, 佐藤光昭. 1982. 琉球列島の河川から得られた日本初記録の魚類5種と2番めの記録のハゼ科魚類3種. 北 海道大学水産学部研究彙報. 33: 79-88	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	○	
酒井治己. 中村守則. 1979. 石垣島の溪流から得られたボウズハゼ科の2新種. 魚類学雑誌. 26(1): 43-54	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
酒井治己. 2015. 沖縄島周辺におけるオカラハヤマヨリの新たな分布地と花外蜜巣からの採蜜行動. Akamata, 25: 5-8	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
秋田雄一, 海老沢明彦. 2013. フエキタイ科魚類の生態的特性の経年変化. 平成24年度沖縄県水産海洋研究センター事業報告書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33	0	0	0	0	○	
所崎聰, 所崎香織, 砂川栄喜. 2002. 沖縄県におけるパライモクドリ <i>Sturnus roseus</i> の初記録. 日本鳥学会誌. 51: 122-124	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
諸喜田茂充. 藤田喜久, 長井隆, 伊藤西, 川原則, 野甫齊., 2003. 石垣島名戸川マングローブと流入河川における甲殻類の生態分布と現存量. 平成14年度内閣府委託調査研究マンドレーによる調査研究報告書. 97-111	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	117	0	○	
諸喜田茂充. 1971. オカガニの放卵習性について. 沖縄生物学会誌. 7(9): 27-32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	3	0	○	
諸喜田茂充. 2002. 宜野湾市に生息するカニ科魚類編. 宜野湾市史第9巻資料編8自然: 629-658	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34	0	0	0	116	0	○	
諸喜田茂充. 伊野波盛仁. 1971. 沖縄産アコの種苗生産に関する研究-1. 昭和44年度琉球水産研究所事業報告書: 70-74	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
諸喜田茂充. 西島信昇. 1975. 沖縄アコの産卵生態-アコ保護の必要性-. 沖縄生物学会誌. (13): 12-17	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
諸喜田茂充. 1966. 三ナミティガビの生態及び幼生変態について. 沖縄生物学会誌. 3(5): 13-21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	○	
諸喜田茂充. 藤田喜久・成瀬義. 2004. 西原町の甲殻類と魚類. 西原町史付属刊行物 西原町の自然 ~動物・人と自然の関わり~: 61-78	0	0	0	0	75	0	0	0	0	26	28	0	0	30	0	○	
勝山輝男. 2006. 沖縄本島でトックリグ <i>Carex rhynchachaeum</i> を見出す. 植物地理・分類研究. 54: 154-156	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
勝連盛輝. 寺田考紀. 鶴田恭久. 2006. 沖縄本島南部で捕獲された外来種サキシマハブの計測値. 沖縄県衛生環境研究所報. 40: 187-191	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
勝連盛輝. 西村昌彦. 香村昂男. 1996. 沖縄諸島において本来の分布地とは異なる地域で採集されたヘビ. 沖縄生物学会誌. (34): 1-7	0	0	0	39	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
小笠原皓. 池原貞雄. 1977. ノグチグラの生態、行動学的観察及びその保護. Journal of the Yamashina Institute for Ornithology, 9: 143-158	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
小原祐二. 2010. 野外におけるオカラナミナミサガニによるシケンイモリの摂食例. Akamata, 26: 1-2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
小高信彦. 佐藤大樹. 外村雅大. 横木樹. 山下香苗. 菊尾博文. 2006. ノグチグラ <i>Sapheopipo noguchi</i> の營巢木内部における硬さ変異. 九州森林研究. 59: 194-196	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
小高信彦. 潤志泰文. 2004. ヤンバルクイナのノートキ. Journal of the Yamashina Institute for Ornithology, 35: 134-143	0	113	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
小崎沙織. 2010. 酸性化海水がシシゴの石灰化および骨格の微量元素比に与える影響. 東京大学大学院新領域創成科 学研究科・環境学研究系自然環境学専攻. 地球海洋環境学分野. 2009 年度. 修士論文: 1-45	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	○	
小枝圭太. 藤井琢磨. 吉野哲夫. 2014. 沖縄島で採集された日本初記録のヒカリキンメタイ科オヒカリキンメ <i>Photoleptopharum palpebratum</i> . 魚類学雑誌. 61: 27-31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	○	
小枝圭太. 吉野哲夫. 立原一彦. 2012. 沖縄島から採集されたツノグロハタタンボ <i>Pempheris japonica</i> の初記録およ び南限記録とその稚魚の成長過程. 日本水生地学会誌. 67: 65-73	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	○	
小松恵. 1985. 沖縄島・石垣島・西表島のテングハコウの記録. 琉球の昆虫. (10): 73	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
小針統. 杉本智. 北原明彦. 河合渉. 西村知. 2012. 奄美大島役勝川におけるリュウキュウアコ魚仔の漁獲環境. 水産増殖. 60(1): 53-58	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
小菅丈治. 佐々木健志. 2002. アオグロハシグモによるタイワンサガニの捕食. 沖縄生物学会誌. (40): 51-52	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	○	
小菅丈治. 和田田惠. 1992. 沖縄島中城城から採集されたナガクスクオガニ(新種) <i>Macrophthalmus quadratus</i> (スナガニ科): 日本新記録. 沖縄生物学会誌. (30): 61-64	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	○	
小菅丈治. 久保弘文. 西村聰昭. 2003. ユムシ類の巣孔に棲む二枚貝タマメカヘリガの琉球列島における分布と生 態. 沖縄生物学会誌. (41): 7-13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	○	
小菅丈治. 2005. クラビライシ類に着生するイトカゲイ科の一種 <i>Epitonium ulu</i> Pilsbry の与那国島からの記録. ち りばん. 35(4): 119-120	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	○	
小菅丈治. 2000. タイワンヘケイガニによるタマミマイマガニの成長と食性. 沖縄生物学会誌. (38): 73-74	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	○	
小菅丈治. 1992. 沖縄島羽田内海に生息するチガニ科の記録: 南限近くに分布する個体群の生態的特性について. 沖 縄生物学会誌. (30): 45-53	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	○	
小菅丈治. 2010. 飼育下におけるヤクシマヤマガニの成長と食性. 沖縄生物学会誌. (48): 101-106	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	○	
小菅丈治. 1999. 西表島におけるサマコガニの成長. 沖縄生物学会誌. (37): 21-27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	○	
小菅丈治. 2011. 西表島後良川におけるサマコガニの記録. 沖縄生物学会誌. (49): 1-7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	0	
小菅丈治. 2014. 石垣島におけるカワラブノン(甲殻類): 十脚目: 短尾下門: カクレガニ科のカワラガイ(軟体動物 門: 二枚貝類: ザルガイ科)への寄生状況. 沖縄生物学会誌. (52): 59-64	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	6	0	○	
小菅丈治. 2009. 石垣島におけるハサミカクレガニの生態 - 一特に複数の動物門に属する無脊椎動物の巣孔内に生息 する習性- . 沖縄生物学会誌. (47): 3-9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	○	
小菅丈治. 2011. 西表島後良川におけるサマコガニの記録. 沖縄生物学会誌. (49): 1-7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
小菅丈治. 2014. 石垣島におけるカワラブノン(甲殻類): 十脚目: 短尾下門: カクレガニ科のカワラガイ(軟体動物 門: 二枚貝類: ザルガイ科)への寄生状況. 沖縄生物学会誌. (52): 59-64	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
小菅丈治. 2012. 沖縄島南城と久手堅トマオカラウを再確認(2012年3月). 琉球の昆虫. (36): 60	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	○	
小浜継雄. 原口大. 2015. 沖縄島南城と久手堅トマオカラウを再確認(2012年3月). 琉球の昆虫. (39): 213	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	○	
小浜継雄. 砂川博秋. 2015. 10月間で個体数が激減した宮古島のジャコアゲハ. 琉球の昆虫. (39): 214	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	○	
小浜継雄. 長田勝. 2014. 沖縄島恩納村のチヨウガ. 琉球の昆虫. (38): 206-219	0	0	0	0	0	0	0	640	0	0	0	0	0	0	0	○	
小浜継雄. 長田勝. 岩原二. 北島美野. 2016. 蒼谷村長田山上流域で確認したトント. 琉球の昆虫. (40): 8-10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
小浜継雄. 2006. 石垣島宮良川河口に出現したカバニミニア. 沖縄生物学会誌. (44): 35-37	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
小菅丈治. 2002. 与那国島に移入された陸産貝類. 沖縄生物学会誌. (40): 93-95	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	○	
小浜継雄. 2012. 2004年沖縄島南部におけるカタオカラウの記録. 琉球の昆虫. (36): 60	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	○	
小浜継雄. 原口大. 2013. 慶良間諸島阿嘉島と慶留間島のトント. 琉球の昆虫. (36): 32-34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	○	
小浜継雄. 比嘉実野. 2015. 沖																	

表 4-5-1 (12). 生物分布情報に関する収集文献リスト

文献名	分類群別データ数												地域			
	哺 乳 類	鳥 類	両 生 類	爬 虫 類	淡 水 魚	植 物	チ ヨ ウ 類	ト ン ボ 類	淡 水 陸 生 貝 類	淡 水 甲 殻 類	海 水 魚	海 水 貝 類	海 水 甲 殻 類	サン ゴ	本 島	八 重 山
小浜継雄. 2015. 沖縄諸島伊平屋島・野南島のチヨウ2014年9月の記録. 琉球の昆虫. (39): 206-207	0	0	0	0	0	0	25	0	0	0	0	0	0	0	0	
小浜継雄. 2016. 沖縄諸島宮古島でコアカトントボを目撃. 琉球の昆虫. (40): 12	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	○
小浜継雄. 2014. 沖縄諸島水納島で確認したチヨウ(2013年). 琉球の昆虫. (38): 63-65	0	0	0	0	0	0	60	0	0	0	0	0	0	0	0	○
小浜継雄. 2014. 沖縄島恩納村でスマカネを採集. 琉球の昆虫. (38): 165	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	○
小浜継雄. 2016. 沖縄島糸満市でスマカネ♂を目撃. 琉球の昆虫. (40): 12-13	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	○
小浜継雄. 2016. 久米島でチヨウ2011年9月に採集したアシアイトンボ. 琉球の昆虫. (36): 36	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	○
小浜継雄. 2016. 宮古諸島伊良部島のトントボ1995年8月の記録. 琉球の昆虫. (40): 3	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	○
小浜継雄. 2008. 慶良間諸島間味島のトンボ. 琉球の昆虫. (32): 20-22	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	○
小浜継雄. 1999. 黒島でマリコスルリマダラを採集. 琉球の昆虫. (20): 53	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	○
小浜継雄. 2007. 座間味島のオオシカラトンボの記録. 琉球の昆虫. (31): 89	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	○
小浜継雄. 1999. 那覇市でシグロコカラマダラを採集. 琉球の昆虫. (20): 50	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	○
小浜継雄. 2016. 那覇市金城町でシカラトントボを目撃. 琉球の昆虫. (40): 11-12	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	○
小浜継雄. 1988. 南大東島のトンボ. 琉球の昆虫. (13): 132-133	0	0	0	0	0	0	0	19	0	0	0	0	0	0	0	○
小浜継雄. 2012. 八重山諸島のナリトボ. 琉球の昆虫. (36): 57-58	0	0	0	0	0	0	0	17	0	0	0	0	0	0	0	○
小浜継雄. 2003. 八重山諸島黒島のトントボ類. 琉球の昆虫. (23): 81	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	○
小浜継雄. 2016. 八重山諸島沖縄島のトントボ1999年の記録. 琉球の昆虫. (40): 2	0	0	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0	0	0	0	○
小浜継雄. 2012. 八重山諸島小浜島のトントボ2011年6月の記録. 琉球の昆虫. (36): 30-32	0	0	0	0	0	0	0	45	0	0	0	0	0	0	0	○
小浜継雄. 2016. 八重山諸島波照間島のシントボ1996年6月の記録. 琉球の昆虫. (40): 1	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	○
小浜継雄. 1978. リュウキウハグロトンボの活動と生息行動. 沖縄生物学会誌. (16): 23-27	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	○
小柳恭二. 田村常雄. 道明子. 前田喜四雄. 2013. 石垣島における洞穴深層コモリ類3種の季節的ねぐらの分布-2001年から2004年の記録- 東洋編集研究会研究. (9): 1-19	90	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
小林綾. 井澤洋子. 例川哲郎. 2010. オガシラヤマヨリのグリットにおける採査行動. Akamata, 21: 1-6	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
松井安俊. 松井英子. 1991. 冬の沖縄 石垣 竹富 等でのアカタハバの生態調査から. 琉球の昆虫. (14): 1-3	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	○
松井晋吾. 小林さやか. 高木昌典. 2011. 南大東島におけるオモコロマツボの記録. 日本鳥学会誌. 60: 262-265	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
松井晋吾. 池田広志. 成瀬寅. 浅沼清. 高木昌典. 2007. 南大東島における淡水コエビ類3種の初記録. 沖縄生物学会誌. (45): 33-37	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	○
松浦 啓一. 1988-1989. 北太平洋から初記録のカブハギ科魚類セッパリハギ(新称). 魚類学雑誌. 35: 482-483	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	○
松川康夫. 中田義. 市川史. 下田徹. 1999. 沖縄におけるシントボ種の核酸同位素分布研究. 研究報告. (14): 1-8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	○
松本廣蔵. 2014. 沖縄本島北部におけるホリイコシミの記録. 琉球の昆虫. (38): 51-52	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	○
松本重蔵. 2015. 海上を飛ぶカラスランボを目撃. 琉球の昆虫. (39): 68	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	○
松本瑞樹. 内田聰三. 戸田実. 田中一. 2006. オメジロザメ <i>Carcharhinus leucas</i> の日本の周辺海域および淡水域からの記録. 魚類学雑誌. 53(2): 181-187	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
焼田理一郎. 佐藤良樹. 岩崎幹人. 2007. 南大東島でアシアイトンボを採集. 琉球の昆虫. (31): 88	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	○
焼田理一郎. 小浜継雄. 2002. 沖縄本島トントボ類分布資料. 琉球の昆虫. (21): 1-22	0	0	0	0	0	0	0	17	0	0	0	0	0	0	0	○
焼田理一郎. 小浜継雄. 1999. 沖縄本島トントボ類分布資料. 補遺. 琉球の昆虫. (20): 25-35	0	0	0	0	0	0	0	18	0	0	0	0	0	0	0	○
焼田理一郎. 小浜継雄. 2007. 沖縄市(沖縄島)でコフントボを採集. 琉球の昆虫. (31): 85	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	○
焼田理一郎. 渡辺賛一. 2007. 沖縄島におけるオモントボ同色型♀の記録. 琉球の昆虫. (31): 83	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	○
焼田理一郎. 片野茂樹. 2011. 沖縄島におけるオセニアニアハビロトンボの記録(テングハネビロトンボの記録の訂正). 琉球の昆虫. (35): 67	0	0	0	0	0	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0	○
焼田理一郎. 1999. 1998年 琉球島のチヨウトントボについて. 琉球の昆虫. (20): 54	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	○
焼田理一郎. 2008. 2007年秋飛来アカトントボ. 琉球の昆虫. (32): 23	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	○
焼田理一郎. 2014. アサギマラマーキング個体の再捕獲データ. 琉球の昆虫. (38): 43	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	○
焼田理一郎. 2003. オキナワトントボ(マリナガトントボ)の記録. 琉球の昆虫. (22): 22	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	○
焼田理一郎. 2006. オキナワトントボの羽翅膜異常について. 琉球の昆虫. (28): 1-14	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	○
焼田理一郎. 1993. コモンヒメハビロトンボの12月の記録. 琉球の昆虫. (15): 28	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	○
焼田理一郎. 2003. ヒメイントントボ白型の記録. 琉球の昆虫. (23): 49	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	○
焼田理一郎. 2003. オキナワトントボ(マリナガトントボ)の記録. 琉球の昆虫. (22): 22	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	○
焼田理一郎. 2006. オキナワトントボの羽翅膜異常について(2011年). 琉球の昆虫. (36): 37	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	○
焼田理一郎. 2013. 沖縄島で確認されたアシアイントボについて(2012年). 琉球の昆虫. (37): 32	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	○
焼田理一郎. 2014. 沖縄島で確認されたアシアイントボについて(2013年). 琉球の昆虫. (38): 162	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	○
焼田理一郎. 2017. 沖縄島で確認されたアシアイントボについて(2016年). 琉球の昆虫. (41): 163	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	○
焼田理一郎. 2011. 沖縄島の隣島における自記記載したトントボの採集記録. 琉球の昆虫. (35): 71	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	○
焼田理一郎. 1998. 沖縄島、名護市で二ノモングリアカトントボを採集. 琉球の昆虫. (19): 43	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	○
焼田理一郎. 2007. 沖縄島でアオモントントボ(マリナガトントボ)を採集. 琉球の昆虫. (31): 87	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	○
焼田理一郎. 2012. 沖縄島で確認されたアシアイントボについて(2011年). 琉球の昆虫. (36): 37	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	○
焼田理一郎. 2013. 沖縄島で確認されたアシアイントボについて(2012年). 琉球の昆虫. (37): 32	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	○
焼田理一郎. 2014. 沖縄島で確認されたアシアイントボについて(2013年). 琉球の昆虫. (38): 162	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	○
焼田理一郎. 2017. 沖縄島で確認されたアシアイントボについて(2016年). 琉球の昆虫. (41): 163	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	○
焼田理一郎. 2007. 沖縄島で確認されたアシアイントボについて(2013年). 琉球の昆虫. (31): 82	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	○
焼田理一郎. 2014. 沖縄島でアミカントボの記録. 琉球の昆虫. (36): 39	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	○
焼田理一郎. 2010. 恩納村でオキナワサラサヤマを採集. 琉球の昆虫. (34): 42	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	○
焼田理一郎. 2011. 恩納村でオニヤンマを採集. 琉球の昆虫. (35): 69	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	○
焼田理一郎. 2011. 恩納村でオニヤンマを採集. 琉球の昆虫. (35): 70	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	○
焼田理一郎. 2004. 小浜島で採集したトンボ. 琉球の昆虫. (24): 71	0	0	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0	0	0	0	○
焼田理一郎. 1998. 石垣島及び西表島のウキコアキマダラの記録. 琉球の昆虫. (18): 38	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	○
焼田理一郎. 2009. 石垣島及び那国島のアカトントボの記録. (2008年). 琉球の昆虫. (33): 14	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	○
焼田理一郎. 2007. 那覇市(ノ)ウキコアキマダラの記録. 琉球の昆虫. (31): 87	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	○
焼田理一郎. 2014. 那覇市でホリイコシミを確認. 琉球の昆虫. (38): 53	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	○
焼田理一郎. 1999. 那覇市のオモントボ群衆記録. 琉球の昆虫. (20): 51	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	○
焼田理一郎. 2004. 南風原町でコフントボを採集. 琉球の昆虫. (25): 51	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0			

表 4-5-1 (13). 生物分布情報に関する収集文献リスト

文献名	分類群別データ数													地域		
	哺 乳 類	鳥 類	両 生 類	爬 虫 類	淡 水 魚	植 物	チ ヨ ウ 類	ト ン ボ 類	水 陸 生 物	淡 水 甲 殻 類	海 水 魚	海 水 貝 類	海 水 甲 殻 類	サン ゴ	本 島	八 重 山
新城和治・島袋勝・宮城朝智・斎島義能・佐久本敬. 1984. 沖縄島の植物. 日本生物教育会沖縄大会沖縄の生物編集委員会(編). 全国大会記念誌. 沖縄の生物: 167-189	0	0	0	0	0	1,505	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新城和治・日越国昭. 1988. 那覇市小禄公園(予定地)の植物. 沖縄県立博物館紀要. 14: 31-50	0	0	0	0	0	105	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新倉三佐雄・中村一恵. 1987. 日本におけるカガシラギの分布と生息状況. Strix. 6: 50-65	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新田宗仁. 2002. 宜野湾市の鳥類. 宜野湾市史第9巻資料編6自然: 357-392	0	447	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新田敦子. 2006. 2005年秋、瀬戸島でアスオアガコカラナミシミを確認. 琉球の昆虫. (29): 34-35	0	0	0	0	0	0	45	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新田敦子. 2014. 2013年、本部町水納島でホリコイシジミを採集. 琉球の昆虫. (38): 53	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新田敦子. 2006. モクセンナでウラニミシコロコワが発生. 琉球の昆虫. (29): 33	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新田敦子. 2011. 沖縄県島の蝶. 見え書き. 琉球の昆虫. (35): 15-17	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新田敦子. 2009. 座間味島でクロセセリを撮影. 琉球の昆虫. (33): 54-55	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新田敦子. 2006. 比地川流域でのリコキュウアシジミ. 琉球の昆虫. (29): 35-36	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新納義馬. 1985. ヤンバレイナガコカラナミシミを実態調査報告書1: 21-26	0	0	0	0	0	237	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新納義馬. 1964. 嘉津宇津と安岳の植生. 沖縄農業. 3(1): 87-93	0	0	0	0	0	164	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新納義馬. 1981. 佐敷町の主な御歴及び拝所の植生. 沖縄県天然記念物調査シリーズ第21集, 沖縄県社寺・御歴林調査報告書IV: 27-46	0	0	0	0	0	825	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新納義馬. 1975. 西表島東部の植生. 浅海における海中の生態系に関する研究調査報告書: 31-72	0	0	0	0	0	1,150	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新納義馬. 1991. 第二章陸性植物 第一部中城村の植生. 中城村史第二巻 資料編1(地理・自然・政治行政・産業経済・移民). (2): 197-209	0	0	0	0	0	1,133	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新納義馬. 1965. 迂戸岬の植生. 沖縄生物学会誌. 2(3): 32-42	0	0	0	0	0	97	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新納義馬. 新城和治・比嘉義・日越国昭. 1985. 沖縄県指定天然記念物「万座毛石灰岩植物群落」調査報告. 恩納村文化財調査報告書. 第6集: 64	0	0	0	0	0	893	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新敏夫. 1970. 八重山群島の植生. 遺伝. 27: 2-9	0	0	0	0	0	5,745	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新里季平・新本光孝・山盛直. 1993. 西表島における牧草地の植生と採食植物. 琉球大学農学部学術報告. 40: 153-165	0	0	0	0	0	439	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新里季平・高岡盛二. 2002. 伊江島の植物図鑑	0	0	0	0	0	166	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新里季平・比嘉義. 1976. 北泊島の植物. 沖縄生物学会誌. (14): 99-110	0	0	0	0	0	373	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新里季平・津崎安喜. 1979. 名護市の御歴林. 名護市教育委員会社会教育課(編). 名護市天然記念物調査報告書2: 179p	0	0	0	0	0	1,940	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
森井猛. 1975. 台湾・沖縄における翼手類の採集. 哺乳類生物学雑誌. 6(3): 121-126	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
森岳, 天野雅男, 田中英利. 1984. 八重山諸島・新城島のトカゲの分布に関する新知見. 沖縄生物学会誌. (22): 117-118	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
森田玲介, 越野一志, 山麗仁志. 2014. 渡嘉敷島におけるブランズトキの記録. Bird Research. 10: S23-S24	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
深尾隆三. 1990-1991. 沖縄島コケギボ麗魚類とその生息場所. 37: 116-126	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
真志嘉丈子・新納義馬. 1988. 安波のサキマスクオノ群群. 沖縄県天然記念物調査シリーズ第30集. 国頭郡天然記念物緊急調査III: 85-95	0	0	0	0	0	59	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
真野徹. 2009. 日本におけるヤバメ Hirundo rustica の羽翼. 日本鳥類標識協会誌. 21: 22-30	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神谷豊江. 1980. 佐敷町安祖峰におけるハマシソウの観察. 沖縄生物教育研究会誌. (13): 10-16	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神田猛. 上原聰, 澄野拓郎. 2009. 八重山諸島石垣島の陸域水城類相. 宮崎大学農学部研究報告. 55: 13-24	0	0	0	0	0	126	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神奈川県立生命の星・地球博物館. 魚類写真資料データベース	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,233	0	0	0	0
渡辺大, 井口亮. 2008. 渡礁サンゴに共生する褐虫藻の分子系統学的研究に関するレビュー(北西太平洋を中心). 日本サンゴ礁学会誌. 10: 13-23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
水産無脊椎動物研究所. 水産無脊椎動物図鑑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0
水谷晃, 河野裕美. 2008. 琉球列島八重山諸島における2001年繁殖期のエリグロアシサシとヘニアシサシの現状. Journal of the Yamashima Institute for Ornithology. 39: 101-111	0	174	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水谷晃, 村越未来, 唐賀盛人, 木村貢史, 北野忠志, 河野裕美. 2010. 西表島西部の湿地環境における水鳥類相とその季節の消長. 沖縄生物学会誌. (48): 121-139	0	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水谷晃, 丹尾益斗, 小賀丈治, 河野裕美. 2012. 姶間島におけるオナオカオカラヤドカリの宿主利用 一特に大型個体とチヨウセンサザエの殻との関係一. 沖縄生物学会誌. (50): 73-81	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0
高岡盛二・嘉手千尋子, 前原一統, 松田哲哉, 佐久勇介, 松田史郎. 1999. 久米島から最近新たに記録された鳥類. 沖縄県立博物館紀要. 25: 95-115	0	252	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高岡建二・久貝勝盛, 濑名波任. 1995. 久米島の鳥類について. 久米島総合調査報告書: 65-95	0	174	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高岡建二・久貝勝盛, 濑名波任. 1995. 最近(1994年4月~1995年3月)沖縄諸島で保護及び目撃された興味深い鳥類について. 沖縄県立博物館紀要. 21: 209-211	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高岡建二・久貝勝盛, 濑名波任. 1995. 那覇市天久で観察された鳥類(1). 沖縄県立博物館紀要. 21: 79-99	0	71	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高岡建二・久貝勝盛, 大城竜信. 1996. 最近(1995年4月~1996年3月)で目撃された興味深い鳥類について. 沖縄県立博物館紀要. 25: 73-93	0	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高岡建二・砂川栄喜, 比嘉義邦, 宮城朝太郎, 高岡寅博, 仲地博, 長嶺隆. 2008. 沖縄県内における2003年から2005年までの稀な鳥類の飛来記録と希少な繁殖記録について. 南島文化. 30: 127-144	0	85	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高岡建二・師崎悟, 高木昌興, 奥川春夫. 1999. 金城雅之. 1999. 南大東島で最近新たに記録された鳥類について. 沖縄県立博物館紀要. 25: 75-93	0	43	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高岡建二・池間幸男, 兼城克男. 1995. 豊良間諸島の鳥類. 沖縄県立博物館紀要. 21: 101-128	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高岡建二・池長裕史, 金城道男. 渡久地豊, 金城輝雄. 2000. 沖縄県内において野外地図や癒病鳥の保護及び博物館標本等により確認された興味深い鳥類の記録について. 沖縄県立博物館紀要. 26: 27-46	0	76	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高岡建二・中村和雄, 吉古修. 2004. 伊平屋島及び伊是名島における鳥類記録について. 沖縄県立博物館紀要. 30: 1-25	0	292	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高岡建二・中村和雄, 古吉盛. 2009. 東京島の鳥類. 地域研究. 5: 103-118	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高岡建二・中村和雄. 2001. 南大東島の環境健全: 南大東島の鳥類とその保全. 沖縄大学地域研究所所報. 22: 25-28	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高岡建二・渡久地政武. 1997. 沖縄南部の市街地で繁殖する鳥類. 沖縄県立博物館紀要. 23: 33-54	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高岡建二・鳥村修, 加治真美. 1998. 渡波簡易で記録された鳥類とその方言名について. 渡波簡易総合調査報告書: 65-86	0	109	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高岡建二・高良淳子, 安和守浩, 天野洋祐. 2009. ミツユビカワセミCeyx erithacusの国内初記録. Japanese Journal of Ornithology. 58: 208-211	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高岡建二・安藤安史. 1996. 大宜味村(沖縄島)の鳥類相とその生息状況について. 大宜味村の自然: 421-514	0	1,717	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高岡建二・2002. 沖縄島に留鳥として生息する希少な3種類の繁殖記録について. 沖縄県立博物館紀要. 28: 1-11	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高岡建二・2001. 沖縄島中南部の市街地で繁殖したシモトリ・リュウキュウサクシショウワクの2種について. 沖縄県立博物館紀要. 27: 45-50	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高岡建二・1994. 宜野湾市伊佐・大山・宇地泊周辺地域の鳥類と哺乳類. 沖縄県立博物館紀要. 20: 67-96	0	205	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高岡建二・1994. 最近沖縄に目撃及び保護された興味深い鳥類. 沖縄県立博物館紀要. 20: 141-146	0	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高岡建二・2004. 小浜島における鳥類の記録について. 小浜島総合調査報告書. 35-59	0	170	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高岡建二・2001. 那覇市久新都心開発地域の鳥類. 沖縄大学地域研究所年報. 15: 67-90	0	109	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高岡建二・1993. 渡波簡易の鳥類と哺乳類. 沖縄県立博物館紀要. (19): 1-16	7	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
杉本雅志, 杉本まゆみ. 2012. ランナナの花を食べるアオタハモドキ. 琉球の昆虫. (36): 140	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
杉本雅志. 2003. カワカミヨコロコワの確認データ. 琉球の昆虫. (24): 70	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
杉本雅志. 2014. シジュウカラがリュウキュウアサギマダラを捕食. 琉球の昆虫. (38): 205	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
菅沼恵之・内藤俊彦. 1976. 先島諸島の草地植生. 菅沼恵之(編). 南西諸島南部(先島諸島)の草地生態に関する研究: 3-18	0	0	0	0	0	178	0									

表 4-5-1 (14). 生物分布情報に関する収集文献リスト

表 4-5-1 (15). 生物分布情報に関する収集文献リスト

文献名	分類群別データ数													地域		
	哺 乳 類	鳥 類	両 生 類	爬 虫 類	淡 水 魚	植 物	チ ヨ ウ 類	ト ン ボ 類	淡 水 陸 生 物	淡 水 甲 殻 類	海 水 魚	海 水 貝 類	海 藻 草 類	サン ゴ	本 島	八 重 山
前田慶光, 1973. 知念地区的植生. 沖縄生物教育研究会誌. 5: 29-47	0	0	0	0	0	1,258	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
倉田尚, 1966. 八重山群島西表島の鳥類. <i>Journal of the Yamashina Institute for Ornithology</i> . 4: 358-370	0	73	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
増永元, 太田英利, 戸田光彦, 中島朋明, 鏑雅哉, 松本千枝子. 2005. 鶴間島におけるオオヒキガエルの侵入と生息状況. 爬虫両棲類学会報. 2: 173-179	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
増野高司, 佐々木健志, 安川雄一郎. 1998. 沖縄島から採集されたクサガメ <i>Chinemys reevesii</i> (カメ目: バタグールガメ科). 沖縄生物学会誌. (36): 33-36	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
村越千鶴, 1978. ヒメシカゴの発生. 沖縄生物学会誌. (16): 29-34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	○
村山望. 2016. 東村でウミアカントボを確認. 瑞球の昆虫. (40): 13	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	○
多和田真吾, 1933. 美東植物目録. 美東小学校区域植物調査報告書. 40	0	0	0	0	0	2,174	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
太田英利, 山下晶子. 1985. オンナダケヤマモリ <i>Gehyra mutilata</i> (Wiegmann) の波照間島からの記録. 沖縄生物学会誌. (23): 33-34	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
太田英利, 藤井亮, 同本卓, 定田努. 2004. 八重山諸島波照間島の外来性爬虫類に関する新知見およびこれまでに同島から報告された爬虫類の記録に関するコメント. 爬虫両棲類学会報. 2: 128-137	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
太田英利. 1981. 波照間島の爬虫両棲類相. 爬虫両棲類学報. 9(2): 54-60	0	0	5	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
太田英利. 1983. 八重山群島の爬虫両生類相. 1. 沖縄生物学会誌. (21): 13-19	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
太田格, 工藤利洋. 2007. 名瀬湾周辺における沿岸性水産重要魚類の分布. 平成17年度沖縄県水産試験場事業報告書: 181-193	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	541	0	0	0	0	○
大宜味村教育委員会. 1995. 大宜味村の自然: 1-555	0	600	0	0	0	0	0	0	669	0	0	39	0	0	0	○
大見嶽辰男. 2000. 沖縄島赤土汚染定点調査海城における白化後のサンゴ被害状況. みどりいし. (11): 15-18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	○
大城勝, 山城勝, 金城直樹, 宮城智浩. 1997. 羽地内海海岸におけるトビハゼ類の生態分布とすみ分け調査. 沖縄生物教育研究会誌. (29): 23-30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
大城勝, 前田歩, 宮城美代加, 金城美善, 大嶽安江, 我那覇安江, 島袋牧, 福富さゆり, 福富美奈子, 岐原一美, 前田喜美子. 1989. 饒波川の魚類調査 I-河口閉塞と河川魚類の減少について. 沖縄生物教育研究会誌. (22): 23-31	0	0	0	0	68	0	0	0	0	0	16	0	0	0	0	○
大城信弘, 西島信昇. 1978. 海におけるヨシノボリ(ハゼ科)稚魚の生態. 沖縄生物学会誌. (16): 17-22	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
大城信弘, 大城勝, 西島信昇. 1976. 球流列島産イソギンボウ魚類22種の産卵場所と卵について. 沖縄生物学会誌. (14): 67-70	0	0	0	0	0	0	0	0	0	56	0	0	0	0	0	○
大西敏一, 真木広造. 2004. 沖縄県と那国島におけるカンムリオウチュウ <i>Dicrurus hottentottus</i> の日本初記録. 日本鳥学会誌. 53: 47-48	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
大沢洋子, 桑原建二, 山城正邦, 四方正良, 大沢タ志. 2013. 粟国島ニオケルクビオコウモリ <i>Pteropus dasymallus</i> Temminck, 1825(翼手目: オオコウモリ科)の初記録. <i>Fauna Ryukyuana</i> . 4: 5-7	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
大谷力. 2004. 沖縄県石垣島におけるヤマカゴの観察記録. 日本鳥学会誌. 53: 104-106	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
大嶋洋行. 1994. サンゴ礁海内海洋牧場開拓推進調査. 平成4年度沖縄県水産試験場事業報告書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35	0	0	0	0	○
大嶋豊雄, 中玉利澄男, 高嶺英信. 1984. 国頭村大林幹道の道路側溝に落した土壤動物相(予報). 沖縄生物学会誌. (22): 71-78	0	0	7	4	0	0	0	0	61	0	0	0	0	0	0	○
大嶋豊雄. 1980. 沖縄本島中部(中城湾沿岸を中心とする)動物相概観-1975年3月調査より-. 沖縄大学紀要. 1: 137-181	0	3	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
大嶋豊雄. 1975. 本部半島 動物相の第一次調査報告-主として昆虫及び他の陸生小動物-. 沖大論譲: 81-96	0	0	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
大嶋豊雄. 2001. 沖縄島北部古生層石灰岩地の植物と植物層	0	0	0	0	0	1,350	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
大澤正幸, 長井隆, 成瀬賛. 2011. 球流列島から採集されたカスリベンケイガニ(新称). 沖縄生物学会誌. (49): 37-47	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	○
大澤正幸, 藤田喜久. 2005. 沖縄島からのヤエヤマヒメオカガニの報告およびその生息場所について. 沖縄生物学会誌. (43): 59-63	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
沢田幸雄, 新井良一, 阿部宗明. 1972. 八重山群島より採集されたコバンハゼ属の新種, <i>Gobiodon okinawae</i> について. 魚類学雑誌. 19: 57-62	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
沢田勇, 沖縄地方におけるヤマウミの条虫相. 学会(一般公演 生態 要旨)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
沢田勇. 1989. 真虫相かみた对マコウモリ. 遺伝. 43(10): 78-85	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
柳原哲雄. 2003. 沖縄島におけるアシサシ類の繁殖状況調査. 第18回(平成15年度)TaKaRa/ハーモニストアンド活動記成報告: 77-89	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
柳原哲雄, 佐藤裕一. 2016. 沖縄島残波の礁池に出現する後體類の季節変動. 沖縄生物学会誌. (54): 17-25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	37	0	0	0	○
知念盛俊. 1966. 第2回八重山生物データ調査報告陸底貝類の部. 沖縄生物教育研究会誌. (1): 141-154	0	0	0	0	0	0	0	0	31	0	0	2	0	0	0	○
知念盛俊. 1991. 第三章陸性動物 中城跡と周辺の陸底貝類. 中城村史第二巻 資料編1(地理・自然・政治行政・産業構造・移民). (2): 238-243	0	0	0	0	0	0	0	0	29	0	0	1	0	0	0	○
知念盛俊. 1965. 沖縄産貝類の採集と標本の作り方(1). 沖縄生物学会誌. 2(4): 77-88	0	0	0	0	0	0	0	0	44	0	0	0	0	0	0	○
知念盛俊. 1967. 尖閣列島の陸底貝類. 沖縄生物学会誌. (17): 19-27	0	0	0	0	0	0	0	0	16	0	0	2	0	0	0	○
知念盛俊, 治井良一, 儀間一惠. 2004. 西原町の陸・淡水貝類. 西原町市付属刊行物 西原町の自然 ~動物・人との自然の関わり~: 79-90	0	0	0	0	0	0	0	0	189	0	0	5	0	0	0	○
池原樹樹. 1993. 薩手納火薙基地弾薬庫周辺の植物. 沖縄生物教育研究会誌. 25: 29-41	0	0	0	0	0	4,180	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
池原樹樹. 1996. 金武町海岸植物調査報告書: 45p	0	0	0	0	0	572	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
池原樹樹, 安鷹琢磨, 城間俊. 1978. 尖閣列島・南鳥島を訪ねて. 沖縄生物学会誌. (16): 39-44	0	10	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
池原樹樹. 1989. 沖縄島北東地域におけるノグチケラ、ヤンバルクイナの生息分布について-総括-. 特殊鳥類等生息環境調査 II 中間報告書: 183-188	0	173	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
池原樹樹. 1988. 沖縄島北部と那国島及びその周辺地域の鳥類調査結果. 特殊鳥類等生息環境調査 II 中間報告書: 63-76	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
池長裕史, 川上和人, 柳澤紀夫. 2014. II. 日本鳥類目録改訂で「検討中」とした種および垂種について. 日本鳥学会誌. 63: 134-149	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
池長裕史, 川上和人, 柳澤紀夫. 2014. I. 日本鳥類目録改訂第7版で新たに掲載された種および垂種の記録等について. 日本鳥学会誌. 63: 96-149	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
池田敏樹. 2005. 水中コンクリートによるサンゴの移殖工法の開発. ハザマ研究年報. 37: 1-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	○
池田善英. 1986. 北大東島冬期に観察された鳥類. <i>Journal of the Yamashina Institute for Ornithology</i> . 18: 68-70	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
竹中践, 菲藤琢磨, 戸田守. 2015. 小浜島におけるサキシマカナヘビの標本採集およびその他の爬虫類・両生類の記録. Akamata. 25: 36-40	0	0	3	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
竹島大彦, 吉野哲夫. 1996. 沖縄島に孵化したナマズ科魚類 <i>Liposarcus disjunctus</i> の報告. 沖縄生物学会誌. (34): 35-41	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	○
竹内信彦, 原村隆司. 2015. ヤエヤマヒバによるオオハナサキガエルの捕食例. Akamata. 25: 15-16	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
竹内信彦, 原村隆司. 2016. 河口域で発見されたオオヒキガエルの幼生. Akamata. 26: 8-10	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
中須賀常雄. 1976. マングローブに関する研究 IV-(3) 宮古・八重山群島におけるマングローブの分布状況. 琉球大学農学部学術報告. 23: 339-364	0	0	0	0	0	131	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
中須賀常雄・坂内さおり. 2003. マングローブの分布と生息に関する研究 マヤシキ林の林分構造. 平成14年度内閣府委託事業マングローブに関する調査研究報告書: 5-16	0	0	0	0	0	82	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
中須賀常雄・大山保昇・春木雅寛. 1974. マングローブに関する研究 I. 日本におけるマングローブの分布. 日本生態学会誌. 24: 237-246	0	0	0	0	0	152	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
中須賀常雄・馬場繁幸・伊藤和昌. 1982. 沖縄の海岸林に関する研究(II)西表島船泊浦の海藻林. 琉球大学農学部学術報告. 29: 231-239	0	0	0	0	0	88	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
中西由栄. 2009. 石垣島の海藻藻場で確認されたアオウミガメの食み跡. 沖縄生物学会誌. (47): 19-23	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
中西希. 伊澤雅子. 2014. イリオモテヤマネコの山地部における繁殖情報. 沖縄生物学会誌. (52): 45-51	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
中川尚記. 鳩原永輝. 真村均. 1983. イシカキカラコウモリの波照間島からの記録. 沖縄生物学会誌. (21): 3-5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
中村泰之. 2010. ナミエガエリによるオオナガカガエルの捕食例. Akamata. 21: 7-8	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
中村渉平. 2010. ウミヨコウツブ藻場の消失に伴う魚類群集構造の変化. 西表島研究. 18: 22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	103	0	0	0	0	○
中島勝成. 戸田光彦. 青木正成. 鏑雅哉. 2005. 西表島におけるオオヒキガエル対策事業について. 爬虫両棲類学会報. 2: 179-186	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
中藤実美. 佐藤紀男. 加藤雅容. 2002. <i>Thelypteris angustifrons</i> 倍数体複合群(ヒメシダ科)の細胞分類学的解析. <i>Acta phytotaxonomica et geobotanica</i> . 53																

表 4-5-1 (16). 生物分布情報に関する収集文献リスト

文書名	分類群別データ数													地域		
	哺 乳 類	鳥 類	両 生 類	爬 虫 類	淡 水 魚	植 物	チ ヨ ウ 類	トン ボ 類	淡 水 陸 生 貝 類	淡 水 甲 殻 類	海 水 魚	海 水 貝 類	海 水 甲 殻 類	サン ゴ	本 島	八 重 山
中本致、佐藤垂希子、金城和三、伊澤雅子。2011. 沖縄県で近年見られるオリオコモリ <i>Pteropus dasymallus inopinatus</i> の個体数の増加について。保全生態学研究。(16): 45-53	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中野義勝、土屋誠。2007. 「研究活動紹介」サンゴ礁における多種共存構造と物質循環の多様性：海草生態系におけるアプローチ。あまみきよ。(5): 6-7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
仲根貴道、田場美沙基、渋澤昇太、富永篤。2015. リュウキュウカジカガエルの変態サイズ・野外・飼育下での幼体の成長速度。Akamata, 25: 1-4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
仲根根幸、赤瀬智子。1981. ミナミコメツキガニの生息周期と稚ガニの成長。沖縄生物学会誌。(19): 17-23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
仲松修、高良茂宏。2013. 生態系に配慮した道路事業の実施について～該谷道路におけるカモリ調査の中間報告～。平成25年度国土交通省国土地理情報研究会講演要旨:一般課題(一般部門)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
仲真良英。1994. 泡瀬植物目録: 1-42	0	0	0	0	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
仲地明、浜谷川英男。1992. 沖縄島のリュウキュウヤマガメに寄生していた <i>Meteterakis ishikawanae</i> Hasegawa, 1987 (線虫綱: ヘテラクス科: ヘテラクス科)。沖縄生物学会誌。(30): 25-28	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
仲田栄二。2000. 西表島仲間の生態の植生、南島文化。(22): 25-37	0	0	0	0	197	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
朝倉彰、古見久、野村惠一、立川良之。2002. セグロサンゴマリ(新称)とクリヨリサンゴヤドカリの日本からの記録、およびクロサンゴヤドカリの色彩変異。沖縄生物学会誌。(40): 33-40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0
長井隆、成瀬貴、前之園唯史、藤田喜久、朝井幸智。2011. 琉球島におけるアシハラガニモドキ属とその近似属(甲殻亞門: 十脚目: 短尾目)の種の再検討と分布状況。沖縄生物学会誌。(49): 15-36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	48	0	0	0
長谷川英男、安里二郎、岩附信紀。1986. 沖縄島食虫植物。豊能の寄生蝶虫相。沖縄生物学会誌。(24): 7-16	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長谷川英男。1985. 沖縄県産爬虫類の寄生蝶虫相。沖縄生物学会誌。(23): 1-11	0	0	0	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長谷川英男。1992. 沖縄県久米島の寄生蝶虫相。爬虫類の寄生蝶虫相。沖縄生物学会誌。(30): 7-13	0	0	3	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長谷川英男。1984. 沖縄県産兩生類の寄生蝶虫相。沖縄生物学会誌。(22): 11-22	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長田勝、佐々木健志。2012. 西表島東オヤヤンマの羽化場所の一例。琉球の昆虫。(36): 35-36	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
長田勝、小浜継雄。2014. 沖縄島恩納村で採集したヒメイチモジセヒヤ。琉球の昆虫。(38): 50	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
長田勝。2012. 恩納村におけるモラサツバハの記録。琉球の昆虫。(36): 59	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0
長田勝。2006. モラサツバハの記録。琉球の昆虫。(30): 36	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
長田勝。2005. モラサツバハに巻まるカバマタフ。琉球の昆虫。(27): 17	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
長田勝。2011. 糸角萬丈にてノハチウツを自原。琉球の昆虫。(36): 60-62	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
長田勝。2010. 北部城村でリュウキュウクロトコホを採集。琉球の昆虫。(34): 47	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
長田勝。2014. 琉球大学ビオトープのヒメイチモジセヒヤ。琉球の昆虫。(38): 50	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長田勝。2014. 琉球大学構内で見たモンキチヨウ。琉球の昆虫。(39): 59	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長田智史、笠原原生山(英治、小澤宏之、上野大輔、酒井一彦。2006. 沖縄島周辺海域におけるトグサンゴ <i>Seriatoropa hystris</i> の分布。沖縄県環境試験センター報。(7): 77-81	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
長嶺晴美、金城あや子、親盛豊介、中村博幸。1983. ナハキハリの調査と観察。沖縄生物教育研究会誌。(16): 15-16	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長嶺邦雄。1993. 1987年4月から6月の那霸市立中原中学校 庭での記録。琉球の昆虫。(15): 12-13	0	0	0	0	0	0	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長嶺邦雄。2006. 2005年。沖縄島でマークされたアサギマダラの再捕獲記録。琉球の昆虫。(28): 28	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0
長嶺邦雄。2007. 2006年。県外から飛来したマークつきアサギマダラの記録。琉球の昆虫。(31): 22	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0
長嶺邦雄。2007. 2006年迷蝶の記録。琉球の昆虫。(31): 64-65	0	0	0	0	0	0	0	25	0	0	0	0	0	0	0	0
長嶺邦雄。1993. アサギマダラハイマークの記録。琉球の昆虫。(15): 11	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0
長嶺邦雄。1993. アサギマダラについて(1988年-1992年3月)。琉球の昆虫。(15): 4-10	0	0	0	0	0	0	61	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長嶺邦雄。2013. アサギマダラについて(2012年)。琉球の昆虫。(37): 99-101	0	0	0	0	0	0	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0
長嶺邦雄。2006. アサギマダラのマーク記録(沖縄島2005年)。琉球の昆虫。(28): 9-27	0	0	0	0	0	0	0	175	0	0	0	0	0	0	0	0
長嶺邦雄。2010. アサギマダラのマーク記録(調査報告2009)。琉球の昆虫。(34): 94-102	0	0	0	0	0	0	0	95	0	0	0	0	0	0	0	0
長嶺邦雄。2011. アサギマダラのマーク記録(調査報告2010)。琉球の昆虫。(35): 40-41	0	0	0	0	0	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0
長嶺邦雄。2008. アサギマダラのマーク記録(報告2007)。琉球の昆虫。(32): 24-44	0	0	0	0	0	0	0	209	0	0	0	0	0	0	0	0
長嶺邦雄。2009. アサギマダラのマーク記録(報告2008)。琉球の昆虫。(33): 88-94	0	0	0	0	0	0	0	91	0	0	0	0	0	0	0	0
長嶺邦雄。2007. アサギマダラハイマーク報告。琉球の昆虫。(31): 1-21	0	0	0	0	0	0	0	452	0	0	0	0	0	0	0	0
長嶺邦雄。2008. アサギマダラの食卓記録及び飼育記録から。琉球の昆虫。(32): 92	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0
長嶺邦雄。2011. アサギマダラハイマーク記録(2010)。琉球の昆虫。(34): 48-49	0	0	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0
長嶺邦雄。2006. アサギマダラハイマーク記録(2009)。琉球の昆虫。(28): 29	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0
長嶺邦雄。2014. アサギマダラハイマーク記録(報告2013年)。琉球の昆虫。(38): 1-24	0	0	0	0	0	0	0	44	0	0	0	0	0	0	0	0
長嶺邦雄。1993. オナフオソノリサウナ工の羽化前の記録(1991年)。琉球の昆虫。(15): 18-19	0	0	0	0	0	0	0	57	0	0	0	0	0	0	0	0
長嶺邦雄。1991. オナフオソノリサウナ工の羽化前の記録。琉球の昆虫。(14): 27	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0
長嶺邦雄。1991. カマリキウツウシマフウシを食す。琉球の昆虫。(14): 11-12	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0
長嶺邦雄。2008. スジホカマリマダラの沖縄島での記録。琉球の昆虫。(32): 95	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
長嶺邦雄。2009. ワイタクアマダラの記録(2008)。琉球の昆虫。(33): 60	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0
長嶺邦雄。2008. ワタハモドクの西表島での新食草。琉球の昆虫。(32): 95	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0
長嶺邦雄。2008. モリキリマダラを南城市系数域で採集。琉球の昆虫。(40): 100	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
長嶺邦雄。2014. ムラサキシミの観察記録(2013)。琉球の昆虫。(38): 60	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0
長嶺邦雄。2015. ムラサキシミの観察記録(2014)。琉球の昆虫。(39): 130-131	0	0	0	0	0	0	0	19	0	0	0	0	0	0	0	0
長嶺邦雄。2017. ムラサキシミの観察記録。琉球の昆虫。(41): 124	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0
長嶺邦雄。2013. ムラサキシミ(ズ)の観察報告(2012)。琉球の昆虫。(37): 108	0	0	0	0	0	0	0	19	0	0	0	0	0	0	0	0
長嶺邦雄。2008. ムラサキシミ(ズ)の観察報告(2008)。琉球の昆虫。(32): 100-103	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
長嶺邦雄。2017. リュウキュウウラナミナミゾウノミについて(第2報)。琉球の昆虫。(41): 122-123	0	0	0	0	0	0	0	231	0	0	0	0	0	0	0	0
長嶺邦雄。1987. 沖縄島からの幼生期の記録(1985年7月)。琉球の昆虫。(11): 39-40	0	0	0	0	0	0	0	17	7	0	0	0	0	0	0	0
長嶺邦雄。2008. 伊計島の蝶。琉球の昆虫。(32): 98-99	0	0	0	0	0	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0
長嶺邦雄。2007. 冲縄島・蝶の生卵期の記録(2005, 2006)。琉球の昆虫。(31): 56-64	0	0	0	0	0	0	0	200	0	0	0	0	0	0	0	0
長嶺邦雄。1985. 沖縄島でのシボシ類の記録(1984年)。琉球の昆虫。(10): 71-73	0	0	0	0	0	0	0	0	88	0	0	0	0	0	0	0
長嶺邦雄。1985. 沖縄島での蝶の幼生期の記録(1984年)。琉球の昆虫。(10): 56-61	0	0	0	0	0	0	0	0	188	0	0	0	0	0	0	0
長嶺邦雄。1985. 沖縄島での蝶の幼生期の記録(1984年)。琉球の昆虫。(10): 62-70	0	0	0	0	0	0	0	0	136	0	0	0	0	0	0	0
長嶺邦雄。1987. 沖縄島での蝶の幼生期の記録(1985年～1991年)。琉球の昆虫。(11): 27-33	0	0	0	0	0	0	0	0	154	0	0	0	0	0	0	0
長嶺邦雄。1983. 沖縄島での蝶の幼生期の記録(1986年)。琉球の昆虫。(15): 35-59	0	0	0	0	0	0	0	0	507	0	0	0	0	0	0	0
長嶺邦雄。2006. 沖縄島でマリル(ネルリ)マダラの一時の発生。琉球の昆虫。(30): 57	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0
長嶺邦雄。1991. 沖縄島のトボシ類の目録記録(1986年)。琉球の昆虫。(14): 35-37	0	0	0	0	0	0	0	0	71	0	0	0	0	0	0	0
長嶺邦雄。1993. 沖縄島のトボシ類の目録記録(1987～1988年)。琉球の昆虫。(15): 16-18	0	0	0	0	0	0	0	0	74	0	0	0	0	0	0	0

表 4-5-1 (17). 生物分布情報に関する収集文献リスト

文献名	分類群別データ数														地域	
	哺 乳 類	鳥 類	両 生 類	爬 虫 類	淡 水 魚	植 物	チ ヨ ウ 類	ト ン ボ 類	水 陸 生 貝 類	淡 水 甲 殻 類	海 水 魚	海 水 貝 類	海 水 甲 殻 類	サン ゴ	本 島	八 重 山
長嶺邦雄, 2008. 蝶の幼生期の記録(2007). 琉球の昆虫. (32): 80-87	0	0	0	0	0	0	174	0	0	0	0	0	0	0	0	○
長嶺邦雄, 2009. 蝶の幼生期の記録(2008). 琉球の昆虫. (33): 60-65	0	0	0	0	0	0	104	0	0	0	0	0	0	0	0	○
長嶺邦雄, 2010. 蝶の幼生期の記録(2009). 琉球の昆虫. (34): 66-70	0	0	0	0	0	0	169	0	0	0	0	0	0	0	0	○
長嶺邦雄, 2013. 蝶の幼生期の記録(2012). 琉球の昆虫. (37): 85-91	0	0	0	0	0	0	140	0	0	0	0	0	0	0	0	○
長嶺邦雄, 2014. 蝶の幼生期の記録(2013年). 琉球の昆虫. (38): 119-122	0	0	0	0	0	0	144	0	0	0	0	0	0	0	0	○
長嶺邦雄, 1987. 渡嘉敷島の3月の蝶(1986年). 琉球の昆虫. (11): 37	0	0	0	0	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	○
長嶺邦雄, 1999. 波照間島で見た蝶・トンボ・セミ(1996年). 琉球の昆虫. (20): 31-32	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	○
長嶺邦雄, 1999. 瓢島間島で見たチョウ・トンボ・セミ(1996年). 琉球の昆虫. (20): 30	0	0	0	0	0	0	22	3	0	0	0	0	0	0	0	○
長嶺邦雄, 1988. 与那国島のチョウ・トンボ類(1987年8月). 琉球の昆虫. (12): 41-45	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	○
長嶺邦雄, 1970. 黒島の植物. 沖縄生物学会誌. (6): 37-39	0	0	0	0	0	0	0	28	0	0	0	0	0	0	0	○
長嶺邦雄, 1964. 最近沖縄で記録された蝶数種について. 沖縄生物学会誌. 1(2): 80-82	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	○
長嶺邦雄, 1967. 竹富島のキマラムシ類について(1). 沖縄生物学会誌. 4(6): 30-34	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	○
長嶺邦雄, 1966. 琉球列島から採集された数種の蝶について. 沖縄生物学会誌. 3(5): 36-37	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	○
鳥羽謙久, 2004. 渡嘉敷島のアマミカチホヘビ. 蝶虫両種類会報. 1: 20-21	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
鳥居高志, 塩根嗣理, 加藤恵一, 杉浦幸彦, 黒川忠之, 大野正博, 大城朝一, 新垣敏一. 2011. 河口閉塞による感潮域魚類相への影響. 应用生態学工学. 13(2): 123-139	0	0	0	0	142	0	0	0	0	0	1,158	0	0	0	0	○
津波古賀・町田敦子, 2005. 北谷の植物. 北谷町史第1巻通史編.: 83-108	0	0	0	0	0	4,087	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
通事太一郎, 庄山守, 亀崎直樹, 西表島における爬虫類・鳥類・哺乳類の路上死体の記録. 沖縄生物学会誌. (32): 43-48	0	78	0	71	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
天野千晴・高田一・中村元紀・佐藤寛之・宮城直樹・立石庸一, 2012. 琉球大学千原構内に生育する野生性管束植物. 琉球大学教育学部紀要. 8: 333-354	0	0	0	0	0	1,650	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
天野千晴・大城(坂口)由希子・立石庸一・沖縄県の離島・へき地における自然教育のための基礎資料の充実(5)南城市・久高島の植物相. 琉球大学教育学部紀要. 81: 355-370	0	0	0	0	0	1,162	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
天野千晴・立石庸一・佐藤寛之・田場美沙基, 2013. 沖縄県の離島・へき地における自然教育のための基礎資料の充実(6)うるま市津堅島の植物相. 琉球大学教育学部紀要. 83: 177-200	0	0	0	0	0	1,010	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
天野鶴夫, 1982. 知花グスクの植物. 沖縄自然研究会(編). 沖縄県自然環境保全地域指定候補地学術調査報告. 知花グスク・斎場御殿とその周辺地. 5-17	0	0	0	0	0	195	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
天野鶴夫, 1982. 斎場御殿及びその周辺の植物. 沖縄自然研究会(編). 沖縄県自然環境保全地域指定候補地学術調査報告. 知花グスク・斎場御殿とその周辺地. 77-90	0	0	0	0	0	216	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
田庄洋三. 2012. 石垣島での蝶類幼生期の記録. 琉球の昆虫. (36): 51-54	0	0	0	0	0	0	42	0	0	0	0	0	0	0	0	○
田場美沙基, 佐根宗貴道, 清澤昇太, 富永高志, 2013. 流水環境で繁殖するリュウキユウカシガエルの繁殖期の生態調査. 九州野生爬虫類研究会誌. 4: 68-70	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
田谷利生, 齋藤部陽子, 原田綾華, 吉田文也, 三日月茜, 田和国明, 境寛, 前潟光弘, 桜谷保之. 2013. 沖縄県八重山諸島で記録された蝶類・両生類・爬虫類及び鳥類. 近畿大学農学部紀要. 46: 299-307	0	9	4	7	0	0	198	0	0	0	0	0	0	0	0	○
田中聰, 高原建二. 2003. 先島諸島における野生化したインドクジャクの分布と現状について. 沖縄県立博物館紀要. 29: 19-24	0	64	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
田中聰, 西平守孝. 1981. キノボリトカゲについての2、3の観察. 沖縄生物学会誌. (19): 33-39	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
田中聰. 2009. ナグニキノボリトカゲの生態について. 与那国島総合調査報告書. 沖縄県立博物館・美術館 別刷: 13-22	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
田中聰. 2004. 小浜島におけるインドクジャクの現状について. 小浜島総合調査報告書: 65-74	0	55	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
田中聰. 1994. 淀島島におけるイボイモリとシリケンイモリの生態についての予備的観察. 沖縄生物教育研究会誌. (26): 13-21	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
田中聰. 1994. 淀島島におけるイボイモリとシリケンイモリの生態についての予備的観察. 沖縄生物教育研究会誌. (26): 13-21	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
田中聰. 1986. サキシマカナヘビの体温調節. 沖縄生物学会誌. (24): 39-41	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
田中聰. 2004. 小浜島におけるオニヤマトカゲの現状について. 小浜島総合調査報告書: 21-33	0	0	12	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
田中聰. 2006. シラアゴガルとオナタケヤマリの池間島からの記録. 沖縄県立博物館紀要. 32: 1-3	0	0	4	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
渡嘉敷村史編集委員会. 1987. 第一章渡嘉敷島の自然. 第二節淡水動物. 渡嘉敷村史 資料編: 13-42	0	0	0	0	27	0	0	0	10	38	2	3	0	6	0	
渡久山草, 川添永公, 新里季和. 1998. 亜熱帯琉球石灰岩地の照葉樹林におけるリーダーの研究. 琉球大学理学部紀要. 66: 39-62	0	0	0	0	0	358	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
渡辺賀一. 2012. 石垣島における蝶類幼生期の記録. 琉球の昆虫. (36): 54-55	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	○
渡辺賀一. 2013. 石垣島でのスナカネアリ量飛来と走点観察. 琉球の昆虫. (37): 37-40	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	○
渡辺賀一. 2014. 2013年石垣島で採集されたオナガアリ. 琉球の昆虫. (38): 169	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	○
渡辺賀一. 2014. 2014年1月石垣島のブールで得られたウスバキトンボとスナアカネのヤゴ. 琉球の昆虫. (38): 170-171	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	○
渡辺賀一. 2015. 2015年2月石垣島のブールで得られたウスバキトンボとスナアカネのヤゴ. 琉球の昆虫. (39): 54-55	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	○
渡辺賀一. 2017. 2016年1月石垣島のブールで得られたウスバキトンボのヤゴ. 琉球の昆虫. (41): 166-167	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	○
渡辺賀一. 1977. アサビキマタラセリの生活史. 沖縄生物教育研究会誌. (10): 45-49	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	○
渡辺賀一. 2015. ミナミトボ産卵の観察. 琉球の昆虫. (39): 57	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	○
渡辺賀一. 2015. ワタナベアシカエの産卵. 琉球の昆虫. (39): 55	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	○
渡辺賀一. 2017. 沖縄島でウスバキトンボのヤゴが越冬した記録. 琉球の昆虫. (41): 164-165	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	○
渡辺賀一. 2012. 西表島アカシマジックウォトコの羽化形を確認. 琉球の昆虫. (36): 141	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	○
渡辺賀一. 2015. 西表島におけるワカタコントンボの記録. 琉球の昆虫. (39): 56	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	○
渡辺賀一. 2013. 石垣島でアカシマジックウォトコを採集. 琉球の昆虫. (37): 34-35	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	○
渡辺清. 1987. オゴマグラの越冬の形態について. 琉球の昆虫. (11): 48	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	○
渡辺利郎, 鹿島忠介. 2016. 沖縄県与那国島におけるカワリサンゴワコツワコ. <i>Terpsiphone paradisei</i> の観察記録. 日本鳥学会誌. 65: 43-45	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
渡邊道夫. 小瀬正美, 山城秀之, 堀村尚子. 西原ひろ. 2011. 沖縄本島北部大浦湾周辺の自然と環境教育の試み. 平成22年度日本大学総合技術研究会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	○
島袋敬一・新城和治・横田昌晶. 1990. 西表島崎山島(船浮)の植物相. 南西諸島における野生生物の種の保存に不可欠な諸条件に関する研究: 37-80	0	0	0	0	0	912	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
島袋敬一. 2007. クロコミチャコワの記録. 琉球の昆虫. (31): 22	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	○
島袋敬一. 1985. リュウコムラガキの幼虫サマミヨモリ採集. 琉球の昆虫. (10): 128	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	○
島袋守. 1978. 海洋植物の野外観察資料(1). 沖縄生物教育研究会誌. (1): 59-66	0	0	0	0	0	0	24	0	0	0	0	0	0	0	0	○
島袋守. 1986. 座喜味森林の植物. 国指定天然記念物環境整備事業報告書: 74-81	0	0	0	0	0	93	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
島袋守. 1986. 八重山に於けるシボウメの分布とその原因1. 沖縄生物教育研究会誌. (1): 161-178	0	0	0	0	0	83	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
島袋伸三. 野原朝秀, 初島住彦, 天野铁夫, 新納義馬, 新城和治, 東清二, 池原真雄, 新屋敷幸, 多和田寅淳. 1974. 久米島県立公園候補地学術調査報告. 沖縄県自然記念物調査シリーズ第30集. 国頭郡天然記念物緊急調査会: 25-58	3	133	0	0	0	657	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
島袋伸三. 新城和治・宮城朝章. 佐久久本, 喜屋武一三六. 2007. 第2章 残された自然 沖縄市の緑. 沖縄市史 第4章 自然・地理・考古編 自然編: 19-71	0	0	0	0	0	523	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
島袋智, 金城元, 田場利恵子, 名護優子. 1984. 照間に於ける野鳥の行動-海岸・水田・湿地での観察をとおして-. 沖縄生物教育研究会誌. (17): 35-36	0	129	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
島袋伸三. 1989. 伐採が森林内部へ及ぼす影響(中間報告). 沖縄生物教育研究会誌. (22): 13-21	0	0	0	0	0	423	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
島袋伸三. 新島義龍・新城和治・宮城朝章・真志喜丈子・白越国昭・天嶽敏男・新納義馬. 1988. 田港御嶽の植物群落. 沖縄県天然記念物調査シリーズ第30集. 国頭郡																

表 4-5-1 (18). 生物分布情報に関する収集文献リスト

文献名	分類群別データ数													地域		
	哺 乳 類	鳥 類	両 生 類	爬 虫 類	淡 水 魚	植 物	チ ヨ ウ 類	トン ボ 類	淡 水 陸 生 物	淡 水 甲 殻 類	海 水 魚	海 水 貝 類	海 藻 類	サン ゴ		
崎津信彦. 2015. 沖縄県安波川水系ビニン沢におけるアメリカザリガニの単位努力量あたりの採集個体数の体長組成の経年変化. 沖縄生物学会誌. (53): 55-59	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	○	
崎津信彦. 2014. 沖縄島と那国島川水系ビニン沢において2013年8月に起きた魚類大量死により得られたオオウナギの個体数密度と全長組成. 沖縄生物学会誌. (52): 69-72	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
崎津信彦. 2008. 沖縄島北側川に侵入したオオクチバスの生態学的研究. 人と自然. 19: 35-41	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
東正樹, 東良雄, 平田義浩. 1992. 久米島の陸生貝類相. 具目学雑誌VENUS. 50(4): 264-269	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0		
当山昌直, 佐藤文保. 1985. ハバートカクの伊平屋島からの記録. 沖縄生物学会誌. (23): 25-27	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
当山昌直, 千木良芳範, 佐藤文保. 1997. 南風原町の両生類・爬虫類. 南風原町史 第2巻 自然・地理資料編: 161-174	0	0	18	37	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
当山昌直. 1980. (特別寄稿)粟国島の陸上脊椎動物. 沖縄県立博物館総合調査報告書 I 粟国島: 51-55	3	10	2	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
当山昌直. 2004. 西原町の両生類・爬虫類. 西原町市付属刊行物 西原町の自然・動物・人と自然の関わり~: 19-34	0	0	0	56	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
当山昌直. 1981. 渡名喜島の陸上脊椎動物. 沖縄県立博物館総合調査報告書 II 渡名喜島: 49-56	3	13	2	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
当山昌直. 1976. 富古群島の両生爬虫類相(I). 貝虫由南橋類学雑誌. 6(3): 64-74	0	0	2	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
当山昌直. 1976. ミヤコトカゲの生態の確認. 沖縄生物学会誌. (14): 61-66	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
当山昌直. 1981. 沖縄群島の両生爬虫類相(I). 沖縄県立博物館紀要. 7: 1-8	0	0	20	54	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
当山昌直. 1984. 沖縄群島の両生爬虫類相(II)~渡嘉敷島・久米島~. 沖縄県立博物館紀要. 10: 25-36	0	0	7	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
当山昌直. 2009. キクタツワヒ. 琉球大学資料館収蔵タイプ標本目録. (1): 12	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
藤田直三, 黒木耐二. 1984. 尖閣諸島の海産貝類. 沖縄生物学会誌. (18): 51-58	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	253	0	0	○	
藤吉直明, 野村忠, 岸根雄, 北條芳隆, 野村裕弘, 河野治美. 2014. 西表島の水田に生息する絶滅危惧植物5種の分布. 沖縄生物学会誌. (52): 21-29	0	0	0	0	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
藤田直久. 仲根一哉, 金城孝一, 玉城不二美, 上野大輔. 2012. 久米島儀間川および白瀬川における河川環境と河川動物群集の現状. 久米島博物館紀要: 35-88	0	0	1	2	70	0	0	26	25	72	36	24	0	54	0	
藤田直久. 北川崇明. 2010. 宮古島田川にて採集されたツノガヌマエビヒニセモクズカニ. 宮古島市総合博物館紀要. (14): 115-121	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	3	0	
藤田直久, 久保弘文. 2013. 宮古島尻マングローブ域で発見されたキバウミニナ(軟体動物門: 腹足綱: キバウミニナ科). 沖縄生物学会誌. (51): 73-77	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
藤田直久. 珠川博秋. 2008. 多良間島の洞穴性および陸性十脚甲殻類. 宮古島市総合博物館紀要. (12): 53-80	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	10	0	
藤田直久. 2007. 宮古島の水に生息する十脚甲殻類. 宮古島市総合博物館紀要. (11): 89-110	0	0	0	0	0	0	0	0	0	69	0	0	0	11	0	
藤田直久. 2017. 宮古諸島水納島の十脚甲殻類. 宮古島市博物館研究. 21: 91-110	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	31	0	
藤田直久. 2009. 宮古島におけるミヤコザワカの新たな生息地について. 宮古島市総合博物館紀要. (13): 71-76	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	1	0	
藤田直久. 2009. 宮古島のオカニガニ. 宮古島市総合博物館紀要. (13): 53-70	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0		
藤田直久. 2009. 宮古島から得られたキノボリヒビ. 沖縄生物学会誌. (47): 29-31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
藤田祐樹. 2009. アオアシギヒアマサギに見られる採食中の歩行動作. 沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要. 2: 1-4	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
藤波不二雄. 1982. 春季の沖縄の野鳥. Strix. 1: 125	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
独立行政法人 沖縄科学技術研究基盤整備機構. 2007. 沖縄科学技術大学院大学(仮称)整備事業に係る環境影響評価書. 6章	180	427	26	92	28	1,048	17	73	65	208	144	186	447	641	360	○
読谷村 生活福祉部 健康環境課. 2014. 平成25年度 読谷村井泉(カ)環境調査委託業務 報告書: 460p	0	0	23	91	44	2,855	279	109	70	59	0	24	20	17	0	○
読谷村文化財保護委員会. 1980. 読谷の文化第2集植物編: 79	0	0	0	0	0	75	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
那覇市, 南風原町. 2002. 那覇市・南風原町ごみ処理施設事業組合ごみ処理施設整備事業に係る環境影響評価書. (V): 179-217	2	24	3	4	0	371	12	5	0	0	0	0	0	1	0	○
内閣府沖縄総合事務局国土交通省大阪航空局. 2013. 那覇空港滑走路増設事業に係る環境影響評価書. 第二分冊: 6章	49	1,281	22	58	0	822	123	60	87	0	33	12	0	45	598	○
内閣府沖縄総合事務局国土交通省大阪航空局. 2015. 那覇空港滑走路増設事業に係る後期調査報告書. 第6章	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	107	○
南九州市人間開発部 遠藤研究室. 2012. 平成23年度 沖縄離島地域における自然の保護活用促進のための調査(ケラマ諸島生息状況調査)業務. 7p	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
南風原町史編集委員会. 2000. 南風原町の植物. 南風原町史編集委員会(編), はえばるの自然と地理, 南風原町史第4巻, 地理本編: 159-180	0	0	0	0	0	1,143	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
南條和士, 加納光樹, 堀之内正博, 佐野光彦. 2010. 西表島浦内川のマングローブ域における魚類群集構造と環境特性. 東洋大海洋研究所研究報告. 31: 31-41	0	0	0	0	20	0	0	0	0	0	129	0	0	0	0	
南條和士, 河野裕美, 中村洋平. 2012. マングローブの生育するエリアと生育しないエリアにおける魚類群集構造と餌資源違い. 西表島研究: 東海大学沖縄地域研究センター所報. 50-62	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	201	0	0	0	0	
楠井善久. 2006. 石垣市のテントクダラの観察. 琉球の昆虫. (29): 42	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	
楠井善久, 楠井陽子. 2005. 伊江島、瀬底島、水納島における4月末日の蝶類の記録. 琉球の昆虫. (26): 39	0	0	0	0	0	0	0	17	0	0	0	0	0	0	0	
楠井善久, 楠井陽子. 2005. 廣島群島の蝶類. 琉球の昆虫. (26): 40	0	0	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0	0	0	0	
楠井善久, 楠井陽子. 2006. 廣島群島の座間味島における5月の蝶類. 琉球の昆虫. (29): 40-41	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
楠井善久, 楠井陽子. 2006. 座間味島の4月初旬の蝶類. 琉球の昆虫. (26): 39-40	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	
楠井善久, 楠井陽子. 2006. 座間味島の蝶類. 琉球の昆虫. (28): 55-56	0	0	0	0	0	0	0	72	0	0	0	0	0	0	0	
楠井善久. 2009. クロマラクテソツシニジの蝶類. 琉球の昆虫. (33): 58	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
楠井善久. 2010. ナガシマヨガビシジの蝶類. 琉球の昆虫. (34): 60	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	
楠井善久. 2005. 伊平屋島で2月に目撲した蝶類. 琉球の昆虫. (26): 38	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	
楠井善久. 2005. 座間味島と外島地ににおける7月の蝶類. 琉球の昆虫. (27): 24	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	
楠井善久. 2005. 座間味島と屋嘉比島における7月下旬の蝶類の記録. 琉球の昆虫. (28): 41	0	0	0	0	0	0	0	22	0	0	0	0	0	0	0	
楠井善久. 1991. 浜比嘉島 戸地島の蝶類. 琉球の昆虫. (14): 21-22	0	0	0	0	0	0	0	27	0	0	0	0	0	0	0	
楠井善久. 2005. 浮原島、南浮原島の蝶の小記録. 琉球の昆虫. (26): 38	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	
日越国昭. 千木良芳範. 1988. 刈谷喜川上流における防風林帯の構造について. 沖縄生物研究会誌. (21): 58-69	0	0	0	0	0	239	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
日越国昭. 鳥島鶴. 1972. 西表島仲間川のサガリナ群落について. 沖縄生物研究会誌. (5): 36-44	0	0	0	0	0	393	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
日越国昭. 1968. 今帰仁村諸島の植生. 琉球大学生物系クラブ誌. 10: 41-47	0	0	0	0	0	304	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
日越国昭. 1988. 潮底島の植生の概要. 沖縄県立博物館総合調査報告書 V 潮底島: 7-22	0	0	0	0	0	645	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
日越国昭. 1989. 辺野古川上流における防風林帯の構造変化. 沖縄県立博物館紀要. 15: 23-35	0	0	0	0	0	239	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
日越国昭. 新城和治. 1987. 那覇市小金谷地名俗(上の毛)の植物. 沖縄県立博物館紀要. 13: 1-16	0	0	0	0	0	90	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
日越国昭. 新城和治・島袋正俊・天誠敏, 新城和治. 2014. 第2章 恩納村の植物. 恩納村誌 第1巻 自然編: 63-244	0	0	0	0	0	2,555	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
沖縄県天然記念物調査シリーZ第29集. 国頭郡天然記念物緊急調査 II: 12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
日越国昭. 新城和治・新納義鶴・宮城朝章・真志喜丈子. 1988. 「安波のタナガームイの植生群落」の記録. 沖縄県天然記念物調査リリース第30集. 国頭郡天然記念物緊急調査 I: 1-24	0	0	0	0	0	190	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
日越国昭. 鳥島鶴. 1998. 鳥島正俊, 天誠敏, 新城和治. 2014. 第2章 恩納村の植物. 恩納村誌 第1巻 自然編: 63-244	0	0	0	0	0	6,103	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
農林水産省. 田んぼの生きもの調査	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
波戸間満峰. 1998. 西表太平洋城より得られたウミヒキ科魚類ハクテンウミヒビ属(新称)の2種種(ナギ目). Bulletin of the Osaka Museum of Natural History. 52: 21-30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
波戸間満峰. 1996. 大阪市立自然史博物館所蔵生爬虫類模式標本目録. 大阪市立自然史博物館研究報告. 50: 17-43	0	0	0	5	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
梅垣佑介. 大西敏一. 2012. 沖縄島と那国島におけるチフチャフ <i>Phylloscopus collybita tristis</i> の南西諸島初記録と国内における冬期の記録. 日本鳥学会誌. 61: 151-155	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
白井和伸. 1999. 1997年10月. 久米島の蝶. 琉球の昆虫. (20): 32-33	0	0	0	0	0	0	0	35	0	0</						

表 4-5-1 (19). 生物分布情報に関する収集文献リスト

文献名	分類群別データ数													地域		
	哺 乳 類	鳥 類	両 生 類	爬 虫 類	淡 水 魚	植 物	チ ヨ ウ 類	ト ン ボ 類	淡 水 陸 生 貝 類	淡 水 甲 殻 類	海 水 魚	海 水 貝 類	海 藻 草 類	海 水 甲 殻 類	サン ゴ	
比嘉寿・新重季和. 2003. 名護市の植生と植物相. 名護市教育委員会文化財係(編), 名護市天然記念物調査シリーズ第5集名護市の自然, 名護市動植物総合調査報告書1988-2002: 49-139	0	0	0	0	0	883	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
比嘉正一・小浜雄雄, 砂川博秋. 2015. 宮古島・来間島9月の蝶類, 琉球の昆虫. (39): 156-159	0	0	0	0	0	0	109	0	0	0	0	0	0	0	0	○
比嘉正一・小浜雄雄, 長田勝. 2013. コナハチョウの記録(2012年). 琉球の昆虫. (37): 137	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	○
比嘉正一・野林千枝, 片野茂哉. 1998. 那霸市のトンボの記録(1996-1998年). 琉球の昆虫. (19): 33-37	0	0	0	0	0	0	0	155	0	0	0	0	0	0	0	○
比嘉正一・野林千枝, 片野茂哉. 2003. 那霸市の蝶類の記録(1996-1998年). 琉球の昆虫. (23): 50-64	0	0	0	0	0	0	0	2,067	0	0	0	0	0	0	0	○
比嘉正一. 2002. 2000年に沖縄島で記録した蝶. 琉球の昆虫. (21): 49-55	0	0	0	0	0	0	0	462	0	0	0	0	0	0	0	○
比嘉正一. 2008. 2007年秋のマーキング調査報告, 琉球の昆虫. (32): 52-56	0	0	0	0	0	0	0	67	0	0	0	0	0	0	0	○
比嘉正一. 2009. アサギタラマのマーキング調査(2008). 琉球の昆虫. (33): 95-96	0	0	0	0	0	0	0	25	0	0	0	0	0	0	0	○
比嘉正一. 2010. アサギタラママーキング調査(2009). 琉球の昆虫. (34): 103	0	0	0	0	0	0	0	22	0	0	0	0	0	0	0	○
比嘉正一. 2013. アサギタラママーキング調査報告(2012年). 琉球の昆虫. (37): 136	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	○
比嘉正一. 2014. アサギタラママーキング調査報告(2013年). 琉球の昆虫. (38): 33-42	0	0	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0	0	0	0	○
比嘉正一. 1991. カバタグラの幼虫を力で口に吸って見つけた. 琉球の昆虫. (14): 38-39	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	○
比嘉正一. 2008. クロマダラソテシジミの異常型. 琉球の昆虫. (32): 117	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	○
比嘉正一. 2017. シオカラトンボ. 中城公園での目撃メモ. 琉球の昆虫. (41): 162	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	○
比嘉正一. 2006. ピンクアゲハカラシロヨウ類3種が羽化. 琉球の昆虫. (29): 43	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	○
比嘉正一. 2013. ピタオウの記録(2012年). 琉球の昆虫. (37): 138	0	0	0	0	0	0	0	26	0	0	0	0	0	0	0	○
比嘉正一. 1988. 伊屋名島の採集報告(1987). 琉球の昆虫. (12): 65-67	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	○
比嘉正一. 2013. 沖縄の蝶類の記録(2012年). 琉球の昆虫. (37): 109-135	0	0	0	0	0	0	0	2,928	0	0	0	0	0	0	0	○
比嘉正一. 2014. 沖縄島の蝶類の記録(2013年). 琉球の昆虫. (38): 125-148	0	0	0	0	0	0	0	3,335	0	0	0	0	0	0	0	○
比嘉正一. 2012. 沖縄島の蝶類の記録(2011年). 琉球の昆虫. (36): 90-108	0	0	0	0	0	0	0	1,904	0	0	0	0	0	0	0	○
比嘉正一. 1988. 久高島の鳥類(1987). 琉球の昆虫. (12): 63-64	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	○
比嘉正一. 1988. 石垣島 竹富島冬の蝶類. 琉球の昆虫. (12): 71-73	0	0	0	0	0	0	0	43	0	0	0	0	0	0	0	○
比嘉正一. 2005. 蝶の幼虫の捕食者. 2つの記録. 琉球の昆虫. (27): 12	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	○
比嘉正一. 2003. 蝶類の記録(1997年・1998年). 琉球の昆虫. (22): 12-22	0	0	0	0	0	0	0	654	0	0	0	0	0	0	0	○
比嘉正一. 2003. 蝶類の記録(1999年). 琉球の昆虫. (22): 24-32	0	0	0	0	0	0	0	441	0	0	0	0	0	0	0	○
比嘉正一. 2004. 蝶類の記録(2001年-2002年). 琉球の昆虫. (24): 51-67	0	0	0	0	0	0	0	1,557	0	0	0	0	0	0	0	○
比嘉正一. 2004. 蝶類の記録(2003年). 琉球の昆虫. (25): 39-51	0	0	0	0	0	0	0	1,157	0	0	0	0	0	0	0	○
比嘉正一. 2005. 蝶類の記録(2004年). 琉球の昆虫. (26): 22-32	0	0	0	0	0	0	0	868	0	0	0	0	0	0	0	○
比嘉正一. 2006. 蝶類の記録(2005年). 琉球の昆虫. (28): 30-41	0	0	0	0	0	0	0	930	0	0	0	0	0	0	0	○
比嘉正一. 2007. 蝶類の記録(2006年). 琉球の昆虫. (31): 46-55	0	0	0	0	0	0	0	674	0	0	0	0	0	0	0	○
比嘉正一. 2008. 蝶類の記録(2007年). 琉球の昆虫. (32): 104-116	0	0	0	0	0	0	0	1,411	0	0	0	0	0	0	0	○
比嘉正一. 2009. 蝶類の記録(2008年). 琉球の昆虫. (33): 99-107	0	0	0	0	0	0	0	899	0	0	0	0	0	0	0	○
比嘉正一. 2010. 蝶類の記録(2009年). 琉球の昆虫. (34): 104-108	0	0	0	0	0	0	0	846	0	0	0	0	0	0	0	○
比嘉正一. 2011. 蝶類の記録(2010年). 琉球の昆虫. (35): 25-31	0	0	0	0	0	0	0	1,609	0	0	0	0	0	0	0	○
比嘉正一. 1997. 東南植物園圃内の蝶々 セミトンボ(1990-1992). 琉球の昆虫. (17): 31-37	0	0	0	0	0	0	0	300	64	0	0	0	0	0	0	○
比嘉正一. 1993. 東南植物園圃内の蝶々(1982-1983). 琉球の昆虫. (15): 60-72	0	0	0	0	0	0	0	1,372	0	0	0	0	0	0	0	○
比嘉正一. 岩永洋志, 岩橋浩輔, 山本広美, 香村眞徳. 2015. 国指定天然記念物「塩川」(スマー)における植物の生育状況. 沖縄生物学会誌. (53): 65-76	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	18	0	○	○
比嘉正一. 吉田伸, 沖縄幸男, 仲本興明, 慶田城健仁・又吉勇, 大城亀雄, 田城博正, 又吉哲二, 北橋良子, 知念守. 1989. 西詔辺及びその周辺地域における鳥類分布調査. 特殊鳥類等生息環境調査Ⅱ中間報告書: 123-182	0	598	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
比嘉昭昭. 慶田城健仁, 池間幸男, 大城亀雄, 田城博正, 吉田伸, 知念守. 1990. 照山島周辺におけるロードサイド及び定置調査による鳥類調査結果. 特殊鳥類等生息環境調査Ⅲ中間報告書: 123-141	0	266	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
比嘉昭昭. 地鶴幸男, 大城亀雄, 廣田城健仁・崇原二. 1988. 与那覇島及びその周辺地域におけるメッシュコードによる鳥類調査結果(中間報告). 特殊鳥類等生息環境調査Ⅲ中間報告書: 77-90	0	326	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
肥後伸夫. 1974. 潜水観察による人魚礁の実態について: 沖縄県 肥前半島周辺海域の場合. 鹿児島大学水産学部紀要. 23: 19-28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
尾崎聰明, 馬場季雄, 米田重玄, 金城道男, 渡久地巖, 原戸鉄郎. 2002. ヤンバルクイナの生息域の減少. <i>Journal of the Yamashina Institute for Ornithology</i> , 34: 136-144	0	165	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
富永義文. 2008. ヤクシマリシリジミ幼虫を石垣島でマリヤマカンコノキから採取. 琉球の昆虫. (32): 96	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	○
富永義文, 松井翠平, 岡 健一郎, 戸田 実, 今井秀行. 2016. 絶滅危惧種タナゴモドキ牛集団の高い遺伝的多様性と遺伝的同一性. 魚類学雑誌. 63: 27-32	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
武下博文. 1996. 日本におけるズイズミのグリーンのグループと配備者の獲得術. 魚類学雑誌. 41: 159-165	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
服部裕也. 1994. サンコ礁におけるズイズミのグループ移動と配備者の獲得術. 魚類学雑誌. 39: 35-123	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
福家家也. 2016. 魚類マリヨリウキウキヨウマガマの捕食例. <i>Akamata</i> . 26: 3-7	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
平岡 考. 1989. ブロマヤイコロウ <i>Pitta sordida</i> の日本初記録. <i>Journal of the Yamashina Institute for Ornithology</i> , 21: 283-285	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
平手和幸. 沖縄生物学会誌. (33): 61-63	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
平田義浩. 1968. 沖縄新アマゾン科について. 沖縄生物学会誌. 5(7): 35-36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
平田義浩. 1969. 佐敷町産種子植物. 佐敷町史編集委員会(編), 佐敷町史三自然: 93-196	0	0	0	0	0	0	3,382	0	0	0	0	0	0	0	0	○
平崎和太郎. 立原一憲. 2000. 沖縄島に生息する中型ヨシノボリ2種の卵内発生および仔稚魚の成長に伴う形態変化. 魚類学雑誌. 47(1): 29-41	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
平崎和太郎. 立原一憲. 2006. 沖縄島源流におけるヨシノボリ2種の分布と食性. 魚類学雑誌. 53(1): 71-76	0	0	0	0	0	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
片野茂樹. 1996. ツママリヤマカミの観察. 琉球の昆虫. (16): 4	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	○
片野茂樹. 1985. 石垣 バイバコで燃えた日々(1984年)クロタナリモドキ ミナミコモンダラ コモンダラを採集. 琉球の昆虫. (10): 56-57	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	○
豊見山元. 1987. 摂羅保治. 比嘉正一. 1987. ハブによるヤンバルクイナの捕食. 沖縄生物学会誌. (25): 57-58	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
豊見山元. 1990. 忽那岳と周辺地域のシダ植物. 沖縄生物教育研究会誌. 19: 31-33	0	0	0	0	0	0	221	0	0	0	0	0	0	0	0	○
豊見山元. 1995. 久米島のシダ植物. 久米島総合調査報告書 自然・歴史・民俗・考古・美術工芸・建築 1994年: 12-25	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	○
豊見山元. 1998. 波照間島のシダ植物相. 波照間島総合調査報告書 自然・歴史・民俗・考古・美術工芸 1998年: 25-31	0	0	0	0	0	73	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
豊見山元. 1987. 琉球列島植物分布資料 4. 沖縄生物学会誌. (25): 59-61	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
北浦純. 和田惠次. 2005. オオナガト類(スナガニ上科)における捕食・食肉行動. 沖縄生物学会誌. (43): 71-73	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	○
北浦純. 和田惠次. 1999. 沖縄本島中城湾から本邦初記録されたミナミオガニ(新称) <i>Macrophthalmus brevis</i> . 沖縄生物学会誌. (37): 57-60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	○
北村泰明. 関徹. 安谷昇. 2009. 地域の生物を生かした環境教育の実践 ～宮古島吹田川の水生生物相(主に甲殻類・魚類・大型水生昆蟲)を通して～. 沖生教研会誌. 41: 23-31	0	0	0	0	13	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○</

表 4-5-1 (20). 生物分布情報に関する収集文献リスト

文献名	分類群別データ数												地域				
	哺乳類	鳥類	両生類	爬虫類	淡水魚	植物	チヨウワ類	トンボ類	淡水陸生貝類	淡水甲殻類	海水魚類	海水貝類	海藻草類	海水甲殻類	サンゴ	本島	八重山
又吉盛健, 大城信弘, 喜友名季子, 千川裕, 三井興治, 熊谷英子. 1977. 沖縄島におけるイボイモリの分布について. 沖縄博物学会誌. (15): 1-4	0	0	49	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○
名護. 1967年. と那国島の陸産貝類相. 貝類学雑誌. 35(4): 163-183	0	0	0	0	0	0	0	0	55	0	0	5	0	0	0	○	○
名護市教育委員会. 2009. 薩摩宇岳～嘉瀬宇岳・安岳と周辺の自然～名護市動植物総合調査報告書2005-2008. 名護市天然記念物調査シリーズ. 第7集: 1-208	0	138	134	105	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○
名護市教育委員会. 2006. 名護市天然記念物調査シリーズ 第6集 名護岳: 1-214	0	49	53	2	0	0	32	14	0	0	0	0	0	0	0	○	○
名護市教育委員会. 1999. 名護市天然記念物調査報告書. 名護市動植物総合調査報告. 名護市の淡水魚類: 1-119	0	0	0	0	801	0	0	0	0	0	506	0	0	0	0	○	○
名護市教育委員会社会教育課文化財係. 2003. 名護の自然・第2集: 229p	0	0	12	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○
名護アンバガイトプロジェクト製作委員会. 2013. 第3章アンバガイトの生き物たち. 名護アンバガイトブック: 18-92	0	166	6	6	0	38	0	4	0	14	0	27	0	34	0	○	○
名波 敦, 西平 守. 2007. 沖縄海岸地形図におけるサゴノ礁の魚類相. 沖縄博物学会誌. (45): 15-26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44	0	0	0	0	○	○
名和祐. 2000. 沖縄県における干潟と低湿地の貝類の現状. 特殊鳥類等生態環境調査XI(改訂版) 湿地(水辺環境)編総括 -沖縄県内の水辺環境に生息する生物種の概要: 103-129	0	0	0	0	0	0	0	0	17	0	0	47	0	0	0	○	○
明仁親王, 自黒 勝介. 1982-1983. 沖縄県石垣島で採集された日本初記録のハコモハゼ(新称) <i>Mnersina macrostoma</i> . 魚類学雑誌. 24: 295-299	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	○	○
明仁親王, 自黒 勝介. 1979. <i>Sicydium</i> 属と <i>Sicyopterus</i> 属の相違について. 魚類学雑誌. 26(2): 192-202	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○
明仁親王, 自黒勝介. 1975. ナマハゼについて. 魚類学雑誌. 22(2): 112-116	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	○	○
明仁親王, 自黒勝介. 1975. ヒボンハゼの学名について. 魚類学雑誌. 22(1): 49-52	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	○	○
明仁親王, 自黒勝介. 1974. ホコマダラハゼ(新称) <i>Ophicam Poropechala</i> とタメトモハゼ <i>Ophieleotris aporos</i> について. 魚類学雑誌. 21(2): 72-84	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	○	○
明仁親王, 自黒勝介. 1975. 沖縄県産のスナゴハゼ(新称) <i>Pseudogobius javanicus</i> について. 魚類学雑誌. 22(1): 46-48	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	○	○
明仁親王, 自黒勝介. 1975. 沖縄県産のハスジマハゼ(新称) <i>Cryptocentroides insignis</i> について. 魚類学雑誌. 21(4): 231-232	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	○	○
明仁親王, 自黒勝介. 1977. 沖縄県石垣島で採集された日本初記録のウヂハゼ(新称) <i>Mangarinus waerousi</i> . 魚類学雑誌. 24(3): 223-226	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	○	○
明仁親王, 自黒勝介. 1975. 西表島で採れたイワハゼ(新称) <i>Glossogobius celebius</i> について. 魚類学雑誌. 21(4): 227-230	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○
明仁親王, 自黒勝介. 1977. 日本で採集されたオキナワハゼ属5種及びその類縁関係. 魚類学雑誌. 24(2): 113-127	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	○	○
明仁親王, 自黒勝介. 1980. 日本で採集されたクモハゼ属 <i>Bathygobius</i> 6種について. 魚類学雑誌. 27(3): 215-236	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0	○	○
明仁親王. 1963. 八セ科魚類の肩胛骨について. 魚類学雑誌. 11(1/2): 1-26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	○	○
明仁親王. 1971. 八セ科魚類の上顎歯について. 魚類学雑誌. 18(2): 57-64	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	○	○
明仁親王, 自黒勝介. 1975. 沖縄県産のスナゴハゼ(新称) <i>Pseudogobius javanicus</i> について. 魚類学雑誌. 22(1): 46-48	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	○	○
明仁親王, 自黒勝介. 1975. 沖縄県産のハスジマハゼ(新称) <i>Cryptocentroides insignis</i> について. 魚類学雑誌. 21(4): 231-232	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	○	○
明仁親王, 自黒勝介. 1977. 沖縄県石垣島で採集された日本初記録のウヂハゼ(新称) <i>Mangarinus waerousi</i> . 魚類学雑誌. 24(3): 223-226	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	○	○
明仁親王, 自黒勝介. 1975. 西表島で採れたイワハゼ(新称) <i>Glossogobius celebius</i> について. 魚類学雑誌. 21(4): 227-230	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○
明仁親王, 自黒勝介. 1977. 日本で採集されたオキナワハゼ属5種及びその類縁関係. 魚類学雑誌. 24(2): 113-127	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	○	○
明仁親王, 1967. 奄美群島の爬虫類の肩胛骨について. 魚類学雑誌. 14(4/6): 135-166	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○
茂谷良見, 岩崎清明. 1999. 標識調査で確認された日本新記録の辰螺(1). 日本鳥類攝識協会誌. 14(1): 1-9	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○
木寺法子, 下瀬環. 新基島. 2016. 石垣島で観察された鳥類2種とヘビ類1種によるキシノワエトガケ <i>Plestiodon kishinouyei</i> (有島) :トカラの科)の捕食. 沖縄生物学会誌. (54): 27-31	0	2	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○
木村正明. 1959. 奄美群島の爬虫類. 両棲類(四). 熊本大学教育学部紀要. 7: 187-202	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○
木村正明. 杉本雅志. 稲田悟司. 1999. 那覇市黄金色の昆虫. 1996～97年の記録. 琉球の昆虫. (20): 40-50	0	0	0	0	0	0	0	66	23	0	0	0	0	0	0	○	○
木村正明. 杉本雅志. 稲田悟司. 1999. 那覇市職員の昆虫. 1996～97年の記録. 琉球の昆虫. (20): 34-39	0	0	0	0	0	0	0	0	12	8	0	0	0	0	0	○	○
木村正明. 杉本雅志. 稲田悟司. 1998. 那覇市未来公園の昆虫. 1996～97年の記録. 琉球の昆虫. (19): 24-33	0	0	0	0	0	0	0	0	101	18	0	0	0	0	0	○	○
木村正明. 杉本雅志. 稲田悟司. 1996. キヨウツクカラシマムラサキマダラの発見. 琉球の昆虫. (16): 20-34	0	0	0	0	0	0	0	0	158	28	0	0	0	0	0	○	○
木村正明. 杉本雅志. 稲田悟司. 1993. 1964～1994年久米島で確認した蝶類の記録. 琉球の昆虫. (16): 17-20	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	○	○
木村正明. 1997. 1995年6月～尖閣諸島の昆虫(2). 琉球の昆虫. (17): 38	0	0	0	0	0	0	0	0	48	0	0	0	0	0	0	○	○
木村正明. 2000. 2003年カワラミコロコロの記録. 琉球の昆虫. (24): 70	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	○	○
木村正明. 2003. 2003年5月～6月沖縄島におけるアサギマダラ・マーキングデータ. 琉球の昆虫. (23): 83	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	○	○
木村正明. 1998. ハメトメムラサキの記録. 琉球の昆虫. (18): 39	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	○	○
木村正明. 2003. 潘浦アリ公園で確認した蝶類の記録. 琉球の昆虫. (22): 38-53	0	0	0	0	0	0	0	0	818	0	0	0	0	0	0	○	○
木村正明. 1998. 沖縄島、大宜味村と宜野湾市におけるハニモアグアの記録. 琉球の昆虫. (19): 43	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	○	○
木村正明. 1999. 沖縄島中部(名護市より南)のタフオマコロコロの記録. 琉球の昆虫. (20): 55	0	0	0	0	0	0	0	0	41	0	0	0	0	0	0	0	○
木浦志, 佐藤哲也. 岩槻幸一. 吉野野夫. 1999. 石垣島で採集された日本初記録のカタクチイシワカ類魚類 <i>Stolephorus commersonii</i> . 魚類学雑誌. 46(1): 45-50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	○	○
野村惠一. 2000. 日本アカマタラップコロコロの宿主と色彩異変. 沖縄生物学会誌. (38): 59-64	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○
野藤 佐藤治雄. 1963. 鳥類の生態. 大阪市立大学八重山群島学術調査隊(編). 八重山群島学術調査報告	0	0	0	0	0	0	34	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○
野藤千枝. 渡辺満. 1983. 短報2種. 琉球の昆虫. (12): 26	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	○	○
野藤千枝. 1996. 1990～94年沖縄島及び周辺離島の蝶の記録. 琉球の昆虫. (16): 21-37	0	0	0	0	0	0	0	0	289	0	0	0	0	0	0	○	○
野藤千枝. 1998. 1995～96年沖縄島及び周辺離島の蝶の記録. 琉球の昆虫. (18): 1-18	0	0	0	0	0	0	0	0	343	0	0	0	0	0	0	○	○
野藤千枝. 1996. 1995年のカワラミコロコロの記録. 琉球の昆虫. (16): 8	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	○	○
野藤千枝. 2002. 1997年沖縄島の蝶の記録. 琉球の昆虫. (21): 34-39	0	0	0	0	0	0	0	0	1,195	0	0	0	0	0	0	○	○
野藤千枝. 2002. 1998年沖縄島の蝶の記録. 琉球の昆虫. (21): 40-48	0	0	0	0	0	0	0	0	2,471	0	0	0	0	0	0	○	○
野藤千枝. 2003. 2000～2001年沖縄島及周辺離島の蝶の記録. 琉球の昆虫. (23): 65-79	0	0	0	0	0	0	0	0	2,335	0	0	0	0	0	0	○	○
野藤千枝. 2004. 2002年沖縄島及周辺離島の蝶の記録. 琉球の昆虫. (24): 42-50	0	0	0	0	0	0	0	0	1,641	0	0	0	0	0	0	○	○
野藤千枝. 2004. 2003年沖縄島及び周辺離島の蝶の記録. 琉球の昆虫. (25): 29-38	0	0	0	0	0	0	0	0	2,685	0	0	0	0	0	0	○	○
野藤千枝. 2004. 2003年沖縄島及び周辺離島の蝶の記録. 琉球の昆虫. (24): 68-69	0	0	0	0	0	0	0	0	29	0	0	0	0	0	0	○	○
野藤千枝. 2005. 2004年沖縄島の蝶の記録. 琉球の昆虫. (26): 14-21	0	0	0	0	0	0	0	0	2,114	0	0	0	0	0	0	○	○
野藤千枝. 2005. 2006年沖縄島の蝶の記録. 琉球の昆虫. (28): 42-45	0	0	0	0	0	0	0	0	707	0	0	0	0	0	0	○	○
野藤千枝. 2006. 2005年秋のアサギマダラ・マーキングの記録. 琉球の昆虫. (28): 1-8	0	0	0	0	0	0	0	0	80	0	0	0	0	0	0	○	○
野藤千枝. 2007. 2006年・2007年沖縄島及び周辺離島の蝶の記録. 琉球の昆虫. (31): 34-43	0	0	0	0	0	0	0	0	1,578	0	0	0	0	0	0	○	○
野藤千枝. 2007. 2006年・2007年秋のアサギマダラ・マーキングの記録. 琉球の昆虫. (33): 25-33	0	0	0	0	0	0	0	0	63	0	0	0	0	0	0	○	○
野藤千枝. 2007. 2006年・2007年春のアサギマダラ・マーキングの記録. 琉球の昆虫. (31): 23-24	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	○	○
野藤千枝. 2009. 2007・2008年カワラミシミの記録. 琉球の昆虫. (33): 67-74	0	0	0	0	0	0	0	0	78	0	0	0	0	0	0	○	○
野藤千枝. 2008. 2007年アサギマダラ・マーキングの記録. 琉球の昆虫. (32): 45-51	0	0	0	0	0	0	0	0	28	0	0	0	0	0	0	○	○
野藤千枝. 2008. 2007年沖縄島及び周辺離島の蝶の記録. 琉球の昆虫. (32): 57-59	0	0	0	0	0	0	0	0	1,761	0	0	0	0	0	0	○	○
野藤千枝. 2009. 2008年沖縄島及び周辺離島の蝶の記録. 琉球の昆虫. (33): 74-87	0	0	0	0	0	0	0	0	1,604	0	0	0	0	0	0	○	○
野藤千枝. 2010. 2009年沖縄島のアサギマダラ・マーキングと蝶の発育について気温にしてみた. 琉球の昆虫. (34): 71-83	0	0	0	0	0	0	0	0	1,227	0	0	0	0	0	0	○	○
野藤千枝. 2010. 2010年沖縄島の蝶の記録. 琉球の昆虫. (35): 5-14	0	0	0	0	0	0	0	0	1,220	1	0	0	0	0	0	○	○
野藤千枝. 2012. 2011年・沖縄島および周辺離島の蝶の記録. 琉球の昆虫. (36): 1																	

表 4-5-1 (21). 生物分布情報に関する収集文献リスト

文献名	分類群別データ数														地域	
	哺 乳 類	鳥 類	両 生 類	爬 虫 類	淡 水 魚	植 物	チ ヨ ウ 類	ト ン ボ 類	淡 水 陸 生 貝 類	淡 水 甲 殻 類	海 水 魚	海 水 貝 類	海 水 甲 殻 類	サン ゴ		
野林千枝, 1996. 沖縄島でワスコシマラを採集. 瑞穂の昆虫. (16): 7	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0
野林千枝, 1996. 沖縄島でタイワンオバセリを採集. 瑞穂の昆虫. (16): 7	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
野林千枝, 1985. 沖縄島で採集した迷蝶3種. 瑞穂の昆虫. (10): 124	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
野林千枝, 1993. 沖縄島の迷蝶3種. 瑞穂の昆虫. (15): 29-30	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
野林千枝, 2002. 沖縄島南部のフタオチヨウの記録. 瑞穂の昆虫. (21): 22	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
野林千枝, 2006. 嘉数高台公園に掛けたトラップで記録した昆虫類. 瑞穂の昆虫. (30): 38-39	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
野林千枝, 1987. 誌に関する短報4種. 瑞穂の昆虫. (11): 49	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
矢部隆蔵, 服田昌之, 1996. 慶良間列島阿嘉島に孵化したミナミイシカゲについて. みどりいし. (7): 25-27	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
矢野晴隆, 上田恵介, 2005. リュウキュウアカショウビンによる発泡スチロール製人工巣巣の利用. 日本鳥学会誌. 54: 49-52	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
柳井和彦, 田中直美, 士屋誠, 1987. 沖縄県糸須海岸におけるオカヤドカリ類の貝殻資源と行動. 沖縄生物学会誌. (25): 43-52	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0
友利博一, 脇原健次, 2009. 宮古諸島の礁域におけるサンゴ礁モニタリング. 宮古島市総合博物館紀要. (13): 77-86	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0
有限会社社海游, 2011. 平成22年度西表石垣国立公園海城公園地区モニタリング業務報告書: 170p	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	330	40	64	2	418	0
有限会社社海游, 2012. 平成23年度西表石垣国立公園海城公園地区モニタリング業務報告書: 121p	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	554	15	107	0	248	0
与那原正勝, 2014. ホトトギスをリモテセンシング供食. 瑞穂の昆虫. (45): 65-66	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
与那原正勝, 1993. 南洋東島で採集したチヨウトントボ(1992年). 瑞穂の昆虫. (15): 26	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
与那城義春, 1998. キジトトノアラの繁殖. 沖縄県立博物館紀要. 24: 69-74	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
与那城義春, 1999. メシヨリの繁殖. 沖縄県立博物館紀要. 25: 69-74	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
与那城義春, 2000. メシヨリの繁殖. 沖縄県立博物館紀要. 26: 21-26	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
与那城義春, 2004. 西原町の哺乳類・鳥類. 西原町史付属刊行物 西原町の自然 ~動物・人と自然の関わり~: 3-18	10	204	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
与那城義春, 2007. 第2章 残された自然 沖縄市の鳥類. 沖縄市史 第4巻 自然・地理・考古編 自然編: 91-100	0	71	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
与那城義春, 1998. 波照間島岩礁調査報告書: 87-93	0	90	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
与那城義春, 1971. リュウキュウコヨドリの活動時間と食性. 沖縄鳥類学研究会報. 7(9): 38-40	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
葉田敬子, 2011. オキナワイシカエリ <i>Odorana ishikawai</i> の体色変異個体. 爬虫両棲類学報. 2: 98-99	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
葉田敬子, 2013. ムカヒコワカエリ <i>Odorana ishikawai</i> の捕食時間と食性. 沖縄鳥類学研究会報. 29: 99-100	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
立原一憲, 中尾耕平, 徳永桂史, 津波古俊子, 高田未来美, 下瀬環, 2003. 沖縄島, 宮古島, 石垣島および西表島のマングローブ水域における魚類相. Bulletin of the Society of Sea Water Science, Japan. 57: 481-490	0	0	0	0	0	47	0	0	0	0	258	0	0	0	0	0
立原一憲, 中尾耕平, 徳永桂史, 津波古俊子, 2002. マングローブ水域の魚類相 沖縄島慶次川のマングローブ水域に出現する魚類相. 平成13年度内閣府沖縄研究マングローブに関する調査研究報告書: 37-71	0	0	0	0	114	0	0	0	0	0	555	0	0	0	0	0
立原一憲, 瑞穂列島の中型ヨシノボリ鰐2種: 島嶼の河川で進化してきたヨシノボリ鰐の保全と将来. 魚類学雑誌. 56(1): 70-74	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
立松沙織, 南條純子, 河野裕美, 2013. マングローブ域における獲獲造成が魚類群集構造に与える影響. 沖縄生物学会誌. (51): 27-40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	68	0	0	0	0	0
立石庸一, 宮原直樹, 藤田悟寿, 2011. 沖縄県の離島・へき地における自然教育のための基礎資料の充実(4)本部町水納島の植物相と注目すべき植物. 琉球大学教育学部紀要. 78: 139-156	0	0	0	0	0	344	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
琉球新報, 2012. 芭蕉付着で死滅 潮底島近海のコモンサンゴ. 琉球新報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
琉球政府文化財保護委員会, 1960. 文化財要観1960年版	0	0	0	0	0	0	337	0	0	0	0	0	0	0	0	0
琉球大学, 2006-2008. イリオモテヤマネコ 生息状況等総合調査(第4次)報告書: 178	0	0	0	0	0	0	388	0	0	0	0	0	0	0	0	0
琉球大学, 2014. 西表・石垣沿岸の水深30~55mより発見された大規模な中深度サンゴ群集. プレス発表資料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
琉球列島鳥類研究会, 環境省沖縄奄美地区自然保護事務所, 2004. 平成15年度大東諸島環境情報収集調査報告書: 69p	51	120	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南木健太, 南條純子, 福岡雅史, 河野裕美, 2012. 西表島内川のマングローブ域に生息するキワミニカ <i>Terebraria palustris</i> の産卵生態. 琉球生物学会誌. (50): 17-30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
綿地研究会, 1974. 社寺林の研究. 森林: 222p	0	0	0	0	0	825	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
林公義, Randall J.E., 1989-1990. 西表太平洋テングクダイ科の1新種 <i>Apogon selas</i> , 魚類学雑誌. 36: 399-403	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
林公義, 1980-1981. 石垣島より得られた日本初記録のテングクダイ科魚類3種. 魚類学雑誌. 27: 261-267	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0
林原義, 1996. 阿嘉島の海水域に生息する甲殻類と魚類. みどりいし. (7): 28-30	0	0	0	0	7	0	0	0	0	13	0	0	0	4	0	0
林野庁, 球林生態系多様性基礎調査	0	0	0	0	0	1,862	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
嶋井久勝, 1966. 琉球列島のオカガニ類. 沖縄生物学会誌. 3(5): 8-10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0
鈴木寿之, 菊屋賀与, 烏居惠親, 桑原崇, 田中百合子, 田牛博, 前湯光弘, 桜谷保之, 2011. 沖縄県八重山諸島で記録された鳥類.	0	135	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鈴木寿之, 菊屋賀与, 岩谷英輔, 細川正富, 吉野英輔, 1995. 西表島で採集された日本初記録のエリトゲハゼ(新称). I.O.P.DIVING NEWS. 6(2): 4-6	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鈴木寿之, 濑能宏, 世古徹, 2011. 沖縄島で採集された日本初記録のサオトメハゼ(新称)(スズキ目ハゼ科). 神奈川県立博物館研究報告 自然科学. 40: 61-66	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0
鈴木寿之, 濑能宏, 矢野雄緒, 米沢俊彦, 大迫尚晴, 2009. 琉球列島で採集された日本初記録のハゼ科魚類4種. 大阪市立自然史博物館研究報告. 63: 1-10	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0
鈴木寿之, 大迫尚晴, 濑能宏, 2008. 日本初記録のハゼ科魚類カブハゼ(新称). 日本生物地理学会報. 63: 81-86	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0
鈴木寿之, 2004. 西表島内川の魚類とその種群の危機. 理科通信サイエンスネット. 2: 8-11	0	0	0	0	15	0	0	0	0	23	0	0	0	0	0	0
鈴木寿之, 1999. 沖縄島南部地域におけるシロカシラ <i>Pycnonotus sinensis</i> の個体数と季節変動. 九州病害虫研究会報. 45: 80-83	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
船田悟寿, 与屋(仲本)慶子, 宋間和泉, 傳田哲郎, 立石庸一, 2005. 琉球列島のモタマ類. 分類. 5(1): 9-19	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
國島大河・西丸裕敏・立石庸一, 2014. 沖縄島佐敷干潟におけるスナゴハゼ <i>Pseudogobius javanicus</i> とマサゴハゼ <i>P. masago</i> の生息環境. 魚類学雑誌. 60: 59-68	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
澤田勇, 1994. 日本のコモリ洞巣観. 自然誌研究雑誌. (2,3): 53-80	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
澤田勇, 2002. 日本産コモリの寄生虫類紹介. 奈良農業大学「産業と経済」. 17(5): 81-85	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
澤崎安喜, 2000. 宜野湾市の植物相. 宜野湾市教育委員会文化課(編). 宜野湾市史第9巻資料編8自然: 255-324	0	0	0	0	0	1,839	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
龍島恵介, 2011. 沖縄本島における <i>Ipomoea</i> 属 2 種の花に対するメシヨリの盗蜜行動. Bird Research. 7: S1-S4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
龍島恵介, 2012. 沖縄本島におけるメシヨリによるハイビスカス花への盗蜜率の周年変化. Bird Research. 8: S5-S9	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
與那嶺盛次, 1980. オトビエビの繁殖生態. 生物学雑誌. (18): 39-43	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
與那名里美, 当山昌也, 安川雄一郎, 陳嘉隆, 高橋健, 久貝勝盛, 1998. 宮古島における陸棲爬虫生類の分布について. 平良市総合博物館紀要. (5): 23-38	0	0	131	283	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(3) 生物文化に関する参考文献等

第2章－2で解析手法を示した生物文化について、情報源を表4-5-2に示す。合計605冊の字誌、市町村誌、専門書について調査を実施した。

表 4-5-2 (1). 生物文化に関する収集文献リスト

No	関係市町村	文献名称	著者名	発行年月	生物文化記載有無
1	国頭村	赤丸岬の栄え桃原区制百年誌	桃原区桃原字誌編集委員会[編]	2011.3	○
2		字奥の事績	奥有志会	1918	○
3		字誌 奥のあゆみ	字誌奥のあゆみ刊行会	1986	○
4		字誌 辺野喜	辺野喜誌編集委員会	1998	○
5		あしみなの里 伊地	字伊地編集委員会編集	2010.3	○
6		安田のシヌグ考	宮城定盛	1976	
7		あらは 安田史誌	安田字誌編さん委員会	2014	○
8		あらは 創立 30 周年記念誌	多和田真利	1984.12	○
9		宇嘉に生きる 山は緑に水清く	宮城幸三郎著	1989.2	○
10		沖縄島奥動植物方言生物知識	当山昌直	2016	○
11		沖縄島国頭村奥の動植物方名とその利用	当山昌直・盛口満・島田隆久・宮城邦昌	2016	○
12		沖縄島国頭村辺野喜の動植物方名とその利用	当山昌直	印刷中	○
13		沖縄民俗第 24 号 多良間村仲筋、国頭村安田報告	琉球大学民俗研究クラブ	1986	○
14		沖縄民俗第 4 号 シヌグまつり調査、田名部落調査、楚洲部落調査報告	琉球大学民俗研究クラブ	1961	○
15		沖縄民俗第 9 号 中山・奥部落調査報告	名嘉真宜勝(責任)	1965	○
16		国頭村奥区の赤瓦屋根・木造家屋の建築木材	新里孝和、木下義宣	2012	
17		奥の歩み	浦崎直次	1998	
18		鏡地区創立 70 周年記念誌	玉城安秀	2007.2	○
19		かにまんー在那霸奥間郷友会結成三十周年記念誌	山川勇	1982	○
20		聞き書き・島の生活誌①野山がコンビニ 沖縄島のくらし	安渢遊地・安渢貴子・当山昌直・渡久地健	2009.2	○
21		聞き書き・島の生活誌④海と山の恵み 沖縄島のくらし 2	当山昌直・安渢遊地・安渢貴子・渡久地健・早石周平	2010.2	○
22		宜名真郷友会三十周年記念誌	宜名真郷友会 30 周年記念事業実行委員会編集部編	1995.7	○
23		[国頭村字浜郷友会]創立 50 周年記念誌	国浜郷友会創立 50 周年記念事業実行委員会[編]	2002.1	○
24		[国頭村字半地]創立 50 周年記念誌	知花直子	1996.3	○
25		国頭村安田の歴史とシヌグ祭り	宮城鉄行	1993	
26		国頭村奥の植物方言	新里孝和、木下義宣	2012	○
27		国頭村の森林と林業の歴史を語る	仲間勇栄	2010.12	○
28		口碑・伝説・寄稿文 沖縄・国頭村・辺土名	宮城克松編	2009.3	
29		在那霸奥郷友会創立 40 周年記念誌 奥郷友会会誌	在那霸奥郷友会	1991.12	
30		写真集 奥の肖像	坂井和夫	1998	
31		人生八十年の歩みー私のこと奥のこと	宮城親昌	1984	○
32		清流に育まれてー奥間川流域生活文化遺跡調査報告書	与儀文夫・チヨ子	2000	○
33		[那霸在住桃原郷友会(国頭村)]創立 30 周年記念誌	那霸在住桃原郷友会編	1982.5	
34		南米比地移民誌	在那霸比地郷友会・大城吉義編集	1980	
35		[辺土名郷友会]会誌 創刊号	知念敬清編 多和田真修編 辺土名郷友会[編]	1977.9	
36		辺土名誌 下巻	辺土名誌編集委員会編集	2007.7	○
37		辺土名誌 上巻	辺土名誌編集委員会編集	2007.7	○
38		ぼうまくー佐手郷友会結成 30 周年記念誌	佐手郷友会	1988	
39		やんばる風俗図絵	神山清政	1984	○
40		やんばる古里風俗図絵	神山清政	2000.7	○
42	東村	字川田誌 2巻	字誌編集委員会 編集	2003.3	○
43		沖縄の祭礼-東村民俗誌	渡邊欣雄	1987	○

表 4-5-2 (2). 生物文化に関する収集文献リスト

No	関係市町村	文献名称	著者名	発行年月	生物文化記載有無
44	東村	沖縄民俗第6号 東村平良区探訪報告	琉球大学民俗研究クラブ	1963	○
45		沖縄民俗第7号 直江広治先生民俗学開講記念号	琉球大学民俗研究クラブ	1963	○
46		川田誌 第1巻	[川田誌]編集委員会編	2004.12	○
47		東村史	東村史編集委員会	1987	○
41		Taira:An Okinawan Village (平良-沖縄の村)	Thomas Maretzki /Hatsumi Maretzki	1966	
42		字川田誌 2巻	字誌編集委員会 編集	2003.3	○
43		沖縄の祭礼-東村民俗誌	渡邊欣雄	1987	○
44		沖縄民俗第6号 東村平良区探訪報告	琉球大学民俗研究クラブ	1963	○
45		沖縄民俗第7号 直江広治先生民俗学開講記念号	琉球大学民俗研究クラブ	1963	○
46		川田誌 第1巻	[川田誌]編集委員会編	2004.12	○
47		東村史	東村史編集委員会	1987	○
41		Taira:An Okinawan Village (平良-沖縄の村)	Thomas Maretzki /Hatsumi Maretzki	1966	
48	大宜味村	大宜味字誌 鎮守の里	宮城長信著	2012	○
49		大宜味一心会総会 昭和61年度 郷友の心はひとつ	大宜味一心会[編]	1986.6	
50		大宜味村謝名城郷友会 30周年記念誌	謝名城郷友会	1982	○
51		大宜味村上原区制八十周年・天作賀会設立五十周年「ふるさとティサガ」記念誌	大宜味村字上原・天作賀会編	1997.7	○
52		大宜味村饒波誌	金城幸雄	2005.1	○
53		大宜味村史「民俗編」	大宜味村史編纂委員会	2018.3	○
54		大宜味村謝名城の民俗	新城真恵	1985	○
55		[大宜味村]大保誌 大保川の流れとともに	大宜味村大保区字誌編纂委員会編集	2006.1	○
56		大宜味村史 通史	大宜味村史編集委員会	1979	○
57		大宜味大工一代記	金城賢勇	1988	○
58		大宜味のむかし話	福地曠昭	1980	○
59		大宜味やんばるの生活風景-根路銘村落の習俗と子供の遊び	外間治男	1985	○
60		喜如嘉	賀川光夫	1965	○
61		喜如嘉誌	喜如嘉誌編集委員会	1996	○
62		喜如嘉の写真集写真で見る喜如嘉のあゆみ	喜如嘉誌編集委員会編	1995.12	
63		喜如嘉の葬制と墓制	福地曠昭	1978	○
64		喜如嘉の芭蕉布-喜如嘉の芭蕉布保存会テキスト	喜如嘉の芭蕉布保存会	1984	
65		喜如嘉の古い童謡と民謡-レコード解説	山城善光	1976	
66		喜如嘉の民俗	平良豊勝	1970	○
67		塩屋・ウンガミ-沖縄県大宜味村塩屋ウンガミの記録	平良孝七・撮影／塩屋ウンガミ刊行委員会	1986	
68		塩屋誌	塩屋誌編集委員会	2003.5	
69		塩屋誌 第一集	[塩屋誌編集委員会]	1999.11	○
70		塩屋橋物語-心の遺産	塩屋橋物語編集委員会	2000	
71		写真集・喜如嘉	喜如嘉誌編集委員会	1995	
72		生活分類上から見た津波のシマ言葉 初版	前田勇善著	2004.1	
73		戦前における喜如嘉の農業	宮城剛信	1995	○
74		創立三十周年記念誌	大宜味村老人クラブ連合会 記念誌編集委員会	1994	
75		根路銘誌	根路銘区	1985	○
76		火の葬送曲-続・やんばるの火	山城善光	1978	○
77		ふあるやま-イギミの里・地名考	福地曠昭	1983	○
78		ブナガヤ-実在証言集	山城善光	1982	○
79		村と戦争 喜如嘉の昭和史	福地曠昭著	1975.12	
80		やんばる女一代記-宮里悦自伝	宮里悦	1987	○
81		大兼久誌	大兼久誌編集委員会	1991	○
82		大兼久 20周年記念誌	那覇近郊在住大兼久会	1975	

表 4-5-2 (3). 生物文化に関する収集文献リスト

No	関係市町村	文献名称	著者名	発行年月	生物文化記載有無
83	大宜味村	大兼久-発足 10周年記念誌	那霸近郊在住大兼久会	1965	○
84		大正十一年五月以降議事録 田嘉里青年会	田嘉里青年会	1922	○
85		津波誌	津波誌編集委員会	2004	○
86		芭蕉布の里の歴史とくらし	北部農業改良普及所大宜味支所	1982	○
87		民具の家	平良景昭	1973	○
88		伊是名村勢理客誌	諸見武彦	1999	○
89	今帰仁村	今泊誌	今泊誌編集委員会	1994	○
90		沖縄民俗第2号	琉球大学民俗研究クラブ	1960	○
91		北山史話	新城徳祐	1957	○
92		県立博物館総合調査報告書VIII-古宇利島	沖縄県立博物館	1991	
93		古宇利誌	古宇利誌編集委員会	2006	○
94		崎山誌	崎山誌編集委員会	1989	○
95		しちやま-沖縄県朝日農業賞受賞記念誌	沖縄県北部農業改良普及所	1985	
96		じやな誌	じやな誌編集委員会	1987	
97		渡喜仁誌	今帰仁村渡喜仁	2007	○
98		渡喜仁浜原貝塚調査報告書・I	今帰仁村教育委員会	1977	
99		特集 今帰仁城跡	今帰仁村教育委員会	1982	○
100		仲尾次誌	仲尾次誌編集委員会	1993	○
101		仲宗根誌	仲宗根誌編集委員会	1996	○
102		今帰仁研究 15号(2007)	今帰仁村教育委員会	2007	○
103		なきじん研究 2-「すくみち」(第1号~16号)	今帰仁村歴史資料館準備室	1992	○
104		なきじん研究 3-今帰仁の歴史	今帰仁村歴史文化センター準備室	1993	○
105		なきじん研究 4-すくみち(第17号~25号)	今帰仁村歴史文化センター準備室	1994	○
106		なきじん研究 6-すくみち(第26号~29号)	今帰仁村歴史文化センター	1996	○
107		なきじん研究 8-すくみち(第30号~32号)	今帰仁村歴史文化センター	1998	○
108		今帰仁村史	今帰仁村史編集委員会	1975	○
109	本部町	今帰仁村玉城区平良門中の古文書翻刻	比嘉ひとみ・崎原盛俊	2002	○
110		今帰仁村婦人会 50周年記念誌	同記念誌編集委員会	2002	
111		名護博物館紀要3号	仲原弘哲	1987.3	○
112		東支那海・第2号-玉城部落調査報告	普天間高等学校郷土研究クラブ	1972	○
113		分子50周年記念越地誌 昭和12年~昭和62年	黒島直太編	1988.4	○
114		まやーじくく	澤崎義啓	1984	○
115		與那嶺誌	山内昌敏	1995	○
116		湧川誌	湧川誌編集委員会	1987	○
117		石川原集落誌	石川原郷友会編集委員会編	2001.12	○
118		伊豆味誌	兼次佐一	1965	○
119		伊野波公民館落成記念誌	渡久地松秀	1978	○
120		大嘉陽分区50周年記念誌	大嘉陽分区50周年記念事業委員会	1997.6	○
121		大浜の古謡集(ジラバ・ユンタ)	大浜古謡同好会	1976	
122		沖縄市在住具志堅郷友会創立二十周年記念誌	上間清英・	1975	
123		沖縄民俗第15号 粟国村西部落・上本部村具志堅部落報告	琉球大学民俗研究クラブ	1968	○
124		軌跡 字北里創立50周年記念	50周年記念誌編集委員会	1992.8	○
125		北里誌	北里誌編集委員会	1991	○
126		具志堅誌	仲里松吉	1978	○
127		古代伝統の祭-具志堅のシニーグ	新城徳祐	1973	○
128		瀬底誌	瀬底誌編集委員会	1995	○
129		瀬底誌 資料編	瀬底誌編集委員会編	1995.6	
130		総合調査報告書V-瀬底島	沖縄県立博物館	1988	
131		備瀬史	仲田栄松	1984	
132		ふるさと雑感	大見恒貴	1989	○
133		ふる里瀬底・1	内間直幸	1988	○
134		ふる里瀬底・2	内間直幸	1989	○

表 4-5-2 (4). 生物文化に関する収集文献リスト

No	関係市町村	文献名称	著者名	発行年月	生物文化記載有無
135	本部町	本部町字浦崎史	玉城酉雄	1969	
136		本部町字具志堅の方言	仲里長和	2002	
137		本部町の民話 下巻・伝説編	仲宗根金禄	2005	○
138		本部町の民話 上巻・昔話編	照屋松吉	2004	○
139		本部町野原区創設 50 周年記念誌	上間長徳	1997.3	○
140		本部町東区 60 年のあゆみ	東区 50 周年記念誌編集委員会	2015.9	○
141		山川郷友会 30 年誌	山川郷友会初年誌発刊編集委員会	1988.11	○
142		山里誌	山里誌編集委員会	2000.12	○
143	名護市	東江誌	東江誌編纂委員会	2001	○
144		字久志芸能誌	字久志芸能誌編纂委員会編集	2005.8	
145		安和の語りぐさ	仲村栄正	1987	○
146		伊差川誌	伊差川誌編集委員会	1991	○
147		稻嶺誌	稻嶺誌編集委員会	1988	○
148		内原のあゆみ	松田清永	1984	○
149		大北誌	大北誌編集委員会	2003	
150		大中誌	大中誌編纂委員会	1994	○
151		[大南区創立 50 周年]記念誌	仲宗根恭子	1996.11	○
152		沖縄民俗第 13 号 久高島イザイホー・汀間部落調査報告	嶺井敏子 (責任)	1967	○
153		親川 -小地名調査報告書-	名護市史編纂室社会教育課文化財係編	1985.11	
154		勝山誌	勝山誌編纂委員会	1978	○
155		我部祖河誌	我部祖河誌編集委員会	1999	
156		嘉陽誌	嘉陽誌編纂委員会	1999	○
157		川上誌 いちへきのムラ	川上誌編集委員会編	2009.4	○
158		かんてな誌	新城信一	1983	
159		旧名護町産業行政小史 (昭和 15 年～ 42 年)	宮城岸清	1982	
160		郷友 - 創立 20 周年・ 25 周年記念号	同編集委員会	1977	
161		久志誌	字誌編纂委員会	1998	○
162		久志村誌	玉城定喜著	1967.1	
163		久志地区の墓	名護博物館	1990	
164		久志の民話	名護市史編さん室	1991	
165		ぐすく育英会 35 年の歩み	城育英会	1991	
166		国頭屋の祖先と辺野古の行事	比嘉ムト	1991	
167		組踊・矢蔵の比屋	屋部字誌編纂委員会	1987	
168		源河誌	源河誌編纂委員会	2016	○
169		幸喜部落の歩み	津波仁栄	1978	
170		呉我誌	呉我誌編集委員	1976	○
171		古我知の手さぐり記	松川源傑	1995	○
172		ゴパン型集落 - 済井出村の源流	古堅哲	1996	○
173		写真集 屋部 - ひとつとくらし	屋部字誌編纂委員会	2002	
174		しらが杜の栄え 喜瀬の浦誌	喜瀬字誌編集委員会編	2009.1	○
175		数久田字誌 轟 すぐた	[数久田]字誌編集委員会編	2007	○
176		済井出誌	済井出誌編纂委員会	2009	
177		田井等誌	字誌編集委員会編集	2008.7	○
178		手水の恵み 許田字誌	名護市許田区	2007	
179		とはや(渡波屋)旧屋部村郷友会 15 周年記念誌	山本川恒	2011.5	○
180		とよはら結成三十周年記念誌	豊原一心会三十周年記念誌編集委員会編集	1989.7	
181		仲尾次向上会戦後 50 周年記念誌	戦後 50 周年記念誌	1995	
182		仲尾次誌	仲尾次誌編集委員会	1989	○
183		仲尾次豊年踊 100 年祭記念誌	仲尾次豊年踊 100 年祭記念実行委員会	1991	
184		名護市史 本編 11・わがまち・わがむら	名護市史編さん委員会	1988	○
185		名護市史 本編 7 社会と文化	名護市史編さん委員会	2002	○
186		名護市史 本編 9 自然の文化誌	名護市史編さん委員会	2001	○
187		名護市史 本編 9 民俗誌	名護市史編さん委員会	2001	○
188		名護市史 本編 9 民俗地図	名護市史編さん委員会	2001	○
189		名護市天然記念物シリーズ・ 7 嘉津宇岳 名護市動植物総合調査報告書	名護市教育委員会文化財係・名護博物館	2009	○
190		名護市豊原誌	豊原区字誌編纂委員会編集	2007	

表 4-5-2 (5). 生物文化に関する収集文献リスト

No	関係市町村	文献名称	著者名	発行年月	生物文化記載有無
191	名護市	名護市の遺跡（2）－分布調査報告	名護市教育委員会	1982	○
192		名護市の御嶽林	名護市教育委員会	1979	○
193		名護人の雑記帳	宮城盛雄	1987	○
194		名護町制十周年記念誌	比嘉宇太郎	1934	○
195		名護の民話	名護市史編さん室	1989	○
196		羽地村字親川郷土誌	平良盛吉・川上清栄	1962	
197		羽地・屋我地地域史料目録 1	名護市史編纂室編	1988.1	
198		ふるさと辺野古を語る	比嘉ムト	1989	○
199		ふんしどうくる 勝山の里	「ふんしどうくる勝山の里」編集委員会	2005.8	○
200		分村十周年記念誌	屋我地村	1956	○
201		辺野古誌	辺野古誌編纂委員会	1998	○
202		宮里沿革のあらまし	神山祥男	1988	
203		宮里の沿革	富里字誌編集委員会	2004	○
204		みんぞく第 10 号－屋我部落調査報告書	沖縄国際大学文学部社会学科小熊研究室	1996	○
205		みんぞく第 11 号－名護市連天原部落調査報告書	沖縄国際大学文学部社会学科小熊研究室	1997	○
206		みんぞく第 4 号－名護市屋我地島饒平名調査報告書	沖縄国際大学文学部社会学科小熊研究室	1990	○
207		みんぞく第 9 号－名護市我部部落調査報告書	沖縄国際大学文学部社会学科小熊研究室	1995	
208		昔を語る	宮城岸清	1981	○
209		明治・大正・昭和時代における幸喜の世相史	宮城岸清	1984	○
210		屋我地郷土誌	仲宗根重吉	1975	○
211		屋我地地区の墓	名護博物館	1992	○
212		屋我地の今と昔	名護市立屋我地小学校	1987	○
213		屋我地の民話	名護市史編さん室	1992	○
214		屋部地区の墓	名護博物館	1991	○
215		屋部のウシヤキ	名護博物館	1989	○
216		屋部のエイサー節	屋部字誌編纂委員会編	1987.9	
217		屋部の八月踊り	仲栄真盛喜ら	1996	○
218		屋部の民話	名護市史編さん室	1990	
219		屋部の民話 第 2 版	名護市史編さん室編	2008.3	
220		屋部ひとびととくらし 写真集	屋部字誌編纂委員会編	2002.1	○
221		山本川恒翁昔ばなし（トーカチ記念）	遠藤庄治・比嘉久ほか	1996	
222		世富慶誌	世富慶字誌編集委員会編	2012.8	○
223		饒平名郷土誌	仲宗根重吉	1972	
224		我が生まれ島・久志小今昔物語	島袋正二郎	1996	
225		わが村十年のあゆみ-分村十周年記念	屋部村	1956	
226	宜野庄村	字宜野座組踊集	組踊編集委員会	2001	○
227		字松田沿革史－1944 年以降	字松田教育振興委員会	1976	
228		漢那誌	漢那誌編集委員会	1984	○
229		宜野庄村字松田（古知屋）の組踊集（影印本）	宜野庄村教育委員会	1989	
230		宜野庄村字松田（古知屋）の組踊集（翻刻集）	池宮正治・宜野庄村教育委員会	1989	
231		宜野庄村漢那区老人クラブ創立五十周年記念誌	漢那区老人クラブ	2013.5	
232		宜野庄村誌	宜野庄村誌編集委員会	1991	○
233		宜野庄村誌第 3 卷資料編 3 自然・考古	宜野庄村誌編集委員会	1989	○
234		宜野庄村乃文化財 3 松田区の地名調査報告書	宜野庄村教育委員会	1983	○
235		宜野庄村乃文化財 5 字宜野座の地名調査報告書	宜野庄村教育委員会	1985	○
236		宜野庄村松田の歴史	松田教育振興委員会	1977	○
237		故里は語る－宜野庄村誌	田端景俊	1982	○
238		故里は語る 宜野庄村字誌 2	宜野庄村字誌編集委員会編	2012	○
239		惣慶誌	新里幸一	1978	○
240		松田区誌	字誌編集委員会	2003	○
241	恩納村	いやしの里 名嘉真	恩納村名嘉真字誌編集委員会編	2012.3	○
242		恩納字誌 山・海・大地 古からの恵	誌編集発刊事業スタッフ	2007	○

表 4-5-2 (6). 生物文化に関する収集文献リスト

No	関係市町村	文献名称	著者名	発行年月	生物文化記載有無
243	恩納村	恩納字誌 山・海・大地 古からの恵 資料編	[恩納]字誌編集発刊事業スタッフ編集	2007	○
244		恩納村誌	恩納村役場	1980	○
245		恩納村誌 自然編 第1巻	恩納村誌編さん委員会編	2014	○
246		組踊 忠臣身替	字恩納	1979	○
247		写真集 道写真で見る恩納区のあゆみ	[字恩納自治会]字誌編集委員会企画・編集	2003.3	
248		瀬良垣の豊年祭	板谷徹	2002	
249		とよむあふす - 安富祖字誌	字誌とよむあふす編集委員会	2001	○
250		花と水の里 喜瀬武原字誌	宇江城安吉	2005	○
251		南恩納誌・第1巻「議事録」	南恩納区字誌編集委員会	1999	○
252		屋嘉田潟原の生き物たち	仲西美佐子	2012	○
253	金武町	伊芸誌	金武町伊芸区	2013.3	○
254		記録集伊芸区と米軍基地	伊芸誌編纂委員会『伊芸区と米軍基地』担当編	2013.3	
255		金武区誌 戦前新聞集成	金武区誌編集室	1989	
256		金武区誌 戦争編	金武区誌編集委員会編	2002.12	
257		金武町の村落と聖地 伊芸区の場合	津波高志	1991.3	○
258		金武町の村落と聖地 金武区と並里区の場合	津波高志著	1994.12	
259		金武町の村落と聖地 屋嘉区の場合	津波高志著	1992.12	
260		並里区誌 資料編・戦前新聞集成	並里区誌編纂室	1995	○
261		並里区誌 戦前編	並里区誌編纂室	1998	○
262		並里区 歴史写真集	並里区写真集編集委員会	2001	○
263		平和の祈り 伊芸区戦没者慰靈碑建立記念誌	金武町伊芸区戦没者慰靈碑建立委員会編	2008.11	
264		村の記録 金武町字伊芸	安富祖一博	1983	○
265		屋嘉区誌 戦前編	屋嘉区誌編纂委員会	2005.3	○
266	うるま市	赤野区 60周年記念誌	赤野区記念誌編集委員会	1976	
267		安慶名字誌	安慶名字誌編集委員会編	2014	
268		字石川誌	うるま市石川部落会	2014.8	○
269		イーター島 伊計島生活誌	中石清繁	1990	○
270		伊計島豊年祭記念誌 平成10年	豊年祭実行委員会記念誌発行委員会	1998.11	
271		石川市史	伊波信光	1988	○
272		伊波区誌	伊波区誌編集委員会	1996	
273		伊波集和会誌	伊波/政善 編集	1979.12	
274		いりばる字誌	いりばる字誌編集委員会 編集	2010	○
275		江洲区戦後五十年誌	江洲誌編集委員会	1995	
276		おもろ古謡にみる与勝	島袋善吉	1994	○
277		勝連村誌	福田恒禎	1966	○
278		勝連町史	勝連町史編集委員会	1984	○
279		勝連町南風原字誌	沖縄県中頭郡勝連町字南風原字誌編纂委員会	2000	○
280		勝連の新聞集成	徳村安信	2001	○
281		上平良川50周年記念誌	平良川区自治会	2011.5	○
282		郷土大田のあゆみ:大田公民館落成記念誌	大野顕	1998.12	○
283		具志川市史	具志川市史編さん委員会	1997	○
284		具志川市史 第一巻 新聞集成明治編	具志川市史編さん委員会	1991	○
285		具志川市史 第三巻 伝説民話編上	具志川市史編さん委員会	1991	○
286		具志川市字志林川自治会創立10周年記念誌	志林川区自治会創立十周年記念事業期成会	1983	
287		結成15周年記念誌(平敷屋エイサー保存会)	平敷屋エイサー保存会	1998	
288		古希記念回想録 私とふるさと	中村栄春	1982	○
289		50年のあゆみ 饒辺区戦後復興50周年記念誌	[饒辺区戦後復興5周年記念事業実行委員会]	不明	
290		昆布60周年記念誌	宜寿次政昭	1978	○
291		シマくとぅば 旧石川市山城	山城正夫	2009.1	○
292		島乃影 平安座	新垣貞雄	2012	
293		創立10周年 記念誌 具志川市新赤道自治会	山里耕哉	1983	○
294		創立60周年記念誌	昆布60周年記念誌委員	1978.7	○

表 4-5-2 (7). 生物文化に関する収集文献リスト

No	関係市町村	文献名称	著者名	発行年月	生物文化記載有無
295	うるま市	続与勝の歴史散歩 勝連城繁栄時代・平安座むらの誕生	親川光繁	2000	
296		津堅島の唐踊り	勝連町教育委員会	1979	
297		津堅島の記録	比嘉繁三郎	1990	○
298		天願区字誌	天願区字誌編集委員会	2016.05	
299		天願区字誌・別巻 写真集	天願区字誌編集委員会	2016.05	
300		天願区字誌・別巻 写真集『常しえに輝く天願の彩』	上平良川 50周年記念誌編集委員会	2016	
301		豊原区創立 50周年記念誌	豊原区創立 50周年記念誌編集部会	2000.5	○
302		なあぐすく字誌	なあぐすく字誌をつくる会編集	2005	○
303		ひやむざかなもり-写真に見る平安座今昔-	平安座今昔写真集編集委員会	1984	○
304		廻で変わろう!与勝のあゆみと古代文字	島袋善吉・吉浜節子	1998	○
305		吉里達雄戦後資料集 高江洲 区字誌編集資料	高江洲区字誌編さん委員会編	2015.12	
306		平敷屋字誌	平敷屋字誌編集委員会	1998	○
307		平安座自治会館新築記念 故きを温ねて	平安座自治会	1985	
308		平安座 その名についての一考察	奥田良寛春	1969	○
309		平安名字誌	沖縄県中頭郡勝連町字平安名字誌編纂委員会	1997	○
310		宮城島郷土誌	宮城小学校	1936	○
311		民俗第三号 津堅島	久高将邦 (責任編集)	1961	○
312		民俗第5号 柳田国男先生追悼号	玉城隆男 (責任者)	1962	○
313		めーばる 公民館建設記念誌	うるま市石川前原区公民館建設委員会総務部会記念誌	2008.9	
314		ヤブチ式土器と屋慶名村の誕生-往古の行為論で学ぶ新興勝風土記- (下)	仲地和雄・水野益継	1992	
315		ヤブチ式土器と屋慶名村の誕生-往古の行為論で学ぶ新興勝風土記- (上)	仲地和雄・水野益継	1992	
316		与勝の歴史散歩 ふなやれ・平安座	親川光繁	1990	○
317	沖縄市	あゆみ-住吉自治会 20周年記念誌	山内自治会	1980	○
318		泡瀬誌	泡瀬復興期成会	1988	○
319		泡瀬村創設百周年記念誌	泡瀬復興期成会[編]	2005.1	
320		泡瀬の京太郎 (沖縄市文化財調査報告書 第10集)	沖縄市教育委員会文化課	1987	
321		泡瀬復興期成会創設 60周年記念誌	泡瀬復興期成会[編]	2011.4	
322		山内自治会館記念誌	山内自治会	1976	○
323		上地誌	上地誌編集委員会	2000	○
324		沖縄市史_第八巻資料編 7-下_近代期の新聞にみる歴史	沖縄市教育委員会	1985	○
325		沖縄市史_第八巻資料編 7-上_近代期の新聞にみる歴史	沖縄市教育委員会	1985	○
326		越來美里の先人たち	沖縄市人物伝刊行会	1988	
327		古謝誌	古謝誌編集委員会	1999	○
328		胡屋誌	胡屋誌編集委員会	1994	○
329		胡屋の今昔写真誌 身近な歴史と文化と人々	胡屋字誌編集委員会	1991	
330		写真集 ふるさと泡瀬	泡瀬復興期成会	1997	
331		農業と生活 池原・登川・知花	中部農業改良普及所	1983	○
332		美里村史	平田嗣一	1962	○
333		室川誌	室川自治会編集委員会編	2009.5	
334	読谷村	アカノコ (楚辺誌資料集・20)	比嘉豊光・村山友江	1990	
335		字渡具知誌「戦争編」	読谷村字渡具知公民館[編]	1996.8	
336		伊良皆の民話 (読谷村民話資料集1)	名嘉真宜勝	1979	○
337		上地・親志・都屋の民話 (読谷村民話資料集12)	読谷村教育委員会	1994	○
338		宇座の民話 (読谷村民話資料集6)	名嘉真宜勝	1984	○
339		[宇座老人クラブ百の会]結成 15周年記念誌	百の会編集委員	1979	
340		沖縄民俗第 11 号 渡名喜島・座喜味部落調査報告	琉球大学民俗研究クラブ	1966	○
341		喜名の民話 (読谷村民話資料集2)	名嘉真宜勝	1980	○

表 4-5-2 (8). 生物文化に関する収集文献リスト

No	関係市町村	文献名称	著者名	発行年月	生物文化記載有無
342	読谷村	記念誌	読谷村楚辺	1962	○
343		儀間の民話 (読谷村民話資料集5)	名嘉真宜勝	1983	○
344		残波の里 宇座誌	新城平永 (代表)	1974	○
345		瀬名波の民話 (読谷村民話資料集4)	読谷村教育委員会・歴史民俗資料館	1982	
346		楚辺誌「戦争編」	字楚辺誌編集委員会	1992	
347		楚辺誌「民俗編」	楚辺誌編集委員会	1999	○
348		楚辺人 (楚辺誌資料集・20)	比嘉豊光、村山友江	1992	○
349		楚辺の民話 (読谷村民話資料集11)	名嘉真宜勝	1992	○
350		高志保の民話 (読谷村民話資料集8)	名嘉真宜勝	1986	○
351		大木・牧原・長田の民話 (読谷村民話資料集13)	名嘉真宜勝	1996	○
352		大湾・古堅の民話 (読谷村民話資料集14)	名嘉真宜勝	1999	○
353		渡慶次の民話 (読谷村民話資料集7)	読谷村教育委員会・歴史民俗資料館	1985	○
354		読谷村瀬名波誌	読谷村瀬名波誌編集委員会編	2015.3	○
355		波平の歩み	新垣秀吉	1969	○
356		波平の民話 (読谷村民話資料集9)	名嘉真宜勝	1989	○
357		八重山のすびんちゅ (楚辺誌資料集・17)	比嘉豊光・村山友江	1990	
358		比謝辺誌	比謝辺公民館	1995	○
359		遙なり激動の少年期 戦後五十周年記念誌	岩井利彦	1996	○
360	北谷町	字誌北谷	金城至盛	1986	○
361		上勢頭誌 上巻 通史編 (I)	上勢頭誌編集委員会	1997	○
362	嘉手納町	字野里誌	字野里誌編集委員会	2004.1	○
363		字屋良文化史	伊波孝真	1977	○
364		嘉手納町水釜史	水釜史編集委員会	1996	○
365		屋良誌	屋良誌編纂委員会	1992	○
366		新城区青年会エイサー三十周年記念誌	三十周年記念実行委員会／編	2011.06	○
367	宜野湾市	上大謝名自治会創立二十周年記念誌	創立二十周年記念事業実行委員会	2000	
368		神山誌	神山郷友会神山誌編纂委員会／編	2012.11	○
369		宜野湾市新城区自治会 創立 20 周年記念誌	宜野湾市新城区自治会	1983	
370		宜野湾市伊佐区婦人会 創立 55 周年記念誌	宜野湾市伊佐区婦人会記念誌編集委員会	2002	
371		喜友名誌 ちゅんなー	喜友名区自治会	2015	○
372		シマの話	佐喜真興夫	1925	○
373		長田区自治会 45 周年記念誌	宜野湾市長田区自治会	1984	○
374		普天間 三十周年記念誌	福井武八	1994	○
375		ふるさと愛知	仲松弥詳	1980	
376		真栄原団地会設立 30 周年記念誌	真栄原団地会	2000	
377	浦添市	字経塚史	経塚史編集委員会	2006.2	○
378		字誌たくし	沢嶺字誌編集委員会	1996	○
379		字誌 なーぐすく	なーぐすく字誌編集委員会	2012	○
380		遺跡にみる昔ぐすくま (むかし城間シリーズ1)	城間字誌編集委員会編	1997.3	
381		内間字誌	内間字誌編集委員会	1981	○
382		内間公民館落成記念誌	浦添市字内間自治会	1984	
383		内間婦人会 50 周年記念誌 婦人会のあゆみ	浦添市内間婦人会	1998	
384		うらおそい散策マップ うらそえちゅらまち 沢嶺地区	うらおそい歴史ガイド友の会編	2007	
385		浦添・小湾方言辞典	法政大学沖縄文化研究所小湾字誌調査委員会	1995	
386		[浦添市大平自治会]字誌 祖国復帰記念出版	松田国昭編	1972.6	○

表 4-5-2 (9). 生物文化に関する収集文献リスト

No	関係市町村	文献名称	著者名	発行年月	生物文化記載有無
387	浦添市	浦添市字大平字誌 祖国復帰記念出版	浦添市字大平字誌編集委員会編	1972.6	○
388		浦添市当山区成立八十八周年 記念誌 当山	浦添市当山自治会編集	2005.3	
389		浦添の地名 (浦添市文化財調査報告書第13集)	浦添市教育委員会文化課	1988.3	○
390		小湾字誌 沖縄戦・米占領下で失われた集落の復元	法政大学沖縄文化研究所・小湾字誌調査委員会	1995	○
391		小湾字誌 戦中・戦後編 小湾 新集落の建設とあゆみ	加藤久子	2008	○
392		小湾集落復元図	法政大学沖縄文化研究所小湾字誌調査委員会著	1995.2	
393		小湾戦後記録集 小湾議事録 占領期から祖国復帰へ	小湾字誌編集委員会編集	2005.5	
394		記念誌 仲西 浦添市仲西自治会創立60周年(戦後)記念誌	仲西記念誌編集委員会	2008.12	○
395		城間字誌 第1巻「城間の風景」	城間字誌編集委員会	2000	○
396		城間字誌 第2巻	[浦添市]城間字誌編集委員会編	2003.3	○
397		城間字誌 第3巻	城間字誌編集委員会編	2003.1	
398		城間うないのあしあと 浦添市城間婦人会創立50周年記念誌	城間婦人会創立50周年記念事業実行委員会記念誌部	1998	○
399		城間の昔ばなし むかし城間シリーズ2	城間字誌編集委員会	1999	○
400		島やかりゆし 先人たちの生活の記録	与座康信	1984.4	○
401		沢城 地名の話	沢城の地名を語る会編	2004.1	○
402		当山公民館落成記念	当山公民館	1980	
403		仲西村の沿革誌	外間大和	1989	○
404		西原婦人会創立50周年記念誌	浦添市西原婦人会	1997	○
405		前田の民俗(浦添の歴史資料シリーズⅢ)	浦添市企画調整室市史担当事務局	1980	○
406		牧港字誌	字誌編集委員会	1995	○
407		屋富祖戦後写真集	屋富祖戦後写真集編集委員会[編]	2012.1	○
408		よみがえる小湾集落 小湾写真集 the KOWAN photograph 1912-2003	加藤久子	2003	○
409	西原町	沖縄民俗 15周年記念号 22号 宮古平良市島尻・西原村棚原	平良克巳	1976	○
410		小波津誌	古波津字誌編集委員会	2011.1	○
411		人と自然の関わりー西原町の動植物方言ー	当山昌直・米須瑠衣子・山里奈美・大城靖・田島由美江・古波藏香苗	2004	○
412		西原町史 第1巻 通史編	西原町史編集委員会	2011	○
413		西原町史第4巻 資料編3 西原の民俗	西原町史編集委員会	1989	○
414		西原町史第7巻 資料編6 西原の産業	西原町史編集委員会	2003	○
415		西原町史第8巻 資料編7 西原の言語	西原町史編集委員会	2010	○
416		西原町史別巻 西原の民話	西原町史編集委員会	1991	○
417	中城村	沖縄民俗 23号 八重山石垣市宮良・中城村伊集報告	具志堅一仁(責任)	1977	
418		久場土地区画整理事業竣工記念誌(中城村)	記念誌編集委員会	1991	○
426		津霸誌 5百年の歴史を刻む	中城村字津霸	2008	○
419		中城村戦前の集落 Series1 沖	沖縄県中城村教育委員会	2014	○
420		中城村戦前の集落 Series2 屋宜	沖縄県中城村教育委員会	2015	○
421		中城村戦前の集落 Series3 奥間	沖縄県中城村教育委員会	2015	○
422		中城村戦前の集落 Series4 伊舍堂	沖縄県中城村教育委員会	2016	○
423		中城村戦前の集落 Series5 添石	沖縄県中城村教育委員会	2016	○
424		中城村戦前の集落 Series6 和宇慶	沖縄県中城村教育委員会	2016	○
425		中城村戦前の集落 Series7 新垣	沖縄県中城村教育委員会	2016	○
427	北中城村	大城の今昔	仲村栄春	1980	○
428		荻道字誌	荻道字誌編集委員会	2010	○
429		沖縄民俗第12号 狩俣・熱田部落調査報告	琉球大学民俗芸能クラブ	1966	○
430		喜舎場誌	安里祥徳	2013.2	○

表 4-5-2 (10). 生物文化に関する収集文献リスト

No	関係市町村	文献名称	著者名	発行年月	生物文化記載有無
431	北中城村	北中城村史	安里永太郎	1970	○
432		北中城村史第二巻民俗編	北中城村史編纂委員会	1996	○
433	与那原町	板良敷字誌だより	崎原恒新	2014.3	○
434		板良敷雑記上	崎原恒新	2003.6	○
435		板良敷雑記中	崎原恒新	2003.12	○
436		板良敷雑記下	崎原恒新	2004.3	○
437		板良敷誌	「板良敷誌」編集委員会	2014.3	○
438		与那原町大綱曳資料集	与那原町商工会青年部	1983	○
439		与那原町当添史	仲里全良	1986	○
440		私達の板良敷	板良敷誌刊行委員会	2014.3	○
441	那覇市	赤田みるく 復興の記録 地域に根ざした伝統行事	赤田のみるくウンケー実行委員会	2000	
442		字上間誌 公民館落成十周年記念	上間自治会	1992	
443		字鏡水創立百周年記念	鏡水郷友会	2005.9	○
444		安謝誌	安謝誌編集委員会	2010.12	○
445		天久誌	渡久地健	2010.6	○
446		上之屋誌	城間正孝	1989	○
447		上間誌 那覇市上間	上間自治会	2009.1	○
448		うるくぬんかしばなし	那覇市教育委員会文化課	1989	
449		大嶺の今昔	字大嶺向上会、字大嶺自治会	1983	○
450		大嶺の今昔 改訂版第2版	字大嶺向上会[編]	2008.2	
451		思い出の繁多川 チムジュラ サバン タガーンチュ	板良敷朝清著	1987.7	
452		小禄村誌	小禄村誌発刊委員会	1992	○
453		おろくの歴史を訪ねる講座(平成3・4年度成人講座収録)	那覇市小禄南公民館	1993	○
454		小禄まーい 歴史散歩マップ	那覇市教育委員会文化課	1991	
455		鏡水創立70周年記念	鏡水自治会	1973.12	○
456		鏡水80周年記念誌	鏡水自治会	1983.11	○
457		旧天久村の記録 天久資産保存会二十周年記念誌	天久資産保存会	1988.5	○
458		旧天久村農民の生活	金城勇徳	2013.11	○
459		久米村の民俗	国吉有慶	1989	○
460		久米村 - 歴史と人物 -	池宮正治・小渡清孝・田名真之	1993	
461		久米村600年記念事業期成会報告書	久米村六〇〇年記念事業期成会	1993	
462		国場誌	国場誌編集委員会	2003.12	○
463		識名字誌	沖縄文教出版編	1973	○
464		識名誌	識名誌編集委員会	2000	○
465		写真で見る旧泊崇元寺町高橋町前島町の変遷	とまり会	1996	
466		写真で見る旧泊の変遷 崇元寺町・高橋町・前島町	とまり会	1996.9	○
467		首里昔語り史跡マップ	浜元朝起	1993	○
468		戦前の沖縄におけるカエル類の調理方法について	当山昌直	2002	○
469		高良の字誌	高良字誌編集委員会	2008	○
470		辻の今昔 沖縄の歓楽郷	来和雀	1934	
471		泊誌	とまり会	1974	○
472		泊人の足跡	松村興勝著	1985.8	○
473		泊復興期成会関係資料	泊復興期成会[編]	1964	
474		泊前島今昔物語	島袋文雄[著]アドバイザー制作知念良雄著	2007.11	○
475		泊前島町誌	真喜志駿	1991	○
476		那覇安里のフェースシマ 那覇市文化財調査報告書第1集	那覇市教育委員会	1981	○
477		那覇市安里誌 2011年(平成23年版)	安里誌刊行会編	2011.11	
478		那覇市 安次嶺の村踊り	安次嶺村踊り実行委員会	1993	
479		那覇市史資料編全2巻中の7	那覇市企画部市史編集室	1979	○
480		那覇市史跡・旧跡ガイドマップ(首里・真和志)	那覇市歴史博物館	2015	
481		那覇市史跡・旧跡ガイドマップ(那覇・小禄)	那覇市歴史博物館	2014	
482		繁多川100周年記念誌 繁多川	繁多川自治会	2012.6	○
483		前島町のアルバム	佐久川長栄	1993	○

表 4-5-2 (11). 生物文化に関する収集文献リスト

No	関係市町村	文献名称	著者名	発行年月	生物文化記載有無
484	那覇市	真嘉比字誌	真嘉比自治会	2014	○
485		松川字誌 松風泰然のもとで	松川字誌編集委員会	2010.5	○
486		真和志市誌	新垣清輝	1956	
487		真和志まーい 歴史散歩マップ	那覇市教育委員会文化課	1989	○
488		みなと村のあゆみ〈資料編〉・特別行政区域 1947.5~1950.7	盛根良一	1982	
489		宮城誌 那覇市字宮城	那覇市宮城自治会	2006.9	○
490		銘苅新都心自治会10年の歩み はごろも伝説と組踊「銘苅子」の郷	銘苅新都心自治会	2013.12	○
491		若狭1丁目自治会 50周年記念誌 50年のあゆみ	若狭1丁目自治会 50周年記念誌編集委員会編	2014.12	○
492	南城市	字誌新里	山城清勝・平田義弘・山城清善・富永尚永	2000.1	○
493		糸数字誌	糸数字誌編集委員会	2012	○
494		奥武島誌	『字誌』編集委員会編	2011	○
495		大里村史 通史編	大里村史編集委員会	1982	○
496		大里村史 資料編	大里村史編集委員会	1982.3	○
497		大里村史	大里村史編集委員会	1982	○
498		大城集落センター落成記念誌	大城農村振興会	1984	
499		沖縄島南城市における生物文化に関する聞き取り	当山昌直	2012	○
500		記念誌 郷想い(ムラウムイ) 大里グリーンタウン自治会創立 25周年	同発行委員会	2003	○
501		佐敷村誌	佐敷村	1964	○
502		佐敷町史 2 民俗	佐敷町史編集委員会	1984	○
503		佐敷町史	糸満市教育委員会	1984	○
504		佐敷町史 3 自然	佐敷町史編集委員会	1989	○
505		錢又区五十年の歩み 字創立記念誌	五十周年誌編集委員会	1989	○
506		玉城村富里誌	中山俊彦	1992	○
507		玉城村船越誌	船越誌編集委員会	2002	○
508		玉城村前川誌	大城良信	1986	○
509		知念村史	知念村史編集委員会	1983	○
510		つきしろの歩み 「つきしろの街」二十周年記念誌	つきしろの歩み編集委員会	1999	
511	南風原町	津波古字誌 沖縄県南城市佐敷	津波古字誌編集委員会編	2012	○
512		富山誌	富山誌編集委員会	2008	○
513		南城市史 総合版(通史)	南城市史編集委員会	2010	○
514		南城市玉城愛地誌	南城市玉城愛地誌編集委員会	2007	○
515		福原コミュニティーセンター 落成記念誌	記念誌編集委員会	1995.8	○
516		富祖崎(富祖崎地区学習等 供用施設) 落成記念誌	佐敷町字富祖崎	1991.6	○
517		ミントン 仲村渠祭祀資料 NO1	玉城村字仲村渠祭祀委員会	1990	
518		むらのくらしー結婚から出産までー	沖縄県南部農業改良普及所	1983	○
519		玉城村史 第8巻 上	玉城村史編集委員会	2006	○
520		湧稻国区公民館建設記念誌	記念誌編集委員会	2008.2	
521		字誌 宮城	[南風原町字誌宮城]編集委員会編	2009	○
522		新川が語る沖縄戦(南風原町沖縄戦戦災調査10)	南風原町史編集委員会	1995	○
523		大名が語る沖縄戦(南風原町沖縄戦戦災調査6)	南風原町史編集事務局	1993	
524		大名誌	大名誌編集委員会	2001	○
525		兼城が語る沖縄戦(南風原町沖縄戦・戦災調査2)	吉浜忍	1985	
526		兼城誌	兼城字誌編集委員会編集	2006.5	○
527		神里が語る沖縄戦(南風原町沖縄戦戦災調査12)	南風原町史戦災調査部会	1996	
528		記念誌 宮平ハイツ	宮平ハイツ記念誌編集委員会	2016.5	
529		喜屋武が語る沖縄戦(南風原町沖縄戦・戦災調査1)	田本流助	1984	○
530		喜屋武の移りかわり [複製本]	南風原町字喜屋武[編]	1985.6	
531		喜屋武の歴史と文化 喜屋武字誌	南風原町字喜屋武字誌発刊委員会	2015	○
532		公民館創立20周年記念 ヒヤーウイ! で村おこし!	南風原町立津嘉山公民館創立20周年記念実行委員会	2001	

表 4-5-2 (12). 生物文化に関する収集文献リスト

No	関係市町村	文献名称	著者名	発行年月	生物文化記載有無
533	南風原町	津嘉山大綱曳き調査報告書	南風原町教育委員会	1994	○
534		津嘉山が語る沖縄戦（南風原町沖縄戦災調査4）	吉浜忍	1990	
535		照屋が語る沖縄戦（南風原町沖縄戦災調査9）	南風原町史戦災調査部会	1994	
536		南風原町の動植物方言	当山昌直・国吉朝子・神谷保江・翁長丈子	1997	○
537		南風原町与那霸誌 うさんしー	与那霸字誌編集委員会	2004.6	○
538		ふる里津嘉山	大城辰雄著	1984.9	○
539		文化人類学調査実習報告書第11輯 沖縄都市近郊・南風原町兼城の文化と社会	国際基督教大学人類学研究室	1997	
540		宮城が語る沖縄戦（南風原町沖縄戦災調査3）	吉浜忍	1987	
541		宮平が語る沖縄戦（南風原町沖縄戦災調査7）	南風原町史編集事務局	1993	
542		宮平誌	宮平誌編集委員会	1986	○
543		山川が語る沖縄戦（南風原町沖縄戦災調査8）	南風原町史戦災調査部会	1994	
544		与那霸が語る沖縄戦（南風原町沖縄戦災調査5）	新垣福太郎	1992	○
545		落成記念誌 写真で見る新川100年のあゆみ	新川コミュニティセンター落成記念誌	2007.3	
546	八重瀬町	字誌 外間	字誌外間編集委員会	2004.3	○
547		沖縄民俗 20号記念号 久米島仲里村儀間・東風平村当銘報告	琉球大学民俗研究クラブ	1974	○
548		具志頭村史	具志頭村史編集委員会	1961	○
549		具志頭村史 I	具志頭村史編集委員会	1990	○
550		具志頭村史第5巻村落編 2	具志頭村史編集委員会	2005	○
551		東風平村史	知念全栄	1976.1	○
552		とうむしぬシーシ 友寄獅子舞由来記	翔南企画	1997	
553		富盛字誌	富盛字誌編集委員会	2004.3	○
554		富盛の唐人行列 九州民俗芸能大会参加記念誌	富盛の唐人行列	-	
555		仲座八煙-具志頭村字仲座の農家生活誌-	前森正光	1983	○
556		むらやー落成記念 記念誌	玻名城公民館落成記念誌	2001	○
557		上田誌 沖縄県豊見城村字上田	上田誌編集委員会	2001	○
558	豊見城市	エコシティとはしな自治会 結成10周年記念誌	豊見城市エコシティとはしな自治会編	2007.11	
559		糸 豊見城市 嘉数字誌	嘉数字誌編集委員会／編者	2015	
560		大豊年祭 字保栄茂旧八月十五夜大豊年祭記念誌	大豊年祭実行委員会広報部編	2005.9	
561		高嶺字誌	高嶺字誌編集委員会	2015	○
562		高安誌 上巻 ふるさとのきのうと今をつづる	字高安誌編集委員会	1999	○
563		豊見城ニュータウン自治会 創立20周年記念誌	豊見城ニュータウン自治会編	2006.3	
564		豊見城ニュータウン十周年記念誌 豊見城ニュータウン	豊見城ニュータウン自治会	1997	
565		豊見城の字誌	字誌編集委員会	2010	○
566		保栄茂ぬ字史	豊見城村字保栄茂字史編纂委員会	2001	○
567		豊年祭 酉の年	翁長自治会・十五夜実行委員会	2005.9	
568		真玉橋の聖地と祭祀	財団法人公共用地補償機構	1991	○
569		与根字誌	与根字誌編集委員会編	2008	○
570		琉球大学民俗研究クラブ会報 民研通信四号 特集港川ハーレー	琉球大学民俗研究クラブ	2002	
571	糸満市	阿波根の民俗	糸満市教育委員会	2013	○
572		糸満市史資料編 12 民俗資料	糸満市史編集委員会委員長島袋良徳	1991	○
573		糸満市史資料編 13 村落資料 - 旧高嶺村編 -	糸満市史編集委員会委員長平良宗潤	2013	○
574		糸満市史資料編 13 村落資料 - 旧糸満町編 -	糸満市史編集委員会委員長平良宗潤	2016	○

表 4-5-2 (13). 生物文化に関する収集文献リスト

No	関係市町村	文献名称	著者名	発行年月	生物文化記載有無
575	糸満市	大里字誌	大里字誌編集委員会	2009	○
576		沖縄民俗第 16 号 租納部落・兼城部落報告	琉球大学民俗研究クラブ	1969	○
577		賀数の民俗	糸満市教育委員会	2013	○
578		兼城の民俗	糸満市教育委員会	2013	○
579		北波平の民俗	糸満市教育委員会	2013	○
580		喜屋武字誌	喜屋武字誌編集委員会	2013	○
581		古代琉球王朝発祥地 ふるさと与座村の歴史散歩	伊敷賢	2000	○
582		米須字誌	米須字誌編集委員会	1992	○
583		座波の民俗	糸満市教育委員会	2013	○
584		潮平の民俗	糸満市教育委員会	2013	○
585		武富の民俗	糸満市教育委員会	2013	○
586		照屋の民俗	糸満市教育委員会	2013	○
587		豊原字誌	豊原字誌編集委員会編	2016.5	○
588		なあぐすくむら誌	なあぐすくむら誌編集委員会	1988	○
589		与座泉水 高額間切与座村誌	南部農業改良普及所	1982	○
590	複数の市町村に関連	沖縄国頭の村落（上・下）	津波高志他	1982	○
591		沖縄の民俗資料（上）	沖縄県教育委員会	2018	○
592		沖縄民俗第 14 号 比屋定・糸数部落調査報告	嶺井敏子（責任）	1967	○
593		沖縄民俗第 17 号 与那部落・宮城部落報告	狩俣敏夫（責任）	1969	○
594		沖縄民俗第 18 号 砂川部落・南風原部落報告	奥村幸巳（責任）	1970	○
595		沖縄民俗薬用動植物誌	前田光康・野瀬弘美	1989.4	○
596		特論やんばる	当山昌直	2010	○
597		村落（しま）6号 浜比嘉島比嘉部落・渡名喜村渡名喜部落調査報告	沖縄国際大学 I 部民俗クラブ	1984	
598		なきじん研究 10-新城徳祐資料・調査記録ノート	今帰仁村歴史文化センター	2000	○
599		なきじん研究 14-山原の津(港)と山原船	今帰仁村歴史文化センター (仲原弘哲・石野裕子・松村真利)	2005	○
600		なきじん研究 7-今帰仁の地名・字名と小字	今帰仁村歴史文化センター	1997	○
601		なきじん研究 9-山原の港	今帰仁村歴史文化センター	1999	○
602		山原-その人と家と村	宮城真治	1987	○
603		山原の土俗	島袋源七	1929	○
604		琉球大学農学部学術報告 62 号	新里孝和・芝正巳	2015.12	○
605		琉球発祥史	新垣孫一	1955	○

(4) 自然環境の利活用に関する参考文献等

第2章－3で解析手法を示した自然環境の利活用における使用データと参考文献を示す。

1. 林秀美, 2010, 改訂版 沖縄県の山, 株式会社山と渓谷社
2. 沖縄県観光企画課, 2010, 平成21年度 持続可能な観光地づくり支援事業（調査研究）
実施報告書
3. 沖縄県公式ホームページ, 県知事認定保全利用協定について
<https://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/shizen/hogo/hozenriyoukyoutei_nitei.html>
4. 財団法人沖縄観光コンベンションビューロー, 2010, 美ら島－沖縄県観光情報ファイル
－, 財団法人沖縄観光コンベンションビューロー

(5) 自然環境及び社会環境に関する参考文献等

第2章－4で解析手法を示した自然環境及び社会環境における使用データと参考文献を示す。

・生物多様性の情報

- 1.沖縄県環境利用ガイド,1992
- 2.環境省,2008,サンゴ礁分布図システム
- 3.沖縄県環境部自然保護課,2010,平成21年度サンゴ礁資源情報整備事業報告書
- 4.沖縄県環境部自然保護課,2011,平成22年度サンゴ礁資源情報整備事業報告書
- 5.沖縄県環境部自然保護課,2012,平成23年度サンゴ礁資源情報整備事業報告書
- 6.富山義則,2014,沖縄ビーチ大全505
- 7.沖縄県教育委員会,1996,ウミガメ類生息実態調査報告書I
- 8.沖縄県環境部環境保全課,2017,平成28年度赤土流出防止海域モニタリング調査委託業務報告書
- 9.沖縄県環境部自然保護課,2018,平成29年度生物多様性おきなわブランド発信事業委託業務報告書

・その他の情報

- 1.環境省,2015,日本のラムサール条約湿地
- 2.国土交通省国土政策局国土情報課,2007,国土数値情報 河川データ
- 3.国土地理院,2014,基盤地図情報(数値標高モデル)10m メッシュ DEM
- 4.環境省自然環境局生物多様性センター,1993,1/50,000 現存植生図
- 5.国土交通省国土政策局国土情報課,2005,国土数値情報 湖沼データ

(6) 環境カルテに関する参考文献等

第3章で示した環境カルテにおける使用データと参考文献を示す。

なお、番号は、環境カルテの様式（第3章-2）の項目番号と対応している。

・陸域カルテ項目

1-6 市町村名

総務省統計局,平成27年度国勢調査町丁・字等別境界データ

1-7 町丁・字等

総務省統計局,平成27年度国勢調査町丁・字等別境界データ

2-1 地形・地質

2-1-1 地形分類、表層土壤、表層地質

沖縄県企画部土地対策課,1983～1992,土地分類基本調査

2-1-2 特異な地形・地質

沖縄県,1992,沖縄県環境利用ガイド（環境特性地図集）

2-2 植物

2-2-1 現存植生

環境省自然環境局生物多様性センター,2000～2005（一部2006～）,自然環境保全基礎調査（第6回・第7回植生調査）

2-2-2 特定植物群落

環境省自然環境局生物多様性センター,1979、1985～1987、1998～1999,自然環境保全基礎調査（第2～3回・第5回植生調査）

2-2-3 マングローブ林

沖縄県環境部環境再生課,2015,自然環境再生指針（仮称）策定事業委託業務統合報告書（平成24～26年度）

4-1 観光拠点

沖縄県観光商工部観光企画課,2010,平成21年度持続可能な観光地づくり支援事業（調査研究）実施報告書

4-2 保全利用協定

沖縄県公式ホームページ,県知事認定保全利用協定について

<https://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/shizen/hogo/hozenriyoukyoutei_nintei.html>

5-1 法規制等

5-1-1 法規制等

沖縄県企画部土地対策課,2019,土地利用規制現況図

国土交通省国土政策局国土情報課,2015,国土数値情報 烏獸保護区データ

5-2 土地利用

5-2-1 土地利用の現況

沖縄県企画部土地対策課,2000～2017,土地利用現況図

5-2-2 農業振興地域

沖縄県企画部土地対策課,2019,土地利用規制現況図

5-2-3 米軍基地

沖縄県環境部環境政策課,2017,米軍基地データ

5-3 河川

5-3-1 河川の分布

国土交通省国土政策局国土情報課,2008,国土数値情報 河川データ

5-3-2 河床勾配と渓流環境

国土交通省国土政策局国土情報課,2008,国土数値情報 河川データ

国土交通省国土政策局国土情報課,2006,国土数値情報 湖沼データ

国土地理院,2014,基盤地図情報（数値標高モデル）10m メッシュ DEM

5-3-3 ダム湖、湖沼

国土交通省国土政策局国土情報課,2015,国土数値情報 ダムデータ

・海域カルテ項目

1-4 総務省統計局,平成 27 年度国勢調査町丁・字等別境界データ

2-1 地形・地質・海岸線

2-1-1 海底地質分類

環境省,2008,サンゴ礁分布図システム

2-2 藻場・干潟・サンゴ礁

2-2-1 生サンゴの被度（礁原）

環境省自然環境局生物多様性センター,1990～1993,自然環境保全基礎調査（第 4 回サンゴ礁調査）

2-2-2 生サンゴの被度（礁縁）

沖縄県環境部自然保護課,2010,平成 21 年度サンゴ礁資源情報整備事業報告書

沖縄県環境部自然保護課,2011,平成 22 年度サンゴ礁資源情報整備事業報告書

沖縄県環境部自然保護課,2012,平成 23 年度サンゴ礁資源情報整備事業報告書

2-2-3 藻場、干潟

環境省自然環境局生物多様性センター,1998~2002,自然環境保全基礎調査（第 5 回藻場調査）

環境省自然環境局生物多様性センター,1990~1993,自然環境保全基礎調査（第 4 回干潟調査）

2-2-4 重要なサンゴ礁海域

沖縄県自然保護課,2006,沖縄のサンゴ礁 – 沖縄県の重要なサンゴ礁海域 –

2-4-2 ウミガメ産卵地

富山義則,2014,沖縄ビーチ大全 505

沖縄県教育委員会,1996,沖縄県天然記念物調査シリーズ第 36 集 ウミガメ類生息実態調査報告書 I – 沖縄島及び周辺離島における調査結果 –

2-5 SPSS

沖縄県環境部自然保護課,2010,平成 21 年度サンゴ礁資源情報整備事業報告書

沖縄県環境部自然保護課,2011,平成 22 年度サンゴ礁資源情報整備事業報告書

沖縄県環境部自然保護課,2012,平成 23 年度サンゴ礁資源情報整備事業報告書

沖縄県,2017,平成 28 年度赤土等流出防止海域モニタリング調査委託業務報告書

沖縄県,2018,平成 29 年度生物多様性おきなわブランド発信事業委託業務報告書

4-1 観光拠点

沖縄県観光商工部観光企画課,2010,平成 21 年度持続可能な観光地づくり支援事業（調査研究）実施報告書

財団法人沖縄観光コンベンションビューロー,2010,美ら島 – 沖縄県観光情報ファイル –

4-2 保全利用協定

沖縄県公式ホームページ, 県知事認定保全利用協定について

<https://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/shizen/hogo/hozenriyoukyoutei_nintei.html>

5-1 法規制等

5-1-1 法規制等

沖縄県企画部土地対策課,2019,土地利用規制現況図

国土交通省国土政策局国土情報課,2015,国土数値情報 鳥獣保護区データ

5-1-2 海岸保全区域

沖縄県企画部土地対策課, 2019, 土地利用規制現況図

5-2 海域利用

沖縄県農林水産部水産課、2018、平成 30 年 9 月更新 漁業権区域図 (GIS データ)

沖縄県農林水産部水産課、2018、漁業権について (漁業権の説明及び免許の状況)

5-3 河川

国土交通省国土政策局国土情報課, 2008, 国土数値情報 河川データ

(7) 用語集に関する参考文献等

第4章－4に示した用語集について、参考文献及び参考ウェブサイトを下記に示す。

- [1] "環境用語集" EIC ネット.
<http://www.eic.or.jp/>
- [2] "国際保健用語集" 一般社団法人日本国際保健医療学会.
<https://seesaawiki.jp/w/jaih/>
- [3] "天文学辞典" 公益社団法人日本天文学会.
<http://astro-dic.jp/>
- [4] "沖縄 21世紀ビジョン" 沖縄県.
<https://www.pref.okinawa.jp/21vision/index.html>
- [5] "自然環境の保全に関する指針のあらまし" 沖縄県.
https://www.pref.okinawa.jp/okinawa_kankyo/shizen_hogo/hozen_chiiiki/shishin/shishin_aramashi/aramashi_ichizuke.html
- [6] "改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物（レッドデータおきなわ）第3版-菌類編・植物編-" 沖縄県.
https://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/shizen/hogo/okinawa_rdb_kinrui_syokubutu.html
- [7] 平成 23 年度サンゴ礁資源情報整備事業サンゴ礁資源調査事業「沖縄島周辺離島地域」「宮古地域」「大東地域」「波照間島地域」報告書. 平成 24 年. 沖縄県.
- [8] 鷺谷いづみ、後藤章 (2018). 新版 絵でわかる生態系のしくみ. 講談社.
- [9] "河床勾配" 国土交通省国土技術政策総合研究所.
<http://www.nilim.go.jp/>
- [10] "国内に生息・生育する希少種の指定" 環境省.
<https://www.env.go.jp/nature/kisho/domestic/index.html>
- [11] "外来生物法用語集" 環境省自然環境局.
<http://www.env.go.jp/nature/intro/1law/yougo.html>
- [12] "侵略的な外来種" 環境省自然環境局.
<http://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/invasive.html>
- [13] 久保田康裕、楠本聰太郎、藤沼潤一、塩野貴之 (2017). 生物多様性の保全科学 : システム化保全計画の概念と手法の概要. 日本生態学会誌
- [14] "ジオコーディングとは" esri.
<https://pro.arcgis.com/ja/pro-app/help/data/geocoding/what-is-geocoding-.htm>
- [15] "自然の恵みの価値を計る" 環境省自然環境局.
<https://www.biodic.go.jp/biodiversity/activity/policy/valuation/service.html>

- [16] “「生物多様性おきなわ戦略」について” 沖縄県.
<https://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/shizen/hogo/bd_okinawa_senryaku.html>
- [17] “「生物多様性条約」” WWF ジャパン.
<<https://www.wwf.or.jp/activities/basicinfo/3516.html>>
- [18] “「生物文化多様性とは」” 第1回アジア生物文化多様性国際会議.
<<http://bcd2016.jp/bcd/index.html>>
- [19] “「日射観測」” 気象庁高層気象台.
<https://www.jma-net.go.jp/kousou/obs_third_div/rad/rad_sol.html>
- [20] “沖縄県の天然記念物” 琉球大学博物館風樹館.
<http://fujukan.lib.u-ryukyu.ac.jp/db_gallery/natural.php>
- [21] “平成24年版情報通信白書” 総務省.
<<http://www.soumu.go.jp/johotsusintohei/whitepaper/ja/h24/html/nc121410.html>>
- [22] “県知事認定保全利用協定について” 沖縄県.
<https://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/shizen/hogo/hozenriyoukyoutei_nintei.html>
- [23] “モニタリングサイト1000とは” 環境省生物多様性センター.
<<http://www.biodic.go.jp/moni1000/moni1000/>>
- [24] “レッドリスト” 環境省.
<<https://www.env.go.jp/nature/kisho/hozen/redlist/index.html>>
- [25] “魚類の学名と和名” 国立科学博物館.
<<https://www.env.go.jp/nature/kisho/hozen/redlist/index.html>>
- [26] “Bioclimatic variables” WorldClim – Global Climate Data.
<<http://www.worldclim.org/bioclim>>
- [27] “生物情報収集・提供システム いきものログ” 環境省生物多様性センター.
<<https://www.env.go.jp/nature/kisho/hozen/redlist/index.html>>
- [28] “GISとは…” 国土地理院.
<<http://www.gsi.go.jp/GIS/whatisgis.html>>
- [29] 大見謝辰男 (2003). SPSS簡易測定法とその解説. 沖縄県衛生環境研究所報
- [30] “2次メッシュとは” 環境省生物多様性センター.
<<http://gis.biodic.go.jp/webgis/sc-042.html>>

生物多様性保全利用指針 OKINAWA
[沖縄島編]

[編集・発行] 沖縄県環境部自然保護課
〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎 1-2-2
TEL : 098-866-2243